

岩倉市公共交通実態調査報告書

平成 24 年 10 月

岩 倉 市

目次

I 調査の概要	1
II 標本誤差	1
III 集計及びグラフ等における補足説明	2
IV 調査結果の分析	3
1 あなた自身のことについて（回答者のプロフィール）	3
1-1 性別	3
1-2 年齢	3
1-3 住所	3
1-4 職業	5
1-5 勤務地	5
1-6 運転免許証の有無	5
1-7 自家用車の有無	6
2 あなたが外出するときの状況について	6
2-1 主にどのような目的で外出しますか。	6
2-2 外出する頻度はどれくらいですか。	6
2-3 自宅を出発する時間帯はどが多いですか。	8
2-4 自宅に帰宅する時間帯はどが多いですか。	8
2-5 外出について	10
2-6 外出時の移動手段について	10
2-7 公共交通が「ない」あるいは「利用しづらい」ために外出を控えたことはありますか。	11
○ その他のクロス集計等	13
3 鉄道の利用状況について	14
3-1 鉄道を日常的に利用していますか。	14
3-2 利用している鉄道駅を教えてください。	14
3-3 主にどの方面に乗車されますか。	14
4 鉄道の満足度について	15
4-1 本数	15
4-2 運行時間帯	15
4-3 運賃	16
5 路線バスの利用状況について	16
5-1 岩倉市内の路線バスを日常的に利用していますか。	16
5-2 主に利用している路線について教えてください。	16
6 路線バスの満足度について	17
6-1 便数	17
6-2 運行時間帯	17
6-3 運行ルート	18
6-4 最寄りのバス停までの距離	18
6-5 運賃	19
6-6 バスの乗り継ぎ	19

6-7 移動にかかる時間	20
7 タクシーの利用状況について	21
7-1 利用している頻度を教えてください。	21
7-2 利用する目的は何ですか。	22
7-3 運賃	22
7-4 移動にかかる時間	24
8 自家用車の利用について	25
8-1 利用している頻度を教えてください	25
8-2 利用する目的は何ですか。	25
9 自転車の利用状況について	26
9-1 利用している頻度を教えてください	26
9-2 利用する目的は何ですか。	27
9-3 自転車に乗ったときは、主にどちらを走っていますか。	28
9-4 自転車で走る環境についてどうおもいますか。	29
10 今後の交通施策について	29
10-1 交通至便のまちと評価されている現在、公共交通の分野には、岩倉市（行政）としてバスを走らせるなどの施策を講じていません。しかし、今後、高齢化がさらに進展することを踏まえ、どのように考えますか。	29
10-2 岐阜県美濃加茂市で、次のような公共交通の実証実験が始まっています。岩倉市に同じようなものがあつたとして、あなたは、どのように思いますか。	30
10-3 次のような制度を利用してみたいと思いますか。	32
11 自由意見	33
＜鉄道に関するもの＞	33
＜バスに関するもの＞	36
＜タクシーに関するもの＞	37
＜自転車に関するもの＞	37
＜道路に関するもの＞	40
＜デマンド交通関連に関するもの＞	41
＜新制度に関するもの＞	49
＜その他の意見＞	49

その他 岩倉市公共交通実態調査（調査用紙）

I 調査の概要

今後の超高齢社会の到来や地球温暖化問題への対応、まちの賑わいづくりという観点から、本市の総合的な交通対策のあり方を検討していくため、下記のとおり、市民の皆さまの公共交通（鉄道、バス、タクシーなど）に対する考え方等を把握することを目的に調査を実施しました。

◇対 象 者	岩倉市在住の 16 歳以上の市民
◇基 準 日	平成 24 年 6 月 1 日
◇対象者数	2,000 人
◇抽出方法	町ごとの無作為抽出
◇回答数	1,059 人（回答率 52.95%）
◇調査実施期間	平成 24 年 7 月 2 日から平成 24 年 7 月 31 日まで

II 標本誤差

すべての市民から回答を得ることは困難であるため、すべての市民から回答を得た場合との間に誤差が生じます。標本誤差の範囲は、次の式で表すことができます。

$$\delta = k \times \sqrt{\frac{(M-n)}{M-1} \cdot \frac{p(1-p)}{n}}$$

M：母集団 41,046
n：有効回答数 1,059
p：結果の比率（回答率）
k：信頼度による定数 1.96
δ：標本誤差

信頼度を 95%でとると、信頼度による定数は 1.96 です。

これをもとに、今回の調査結果の標本誤差を算定すると次の表のとおりです。

回答率(p)	10%・90%	20%・80%	30%・70%	40%・60%	50%・50%
回答数(n)					
1,059	±1.8%	±2.4%	±2.7%	±2.9%	±3.0%

標本誤差は、回答率によっても違います。今回の回答数で、二者択一式の設問で最も誤差が生じやすい 50：50 程度となる回答の場合（A と回答した人と B と回答した人が同程度のケース）でも、標本誤差は±3%となっています。

一般的にその母集団が 2 万人以上の集団であるとき、2,000 件程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映していると言われていています。今回の調査では、2,000 人を対象とし、回答数 1,059 人は、十分な精度を得ているものと考えられます。

Ⅲ 集計及びグラフ等における補足説明

グラフや表の割合について、合計して 100%にならない場合があります。

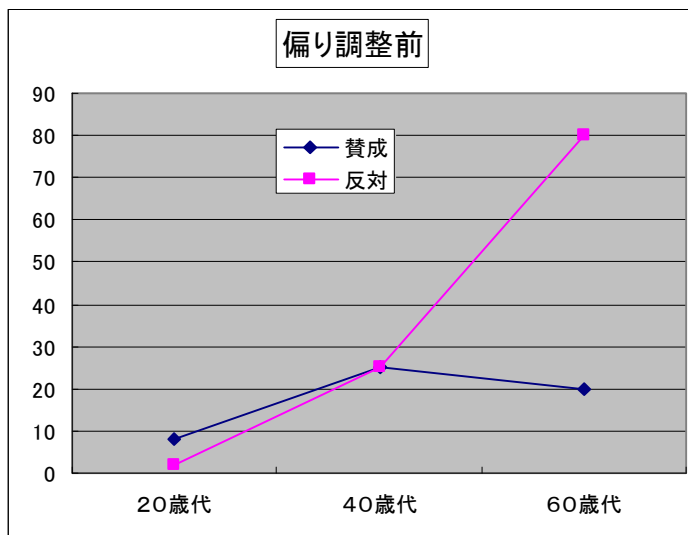
各項目の集計について、クロス集計を掛けた場合は、不明（無回答）については除かれますので、全体の回答数（1,059）とは合致しません。それをもとにしたグラフ等についても同様です。

年齢や町別によるクロス集計を行う際は、その回答者数の偏りが大きく、調査結果が判明しにくいものがあります。その場合は、偏り調整（重み係数を掛けて調整）を行いグラフ化しています。

わかりやすい事例で、例えば、回答者に右のような年齢層によるばらつきがあったとします。

年齢層	回答者数	重み係数
20歳代	10	10
40歳代	50	2
60歳代	100	1
計	160	

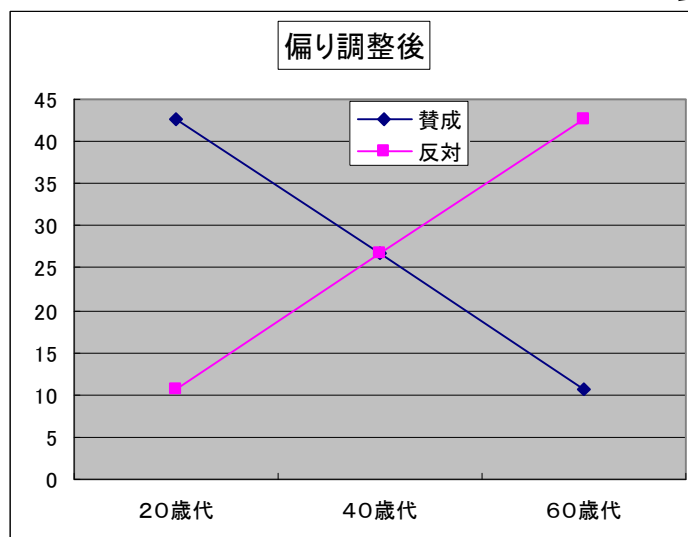
その回答結果を単純にグラフ化すると、それぞれの数の多さだけが強調され、傾向が見えなくなります。そこで、回答数に重み係数（最も多いものに対する割合の逆数）を乗じ、調整後の全体の合計数（300）に対する元の合計数（160）の割合をさらに乗じ、全体の数を合わせたものを併せて表示し、傾向をみています。



年齢層	賛成	反対	
20歳代	8	2	
40歳代	25	25	
60歳代	20	80	
計	53	107	160

年齢層	賛成	反対	
20歳代	80	20	
40歳代	50	50	
60歳代	20	80	
計	150	150	300

年齢層	賛成	反対	
20歳代	42.66667	10.66667	
40歳代	26.66667	26.66667	
60歳代	10.66667	42.66667	
計	80	80	160



別の見方をすれば、各年齢層の回答数が仮に同数であったときに、どのようになるかということであり、さらに、言い換えると、それぞれの年代の割合の円グラフを羅列することと同じです。左のグラフでは、年代が上がるにつれ、賛成と反対の割合が反比例の関係にあることがわかります。

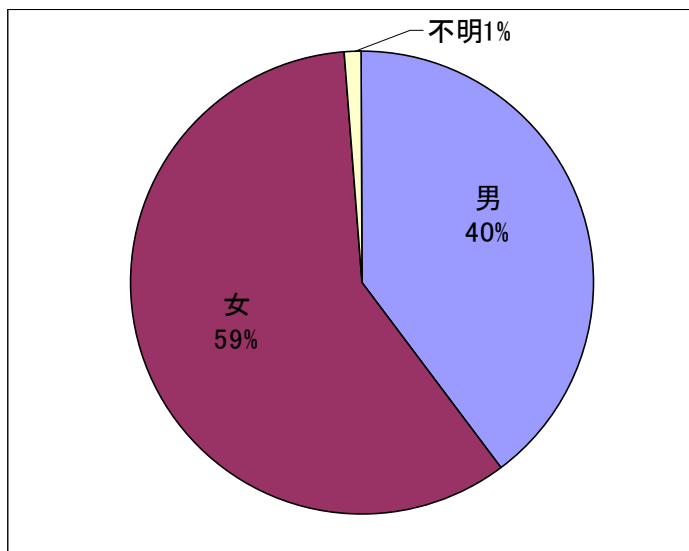
Ⅳ 調査結果の分析

1 あなた自身のことについて（回答者のプロフィール）

1-1 性別

男性より、女性からの回答が多く、
女性：男性＝3：2です。

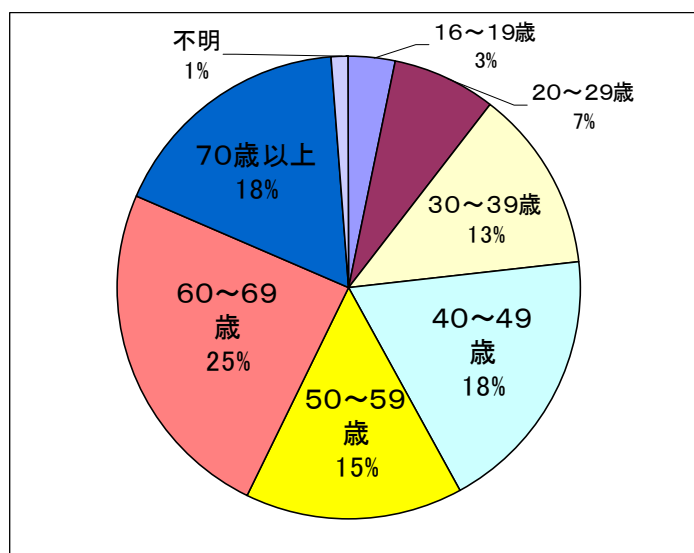
男	女	不明	計
422	624	13	1,059



1-2 年齢

若年層からの回答は少なく、最も
回答が多かったのは60歳代でした。

年齢	人数
16～19歳	34
20～29歳	77
30～39歳	137
40～49歳	195
50～59歳	163
60～69歳	255
70歳以上	186
不明	12
計	1,059



1-3 住所

回答者を町別に分けると
下本町の106人が最も多く、
大山寺元町の4人が最も少
なくなっています。

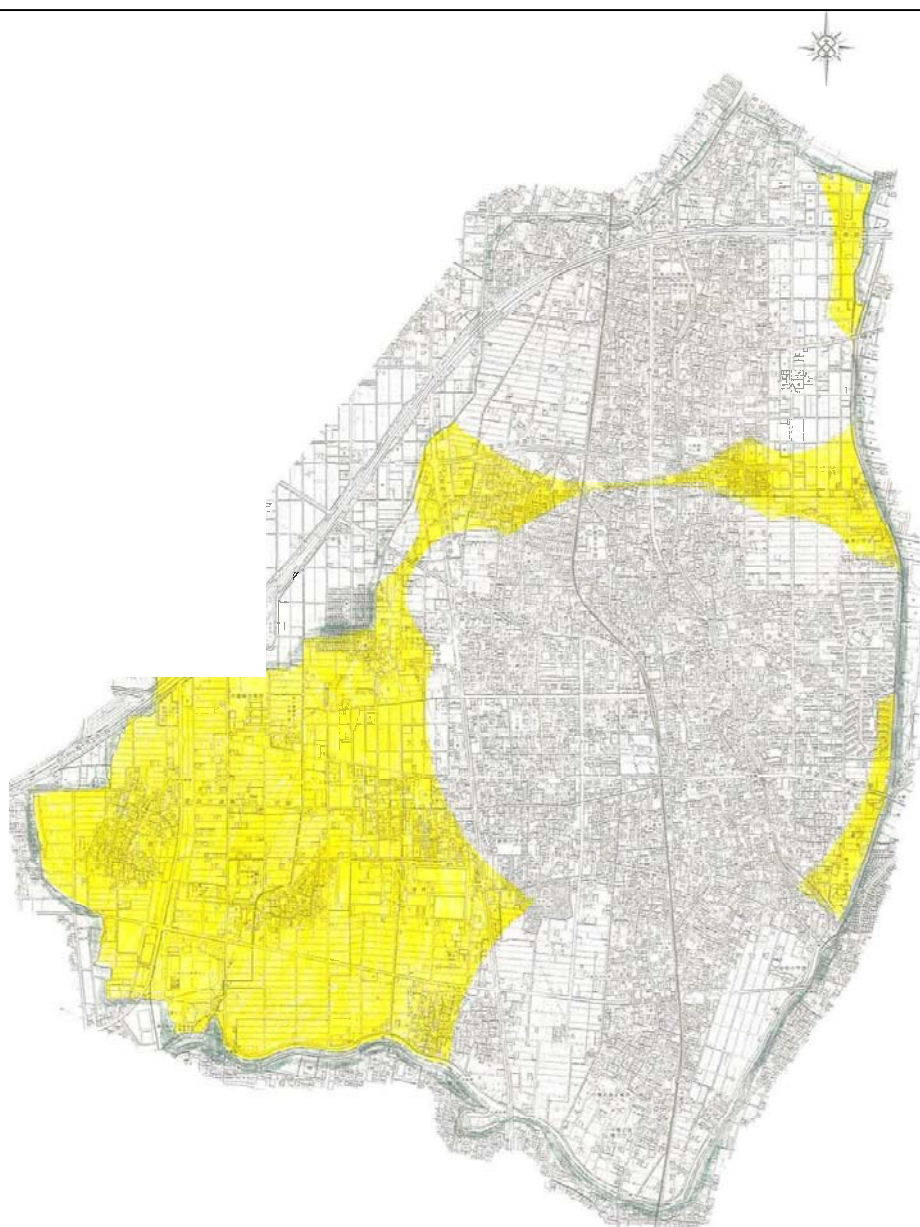
町名	回答者数	回答率	町名	回答者数	回答率
下本町	106	56%	大地新町	22	52%
八劔町	77	52%	中央町	20	44%
東新町	67	36%	泉町	16	89%
曾野町	65	62%	南新町	16	57%
本町	61	62%	宮前町	15	56%
新柳町	56	62%	北島町	13	41%
西市町	55	54%	川井町	12	39%
東町	53	51%	昭和町	12	39%
大地町	47	46%	井上町	11	92%
稲荷町	43	48%	旭町	10	31%
中本町	43	52%	中野町	10	63%
大市場町	37	59%	野寄町	8	47%
石仏町	35	49%	大山寺本町	6	43%
神野町	34	55%	五条町	5	33%
鈴井町	25	58%	大山寺元町	4	33%
大山寺町	24	55%	不明	29	—
栄町	22	44%	計	1,059	53%

※交通空白地域：一般的に駅やバス停から何メートル離れた場所という定義はありません。

鉄道駅から 1km、バス停から 300m 以上離れている地域とした場合、
全域が該当するのは、北島町、野寄町。一部が該当するのは、川井町、大地町、鈴井町、
中野町、本町、南新町、大市場町、曾野町、東町、八劔町、東新町です。

交通空白地域図

(鉄道駅から 1km 以上、バス停から 300m 以上で設定した場合)

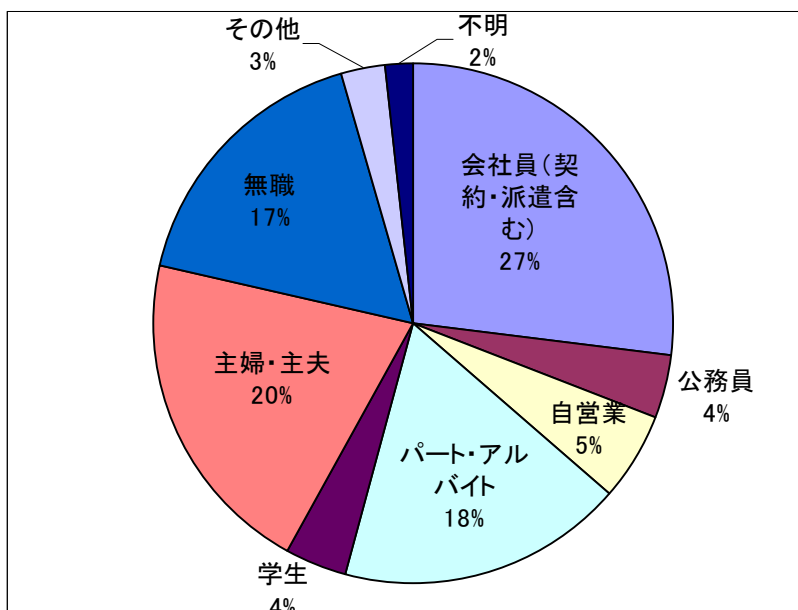


交通空白地域

1-4 職業

会社員、自営業者、公務員、パート・アルバイト及びその他を足した就業者の割合は、57%となっています。

職業	回答数
会社員(契約・派遣含む)	285
公務員	41
自営業	58
パート・アルバイト	189
学生	43
主婦・主夫	216
無職	180
その他	30
不明	17
計	1,059



1-5 勤務地

市内では、多い順から八剣町、東町、下本町となっています。

市外では、多い順から名古屋市、小牧市、一宮市、北名古屋市、江南市、大口町となっています。

勤務地	回答数
市内	168
市外	439
無回答	452
計	1,059

市内の上位

勤務地	回答数
八剣町	18
東町	14
下本町	13

市外の上位

勤務地	回答数
名古屋市	145
小牧市	89
一宮市	43
北名古屋市	32
江南市	23
大口町	11

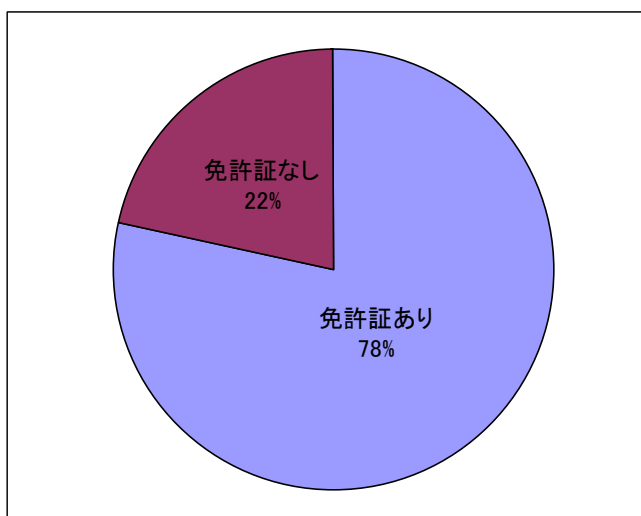
1-6 運転免許証の有無

免許証ありの人は 830 人 (78%)、免許証なしの人は 229 人 (22%) となっています。免許証の内訳としては、自動車が 84%と多数を占めています。

区分	回答数
免許証あり	830
免許証なし	229
計	1,059

(内訳)

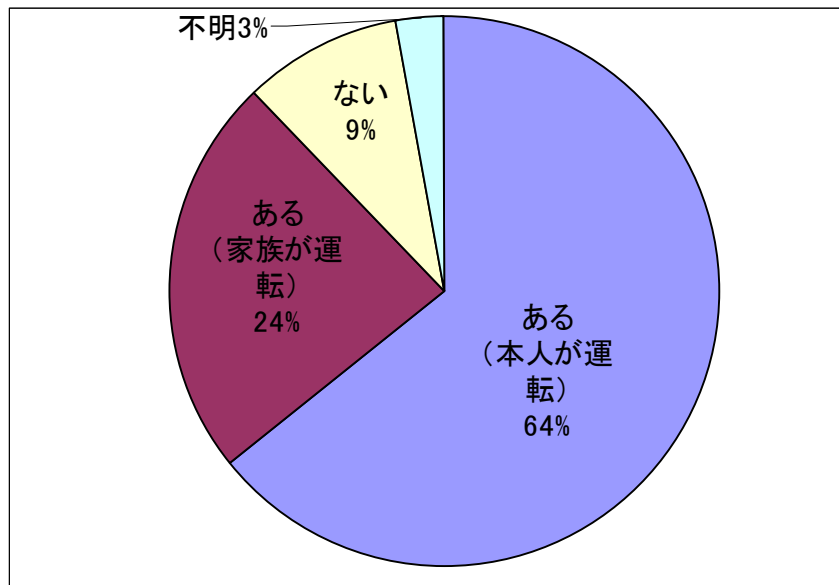
自動車	自動二輪	原付	計
799	86	71	956



1-7 自家用車の有無

本人が運転と家族が運転を含め、自家用車がある人は 88%を占めています。

自家用車有無	回答数
ある (本人が運転)	679
ある (家族が運転)	252
ない	100
不明	28
計	1,059

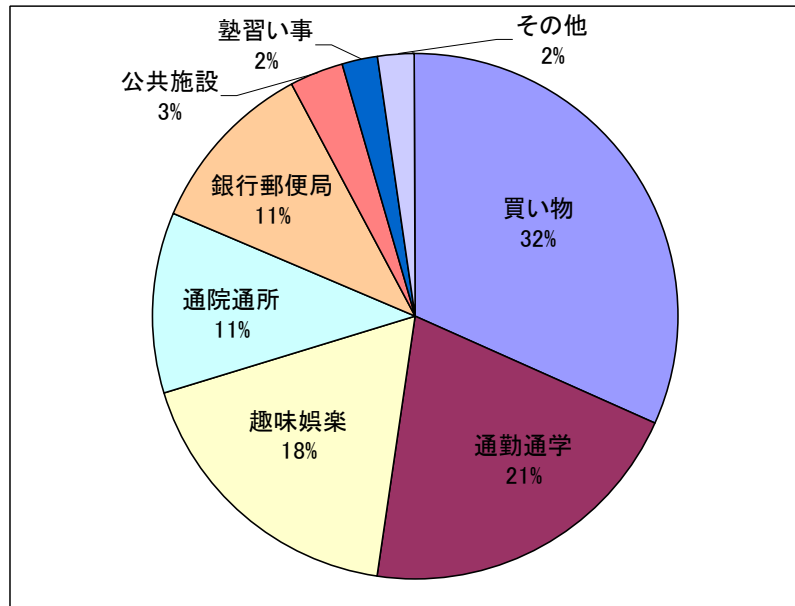


2 あなたが外出するときの状況について

2-1 主にどのような目的で外出しますか。(多いものから3つまで)

多い順に、買い物 (32%)、通勤通学(21%)、趣味娯楽 (18%)、通院通所 (11%)、銀行郵便局 (11%)、公共施設 (3%)、塾習い事 (2%) となっています。

外出目的	回答数
買い物	882
通勤通学	580
趣味娯楽	502
通院通所	310
銀行郵便局	298
公共施設	94
塾習い事	66
その他	61
計	2,793



2-2 外出する頻度はどれくらいですか。

週に 6～7 日が 60%を占め、次いで、週 3～5 日の 28%となっています。両方で、9 割近い数値になっていることから、ほとんどの人が何らかの理由で外出していることがわかります。

外出する頻度は、外出の目的の性質にも大きく関係します。

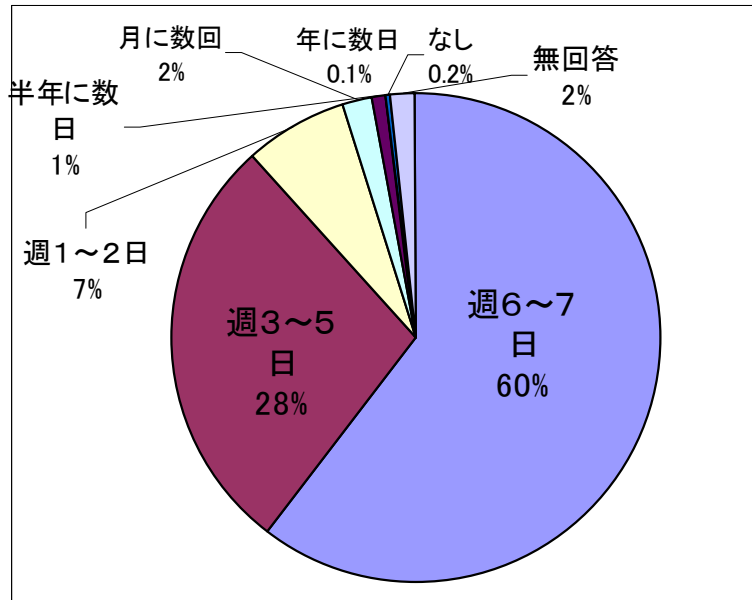
通常、通勤・通学は、それだけで週 5 日以上になります。

50 歳代までは、週 6～7 日の割合が非常に高くなっています。60 歳代は、週 6～7 日と週

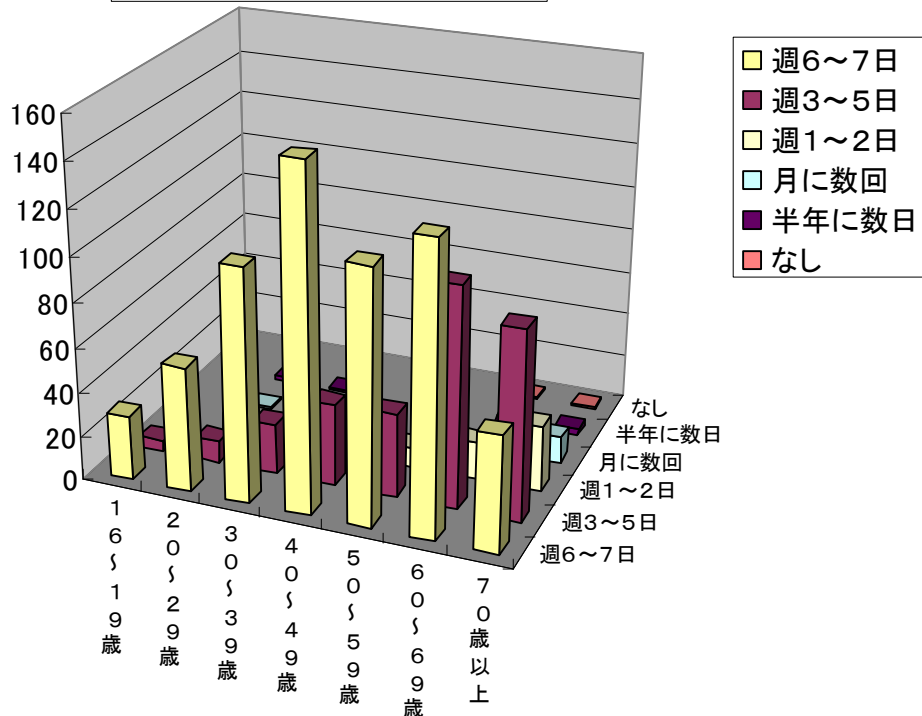
3～5日とが約同数で、70歳以上は就業していない人が多いことから、週3～5日が多くなっています。

また、2-5 外出についての問いで、60歳代までは、ほとんどの人が「外出に困難を感じない」と答えており、外出頻度が高くなる裏づけとなっています。

頻度	回答数
週6～7日	637
週3～5日	297
週1～2日	74
月に数回	21
半年に数日	9
年に数日	1
なし	2
無回答	18
計	1,059



外出頻度と年齢層のクロス集計



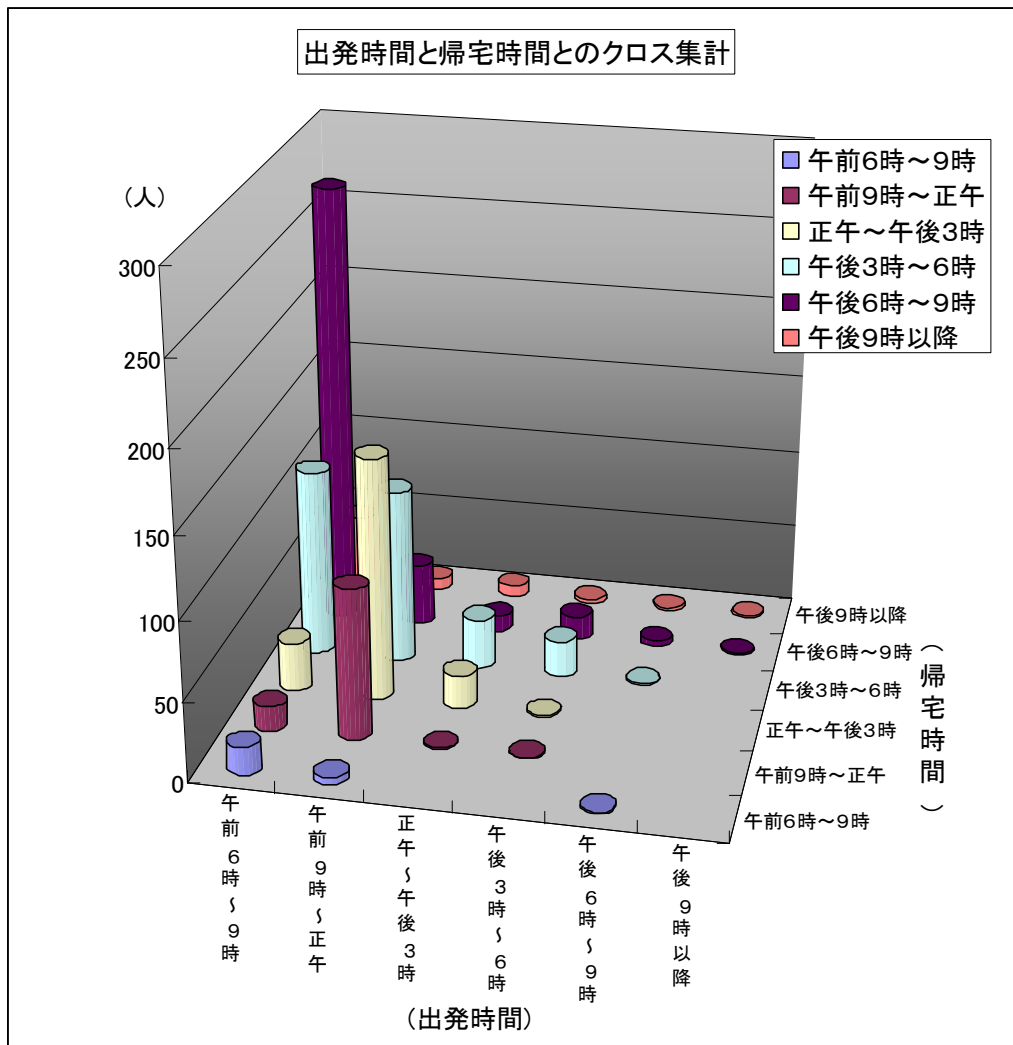
2-3 自宅を出発する時間帯はどこが多いですか。

2-4 自宅に帰宅する時間帯はどこが多いですか。

この二つの問いは、関連がありますので、出発時間と帰宅時間とのクロス集計をしました。
ピークは、「午前6時～9時」出発の「午後6時～9時」帰宅です。

次が、「午前9時～正午」出発の「正午～午後3時」帰宅。その次が、「午前6時～9時」
出発の「午後3時～6時」帰宅です。

		帰宅時間						計
		午前6時～9時	午前9時～正午	正午～午後3時	午後3時～6時	午後6時～9時	午後9時以降	
出発時間	午前6時～9時	17	16	31	118	277	45	504
	午前9時～正午	4	95	153	110	39	7	408
	正午～午後3時		1	21	32	10	7	71
	午後3時～6時		1	1	23	15	3	43
	午後6時～9時	1			1	4	2	8
	午後9時以降					1	2	3
計		22	113	206	284	346	66	1,037



出発時間と 2-1（外出目的）とのクロス集計の結果が下の表です。

「午前 6 時～9 時」出発の多くが通勤通学で、「午前 9 時～正午」出発では、買い物であることがわかります。

出発時間	通勤通学	通院通所	買い物	銀行郵便局	公共施設	塾習い事	趣味娯楽	その他	計
午前6時～9時	453	68	409	63	13	20	264	21	1,311
午前9時～正午	98	188	362	184	62	35	189	29	1,147
正午～午後3時	17	30	67	28	14	1	30	4	191
午後3時～6時	7	19	33	19	3	7	13	6	107
午後6時～9時	1	4	7	3	1	2	3	0	21
午後9時以降	3	0	1	1	0	0	2	0	7
計	579	309	879	298	93	65	501	60	2,784

帰宅時間と 2-1（外出目的）とのクロス集計の結果が下の表です。

「午後 6 時～9 時」帰宅の多くが通勤通学で、「午後 3 時～6 時」帰宅では、買い物であることがわかります。

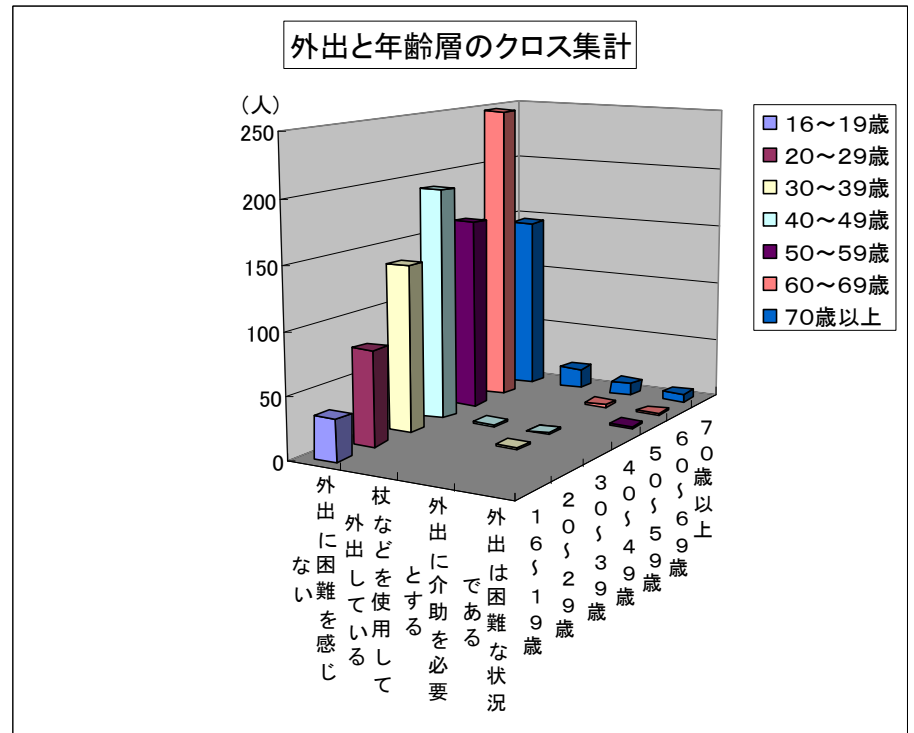
帰宅時間	通勤通学	通院通所	買い物	銀行郵便局	公共施設	塾習い事	趣味娯楽	その他	計
午前6時～9時	12	11	19	6	2	0	12	1	63
午前9時～正午	10	59	101	61	23	8	46	9	317
正午～午後3時	43	98	176	92	32	13	82	14	550
午後3時～6時	142	94	247	85	23	23	115	23	752
午後6時～9時	310	40	279	47	11	19	205	11	922
午後9時以降	61	3	51	6	1	3	37	1	163
計	578	305	873	297	92	66	497	59	2,767

2-5 外出について

全体の 93%が、外出に困難を感じないと答えています。

70 歳代でもほとんどの人が、「外出に困難を感じない」と答えていますが、その年齢になると杖使用や介助を必要とするなどの回答が多くなっています。

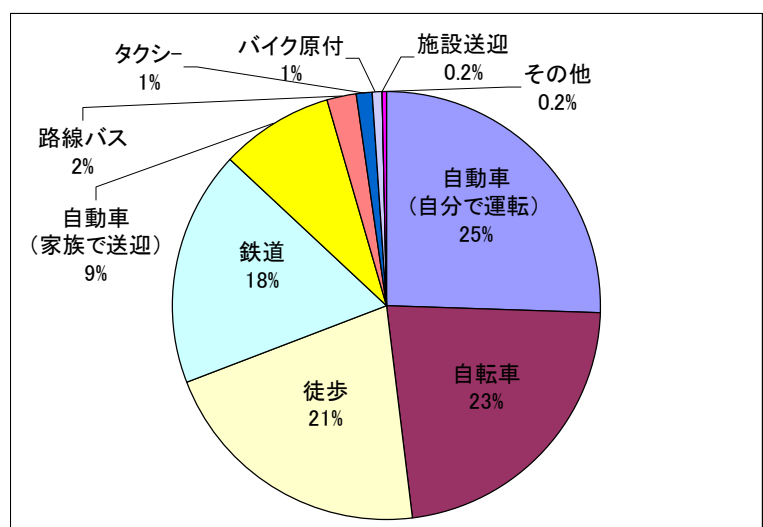
項目	回答数	割合
外出に困難を感じない	990	93%
杖などを使用して外出している	18	2%
外出に介助を必要とする	14	1%
外出は困難な状況である	10	1%
無回答	27	3%
計	1,059	100%



2-6 外出時の移動手段について（多いものから3つまで）

回答の多い順から、自動車（自分で運転）25%、自転車 23%、徒歩 21%、鉄道 18% となっています。

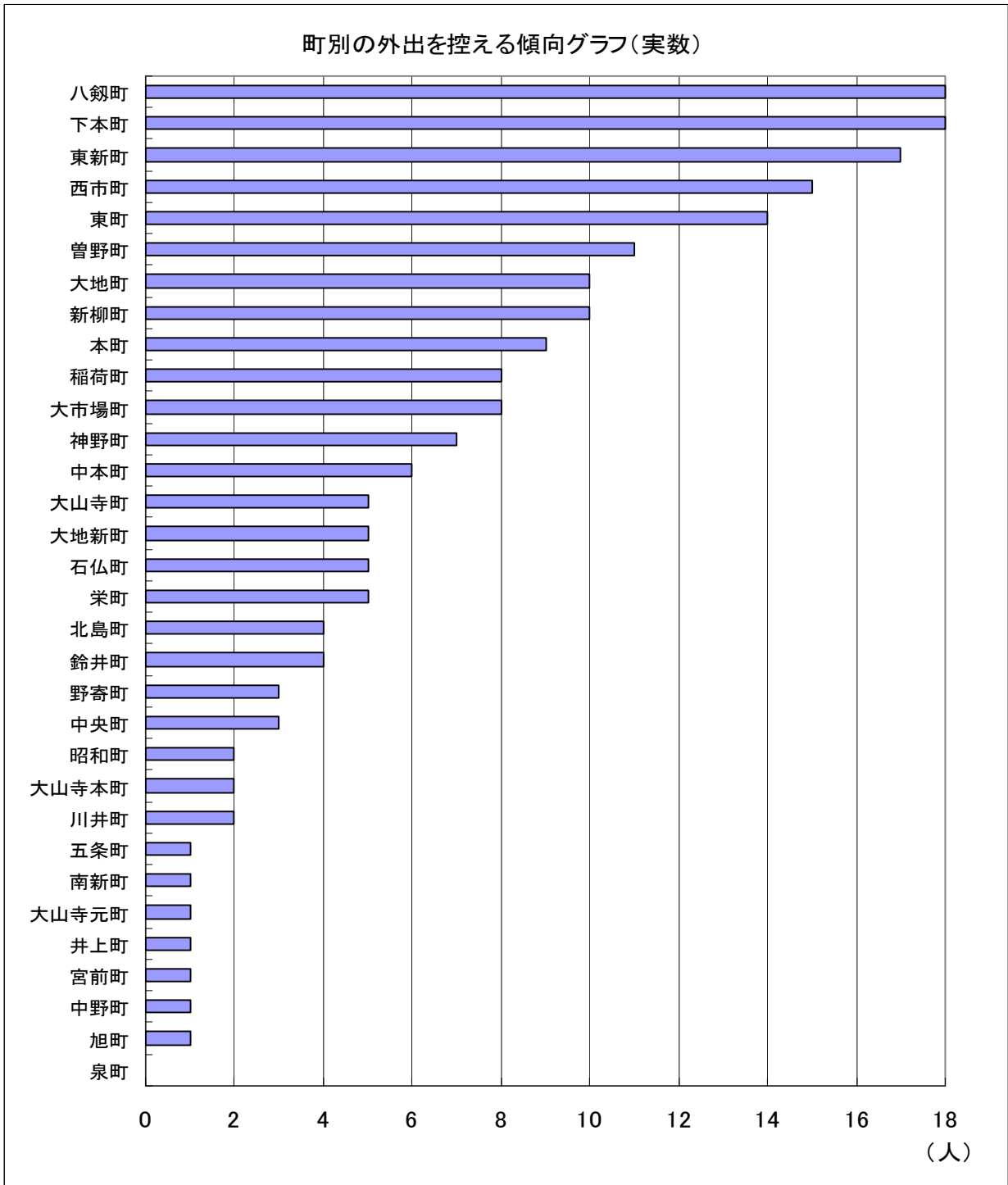
移動手段	回答数	割合
自動車（自分で運転）	1,756	25%
自転車	1,562	23%
徒歩	1,447	21%
鉄道	1,233	18%
自動車（家族で送迎）	593	9%
路線バス	165	2%
タクシー	65	1%
バイク原付	54	1%
施設送迎	17	0.2%
その他	11	0.2%
計	6,903	100%



2-7 公共交通が「ない」あるいは「利用しづらい」ために外出を控えたことはありますか。
 2-5（外出について）の項目とのクロス集計の結果が、下の表です。

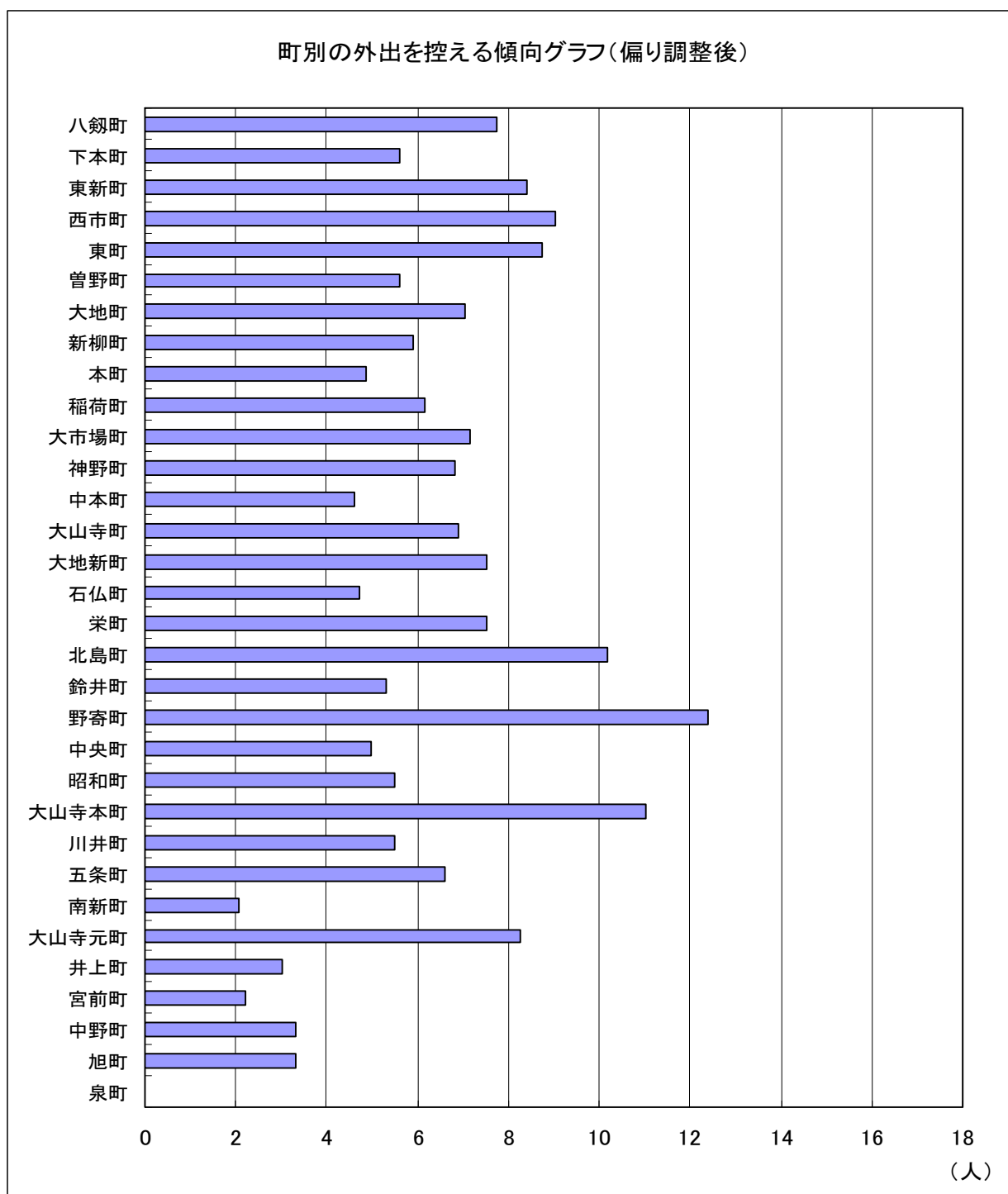
	よくある	たまにある	ない	計
外出に困難を感じない	20	161	789	970
杖などを使用して外出している	2	6	8	16
外出に介助を必要とする	2	3	8	13
外出は困難な状況である	3	2	5	10
計	27	172	810	1,009

外出に困難を感じないと答えている人でも、18.7%([20+161]/970)の人が外出を控えることが「よくある」又は「たまにある」と答えています。この 18.7%がどの地域の人が多いのかは、下の表のとおりです。



外出を控えたことがあると答えている人数は、多い順から八劔町、下本町、東新町となっています。

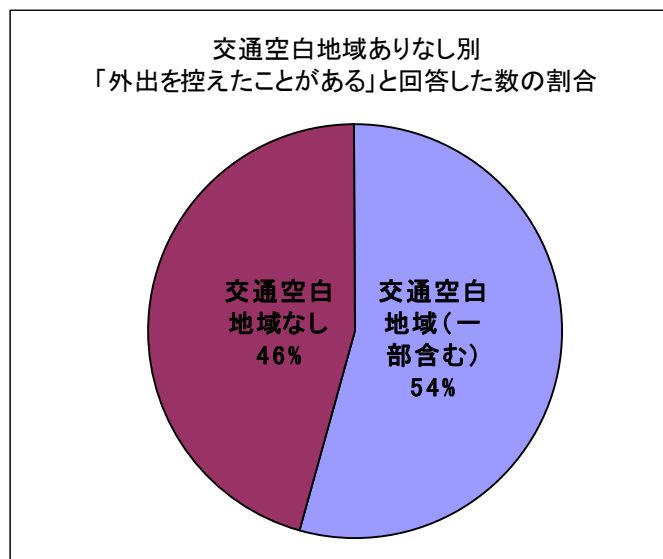
偏り調整した場合は、下の表のとおりとなり、多い順から、野寄町、大山寺本町、北島町となっています。



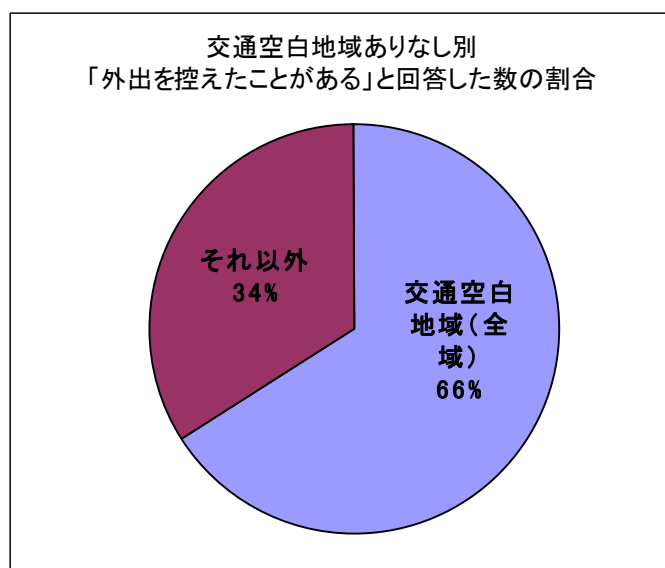
交通空白地域とそれ以外の地域を区分して集計すると、次のとおりとなります。

左側が、一部でも交通空白地域を含む地域とそうでない地域の対比、右側が北島町及び野寄町とそれ以外の地域の対比です。「一部でも含む」の場合、その地域の人が回答しているかどうかは把握できないという要因があるため、あくまでも参考に過ぎません。しかし、交通空白地域においての傾向は、数値に表われているといえます。

	割合
交通空白地域(一部含む)	54%
交通空白地域なし	46%



	割合
交通空白地域(全域)	66%
交通空白地域なし	34%



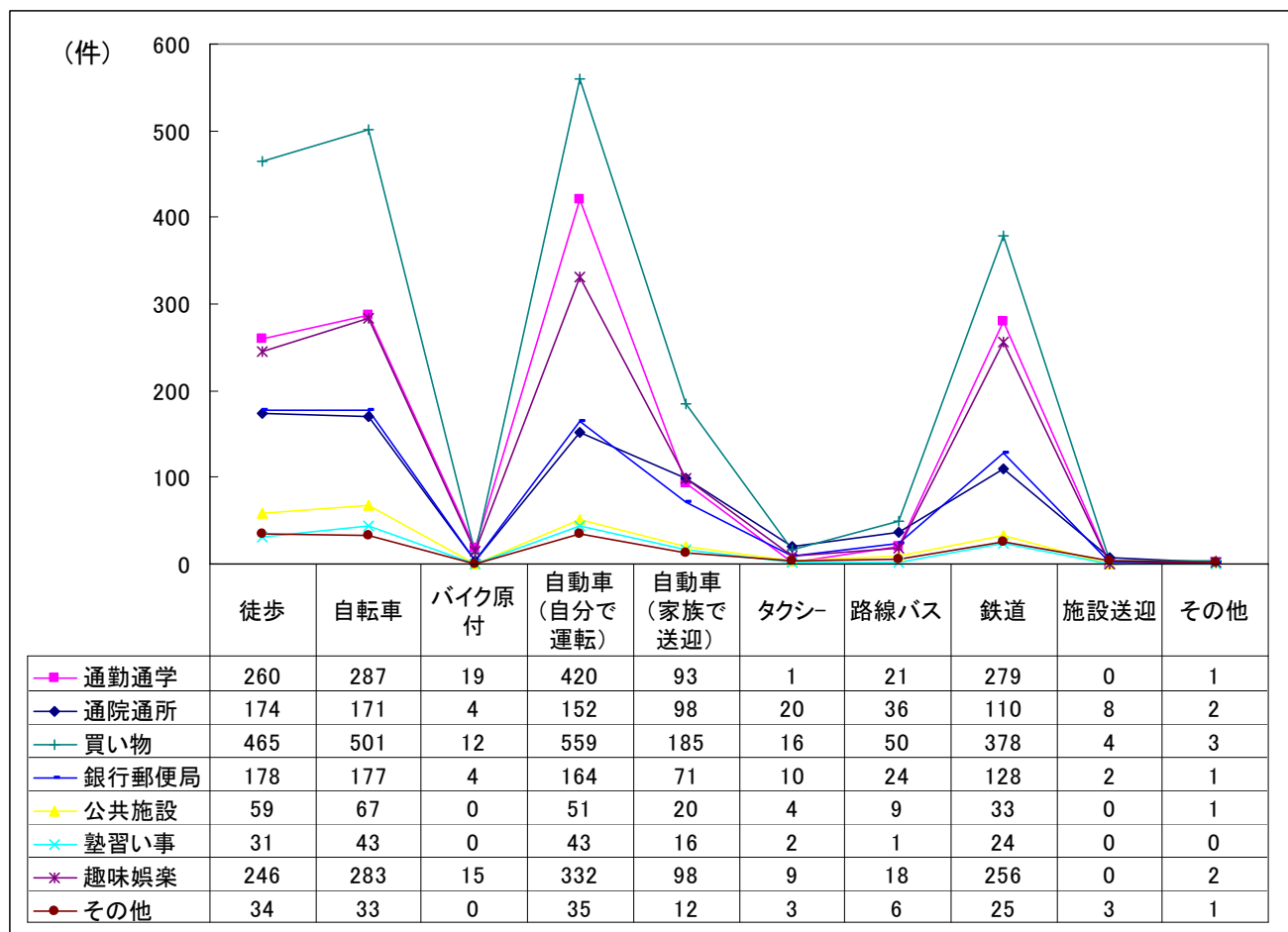
○その他のクロス集計等

2-1（目的）と2-6（移動手段）とを組み合わせると次表のとおりです。

買い物、通勤通学、趣味娯楽など目的にかかわらず、多い順から、車（自分で運転）、自転車、徒歩、鉄道、車（家族で送迎）となっています。

通勤通学については、1-5（勤務地）の項目で名古屋市、小牧市、一宮市への勤務が多く、名古屋市への通勤は鉄道が便利であり、その結果が反映されています。しかし、小牧市、一宮市へはバス路線しかないわけですが、その数値が多くないことから、自家用車で出勤している割合が多いことがわかります。

タクシーや路線バスの利用は少なく、その中で最も多い買い物における路線バスの利用でさえ50件となっています。



3 鉄道の利用状況について

3-1 鉄道を日常的に利用していますか。

3-2 利用している鉄道駅を教えてください。

3-3 主にどの方面に乗車されますか。

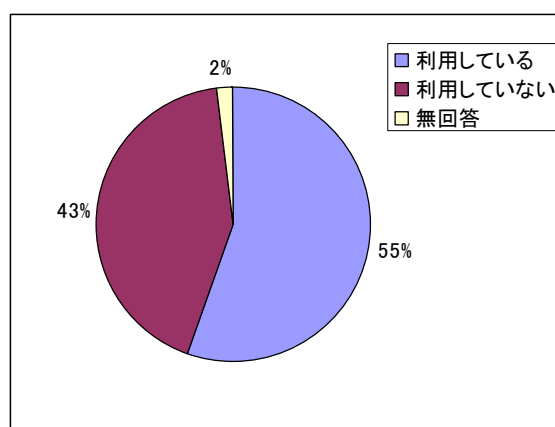
利用していると回答した人は、全体の 55%です。

その内訳は、岩倉駅が 81%、石仏駅

8%、大山寺駅 10%となっています。

名古屋方面が 92%、犬山方面が 6%

となっています。



	回答数	割合
利用している	584	55%
利用していない	451	43%
無回答	24	2%
計	1,059	100%

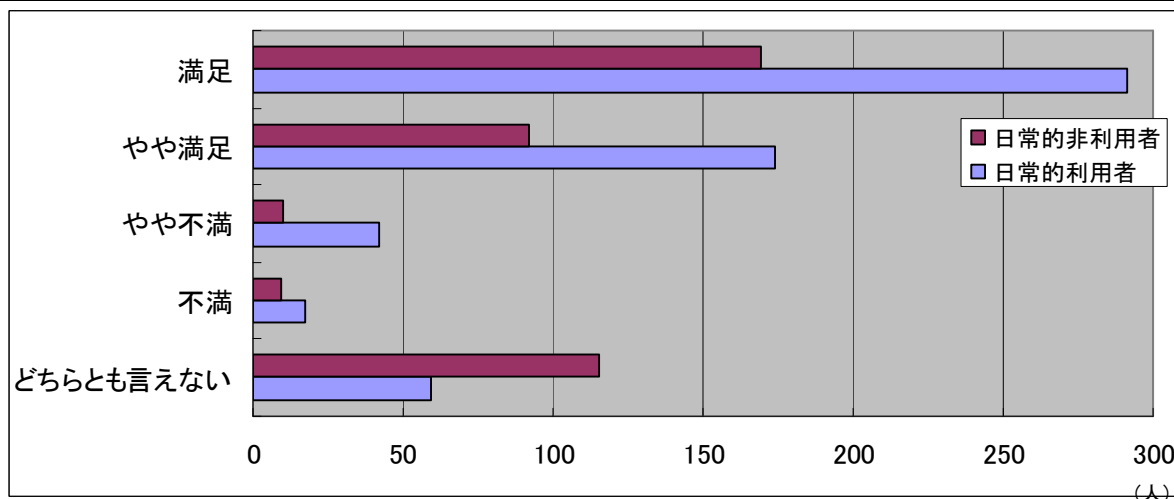
	岩倉駅	石仏駅	大山寺駅	その他	無回答	計	割合
名古屋方面	439	42	54	1	—	536	92%
犬山方面	29	5	3	0	—	37	6%
無回答	4	0	1	1	5	11	2%
計	472	47	58	2	5	584	100%
割合	81%	8%	10%	0.3%	1%	100%	

4 鉄道の満足度について

4-1 本数

3-1 の「日常的に利用していますか」問いに対し、「利用している」と回答した者を「日常的用户」、
「利用していない」と回答した者を「日常的非利用用户」と言い換えます（以下、バスやタクシーも同じ）。

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
日常的用户	291	174	42	17	59	583
日常的非利用用户	169	92	10	9	115	395
計	460	266	52	26	174	978

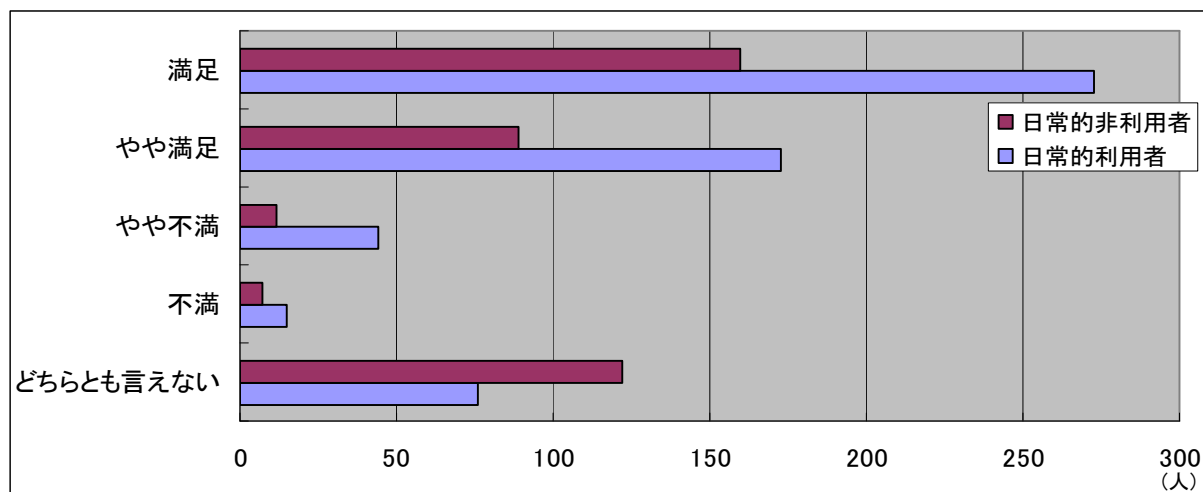


全体の「不満」・「やや不満」（以下、二つを合わせて、「不満度」といいます。）の割合は低く、日常的用户の「満足」・「やや満足」（以下、「満足度」といいます。）の割合は日常的非利用用户より高くなっています。

4-2 運行時間帯

結果は、4-1（本数）とほとんど同じ傾向を示しています。日常的用户は、高い満足度を示しています。

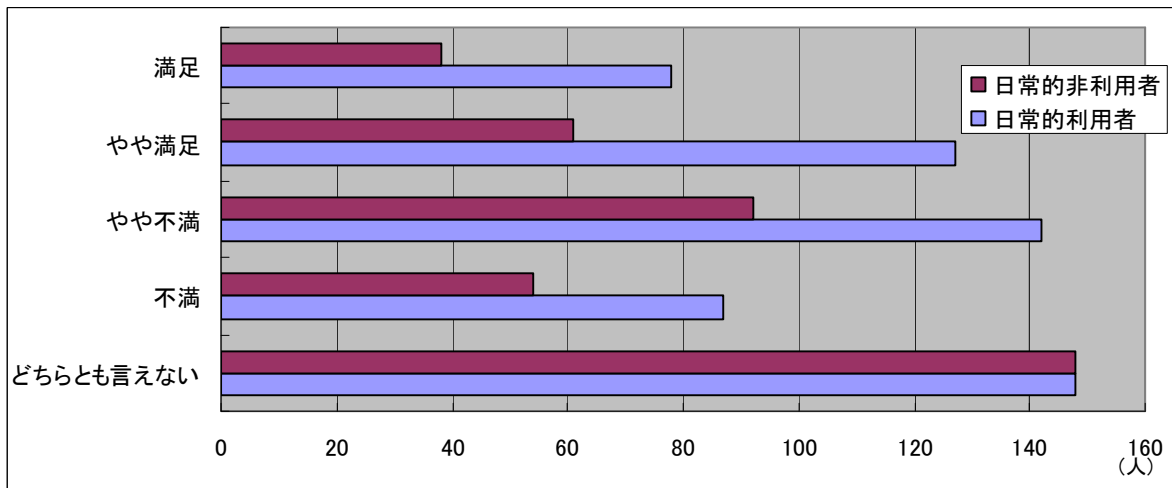
	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
日常的用户	273	173	44	15	76	581
日常的非利用用户	160	89	12	7	122	390
計	433	262	56	22	198	971



4-3 運賃

4-1（本数）4-2（運行時間帯）と違い、不満度の割合が高くなっています。日常的利用者では 39%([142+87]/582)、日常的非利用者では 37%([92+54]/393)となっています。運賃に対する不満が表れています。

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
日常的利用者	78	127	142	87	148	582
日常的非利用者	38	61	92	54	148	393
計	116	188	234	141	296	975



5 路線バスの利用状況について

5-1 岩倉市内の路線バスを日常的に利用していますか。

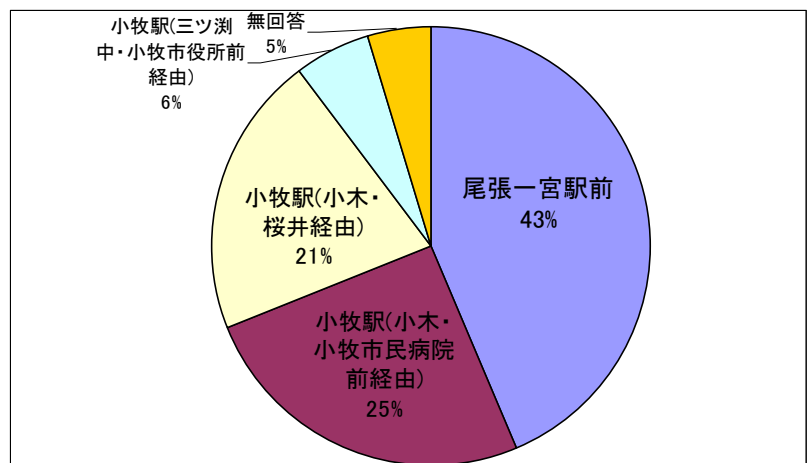
5-2 主に利用している路線について教えてください。

路線バスの利用者の割合は、全体の 8%となっています。

	回答数	割合
利用している	87	8%
利用していない	944	89%
無回答	28	3%
計	1,059	100%

路線については回答の多い順から、尾張一宮駅が 43%、小牧駅行き（小牧市民病院経由）25%、同（小木・桜井経由）21%となっています。

路線(行き先)	回答数	割合
尾張一宮駅前	38	43%
小牧駅(小木・小牧市民病院前経由)	22	25%
小牧駅(小木・桜井経由)	18	21%
小牧駅(三ツ渚中・小牧市役所前経由)	5	6%
無回答	4	5%
計	87	100%

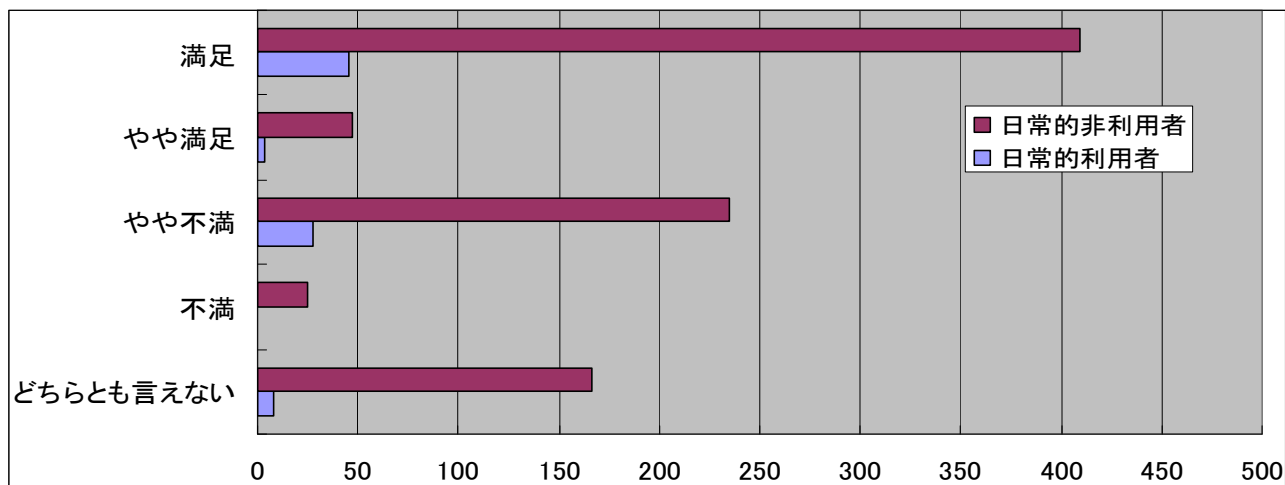


6 路線バスの満足度について

6-1 便数

日常的利用者の満足度は、58%([45+4]/85)となっており、日常的非利用者でも、52%([409+47]/882)となっています。

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
日常的利用者	45	4	28	0	8	85
日常的非利用者	409	47	235	25	166	882
合計	454	51	263	25	174	967

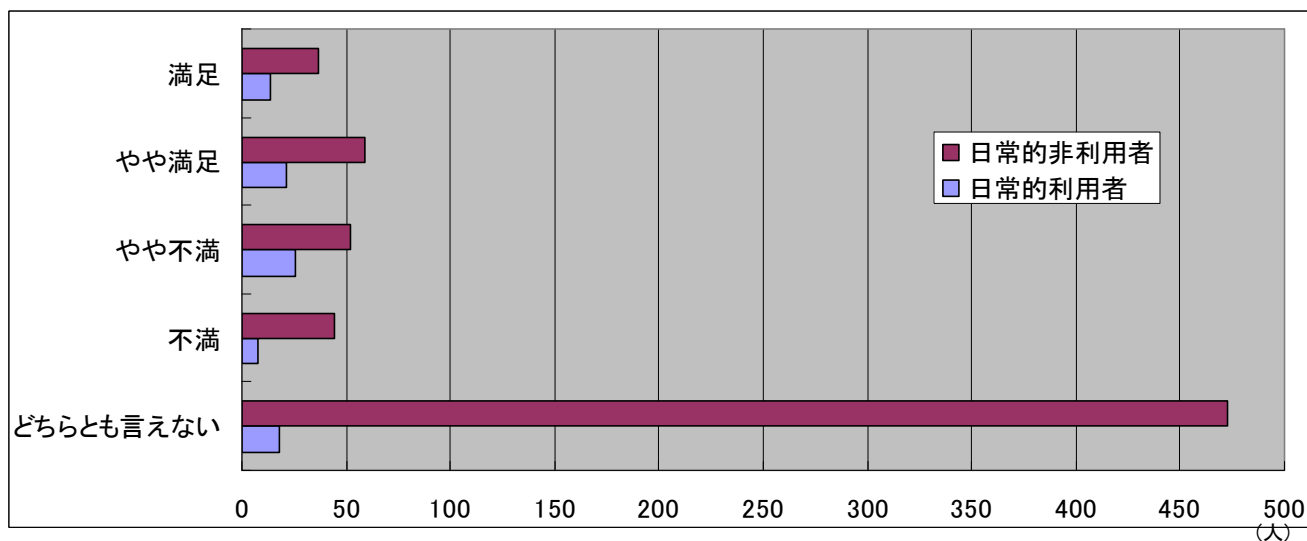


(人)

6-2 運行時間帯

6-1 (便数) に比べ、満足度は低くなっています。日常的利用者は 40% ([14+21]/87)、日常的非利用者では 14%([37+59]/665)しかありません。

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
日常的利用者	14	21	26	8	18	87
日常的非利用者	37	59	52	44	473	665
計	51	80	78	52	491	752

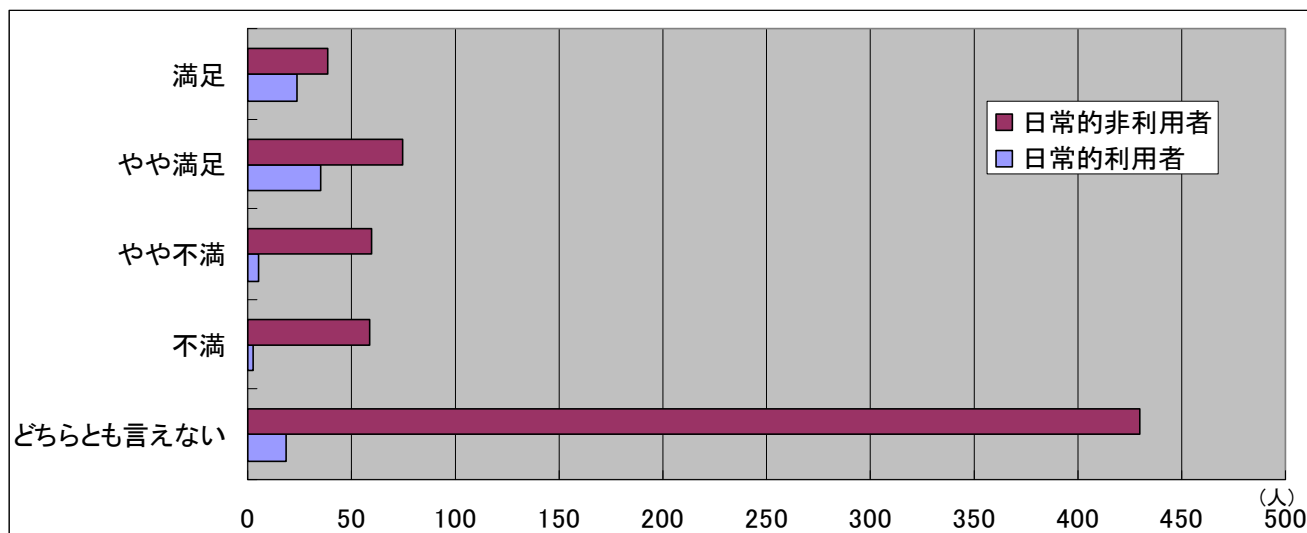


(人)

6-3 運行ルート

日常的利用者は、ルートに対する満足度は $69\%([24+35]/85)$ と高くなっています。一方、日常的非利用者については、 $17\%([39+75]/663)$ と、大きな隔たりがあるのが特徴的です。

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
日常的利用者	24	35	5	3	18	85
日常的非利用者	39	75	60	59	430	663
合計	63	110	65	62	448	748

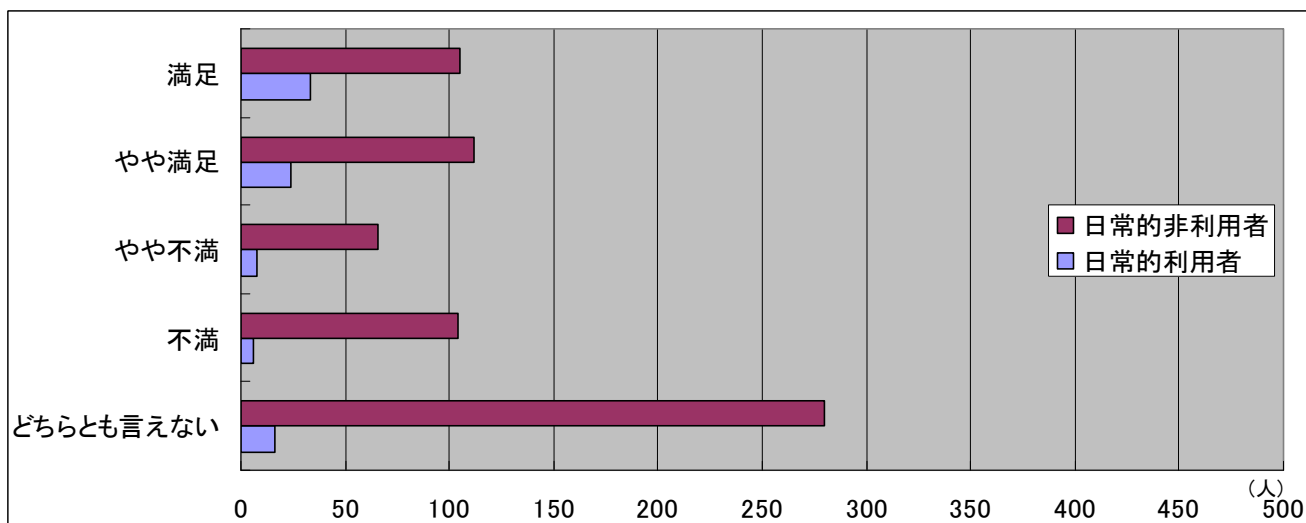


6-4 最寄りのバス停までの距離

日常的利用者の満足度は、 $66\%([33+24]/87)$ と高くなっています。

一方、日常的非利用者の満足度は、 $33\%([105+112]/667)$ であり、両者の感じ方の違いが特徴的です。

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
日常的利用者	33	24	8	6	16	87
日常的非利用者	105	112	66	104	280	667
合計	138	136	74	110	296	754



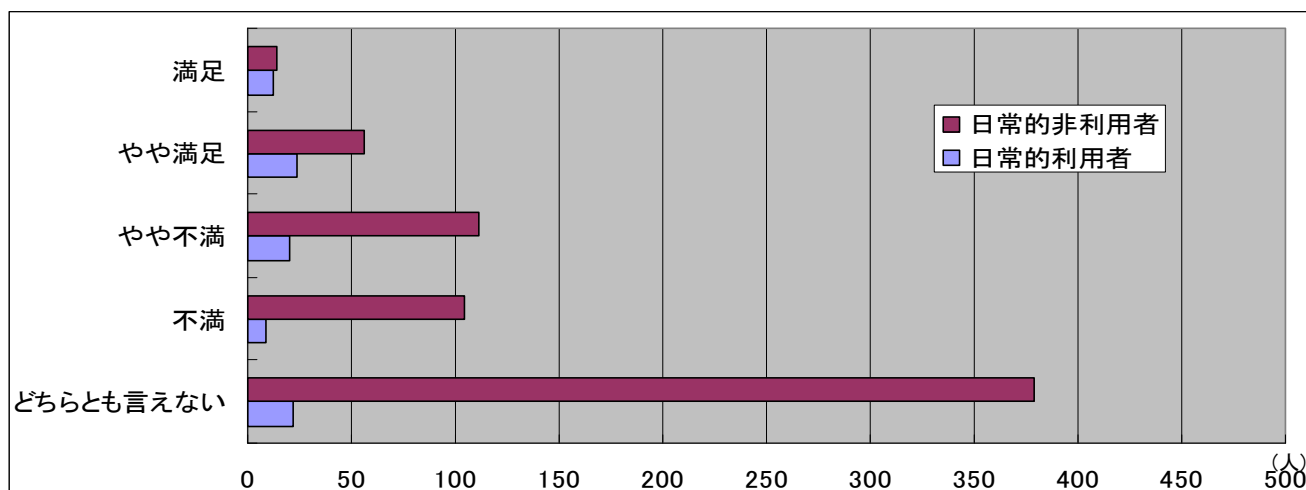
6-5 運賃

全体の満足度は、14%([26+80]/751)と低くなっています。全体で「どちらとも言えない」と答えている割合は、53%(401/751)と半数を超えています。ほとんどが日常的非利用者であり、たまにしか乗らないためわからないという感覚であると思われます。

日常の利用者の満足度は、41%([12+24]/87)となっています。

一方、日常的非利用者の満足度は、11%([14+56]/664)と低く、たまに乗る者にとって運賃は高いと認識されているということになります。

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
日常の利用者	12	24	20	9	22	87
日常的非利用者	14	56	111	104	379	664
計	26	80	131	113	401	751



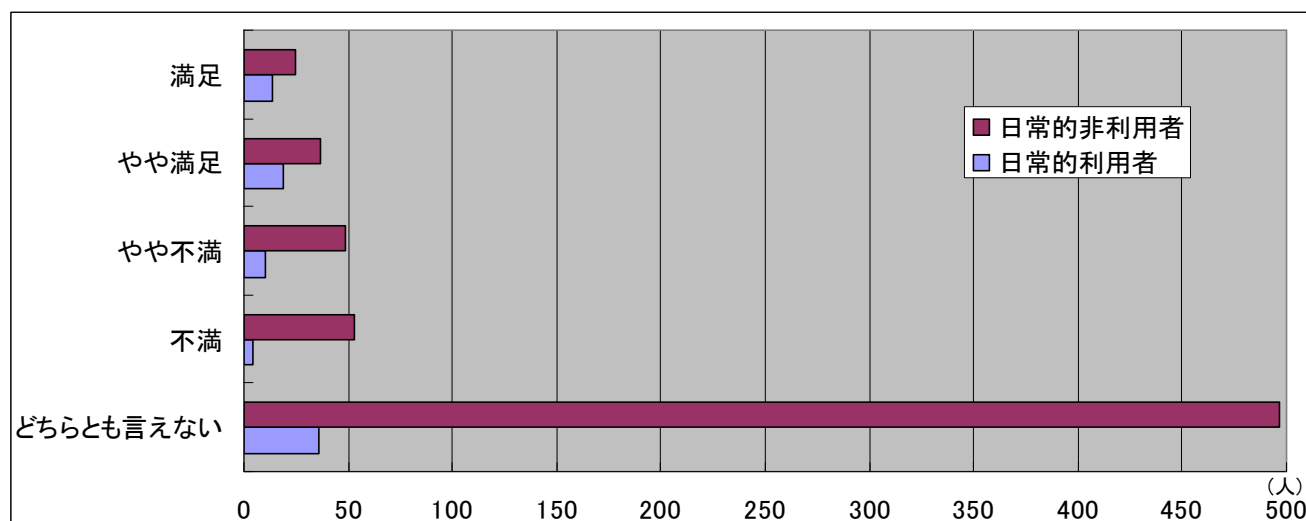
6-6 バスの乗り継ぎ

日常の利用者の満足度は、40%([14+19]/83)となっています。

一方、日常的非利用者の満足度は、9%([25+37]/661)と低くなっています。

「どちらとも言えない」と回答している人が、バスに関する質問項目の中で最も多いことから、バスを乗り継いで目的地に行くということ自体のニーズが低いとも思われます。

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
日常の利用者	14	19	10	4	36	83
日常的非利用者	25	37	49	53	497	661
計	39	56	59	57	533	744



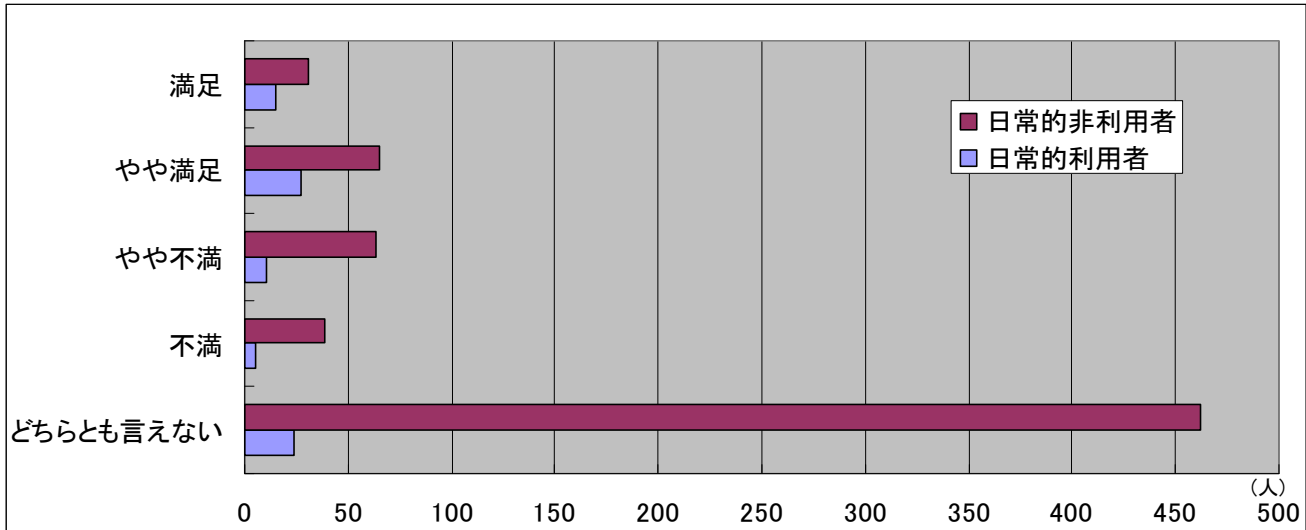
6-7 移動にかかる時間

日常的利用者の満足度は、51%([15+27]/81)となっています。

一方、日常的非利用者の満足度は、15%([31+65]/660)と低くなっています。

運行ルート、運賃と同様に、日常的に乗っている人は、目的が明確であり、かつ、感覚的に慣れていく傾向が表れているといえます。

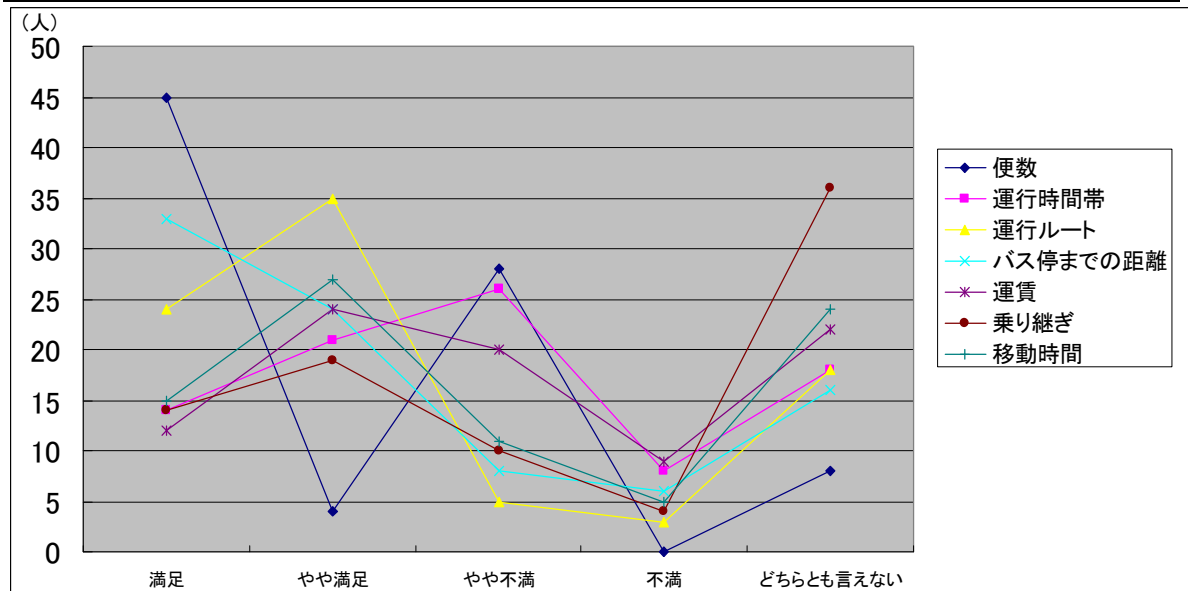
	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
日常的利用者	15	27	11	5	24	82
日常的非利用者	31	65	63	39	462	660
計	46	92	74	44	486	742



すべての項目を日常的利用者と日常的非利用者とに分けると次のようになります。

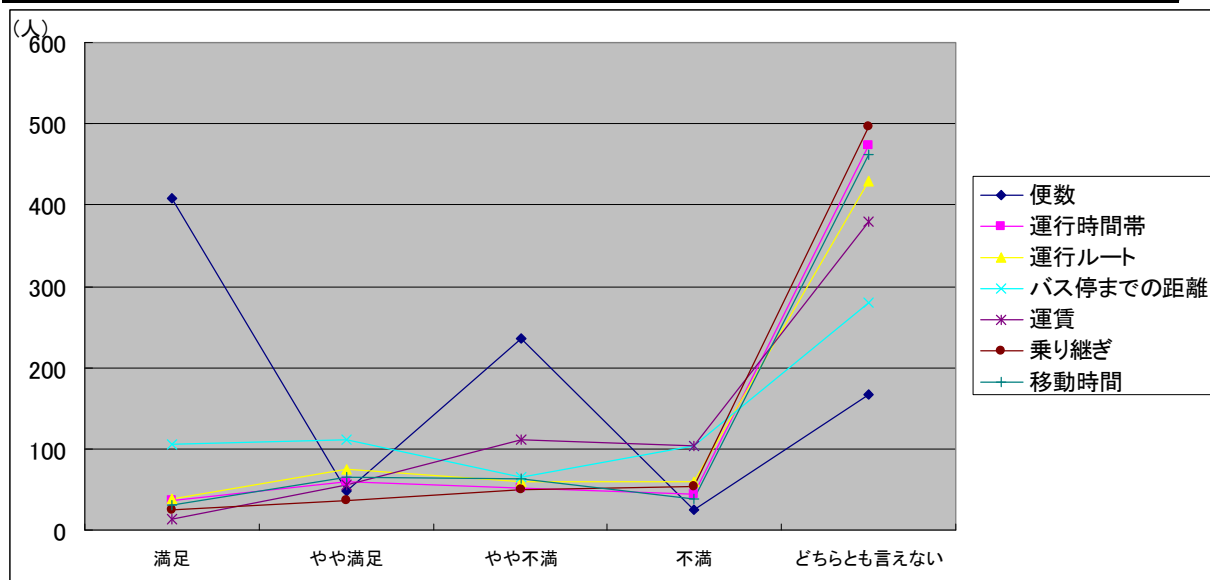
○日常的利用者

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない
便数	45	4	28	0	8
運行時間帯	14	21	26	8	18
運行ルート	24	35	5	3	18
バス停までの距離	33	24	8	6	16
運賃	12	24	20	9	22
乗り継ぎ	14	19	10	4	36
移動時間	15	27	11	5	24



○日常的非利用者

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない
便数	409	47	235	25	166
運行時間帯	37	59	52	44	473
運行ルート	39	75	60	59	430
バス停までの距離	105	112	66	104	280
運賃	14	56	111	104	379
乗り継ぎ	25	37	49	53	497
移動時間	31	65	63	39	462

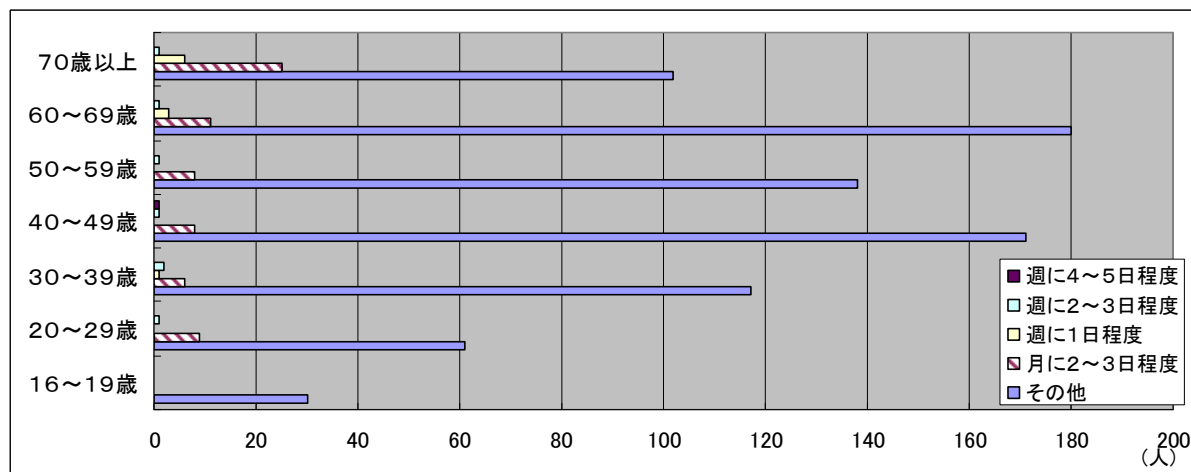


7 タクシーの利用状況について

7-1 利用している頻度を教えてください。

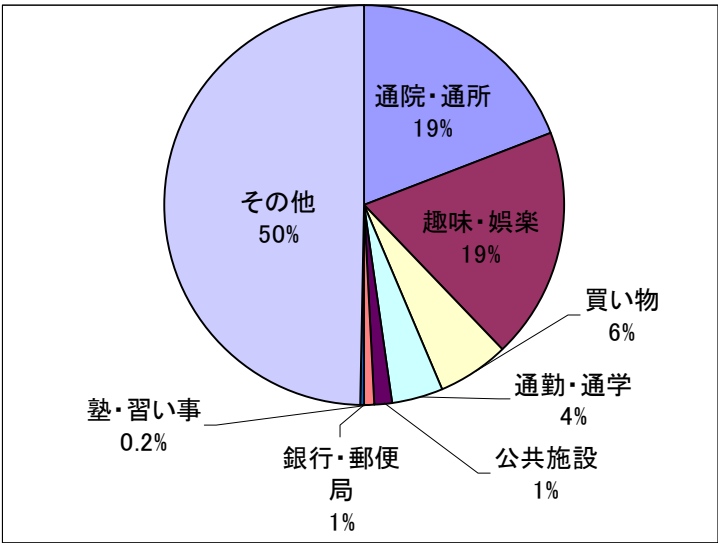
「その他」がほとんど（90%）を占め、多い順に「月に2～3日程度」、「週に1日程度」、「週に2～3日程度」、「週に4～5日程度」となっています。「ほぼ毎日」と回答した人は、0人でした。年齢が上がるほど、利用者は多くなる傾向にあります。

	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	その他	計
16～19歳	0	0	0	0	0	30	30
20～29歳	0	0	1	0	9	61	71
30～39歳	0	0	2	1	6	117	126
40～49歳	0	1	1	0	8	171	181
50～59歳	0	0	1	0	8	138	147
60～69歳	0	0	1	3	11	180	195
70歳以上	0	0	1	6	25	102	134
計	0	1	7	10	67	799	884



7-2 利用する目的は何ですか。(多いものから3つまで)

回答が多いのは、「通院・通所」、「趣味・娯楽」で、この二つで全体の38%を占めています。次に、「買い物」、「通勤・通学」と続きます。「通院・通所」では、年齢が上がるにつれ数値が高くなっています。



	通院・通所	趣味・娯楽	買い物	通勤・通学	公共施設	銀行・郵便局	塾・習い事	その他	計
16～19歳	1	0	1	2	1	0	0	12	17
20～29歳	4	15	3	3	1	0	0	17	43
30～39歳	8	13	1	8	0	0	0	38	68
40～49歳	15	19	4	5	2	0	0	47	92
50～59歳	18	12	6	3	1	0	0	51	91
60～69歳	20	28	3	3	2	0	0	72	128
70歳以上	41	16	14	0	1	4	1	40	117
計	107	103	32	24	8	4	1	277	556
割合	19%	19%	6%	4%	1%	1%	0.2%	50%	100%

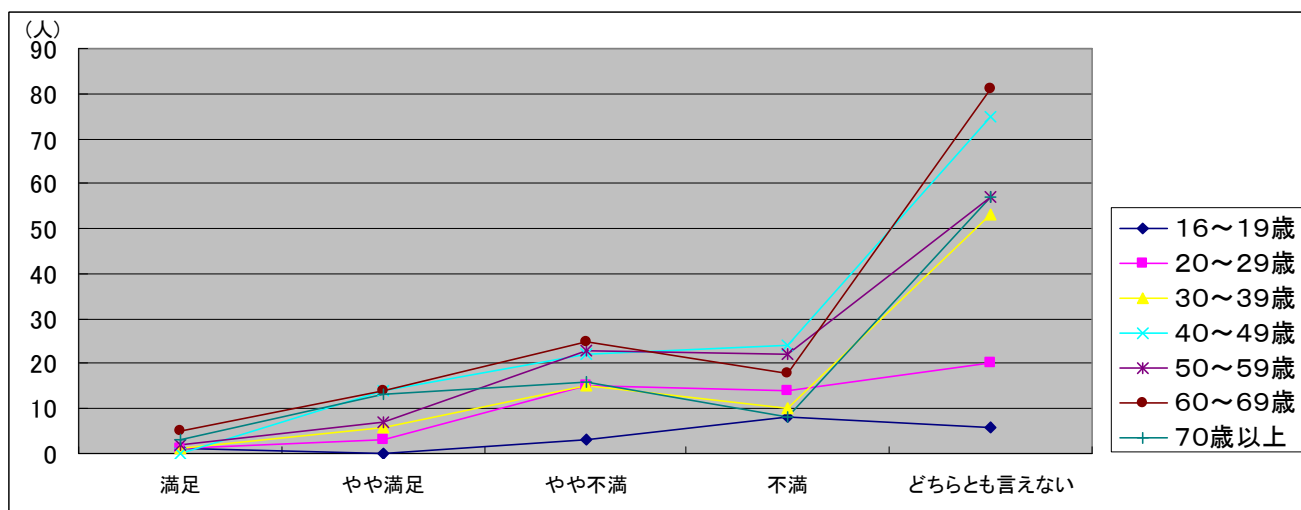
その他の主なものは、下の表のとおりです。

その他理由	件数	その他理由	件数
終電(終バス)後の手段	16	仕事での利用	5
飲酒後	15	冠婚葬祭	3
旅先での利用	14	急病・緊急	3
駅まで(駅から)	10	自家用車がないとき	3
雨の日	6	荷物が多いとき	3
		利用しない	16

7-3 運賃

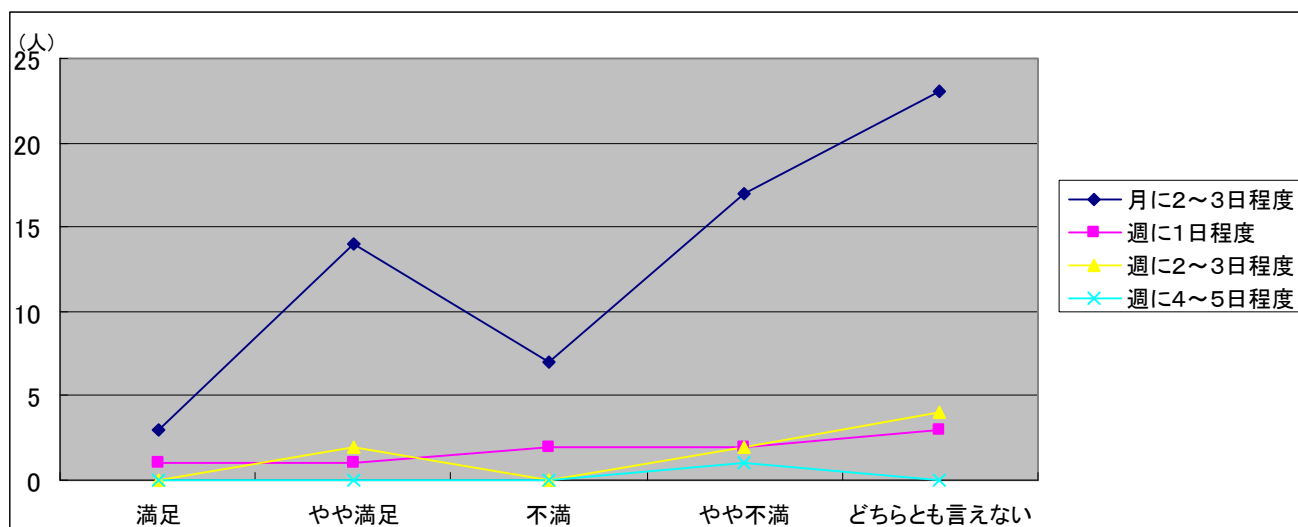
全体の満足度は、11%([13+57]/642)と低くなっています。「どちらとも言えない」が54%(349/642)を占めていますが、6-5 のバスの運賃と同じで、ほとんどの人が日常的非利用者であり、わからないというのが正直な感覚であると思われます。

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
16～19歳	1	0	3	8	6	18
20～29歳	1	3	15	14	20	53
30～39歳	1	6	15	10	53	85
40～49歳	0	14	22	24	75	135
50～59歳	2	7	23	22	57	111
60～69歳	5	14	25	18	81	143
70歳以上	3	13	16	8	57	97
計	13	57	119	104	349	642



また、7-1（利用頻度）の「その他」以外の利用者の数値でも、「どちらとも言えない」と答えた人が多くなっています。

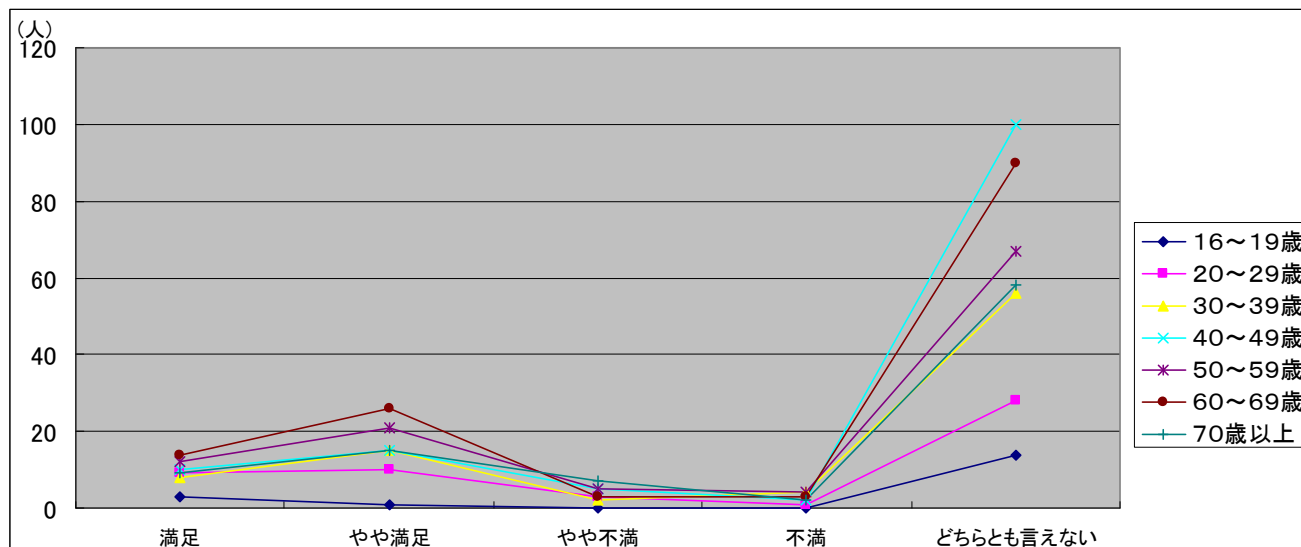
	満足	やや満足	不満	やや不満	どちらとも言えない
月に2～3日程度	3	14	7	17	23
週に1日程度	1	1	2	2	3
週に2～3日程度	0	2	0	2	4
週に4～5日程度	0	0	0	1	0



7-4 移動にかかる時間

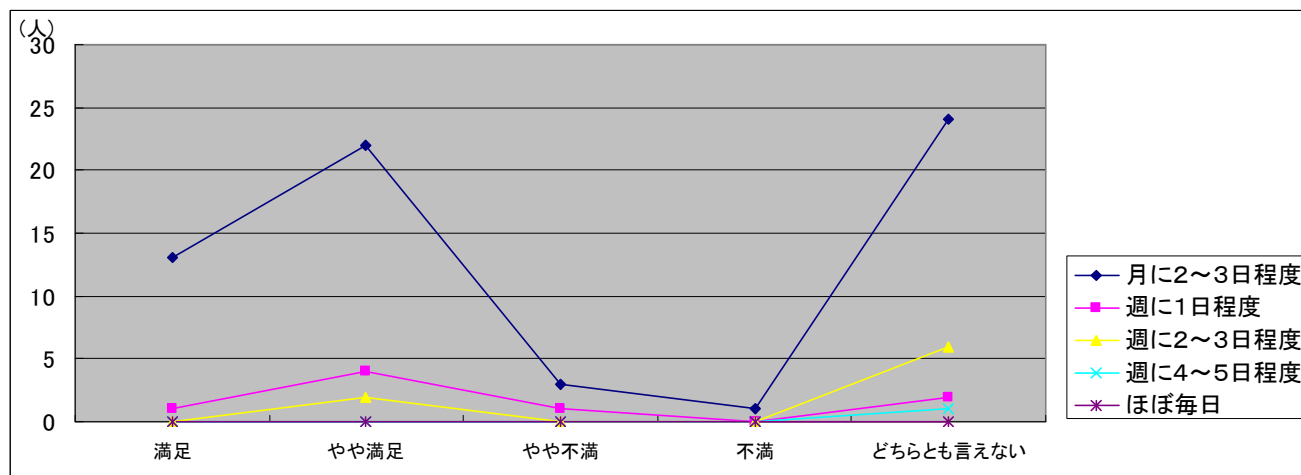
全体の満足度は 27%([65+103]/622)あり、7-3（運賃）に対する満足度（11%）と比較すると高くなっています。

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
16～19歳	3	1	0	0	14	18
20～29歳	9	10	3	1	28	51
30～39歳	8	15	2	4	56	85
40～49歳	10	15	5	2	100	132
50～59歳	12	21	5	4	67	109
60～69歳	14	26	3	3	90	136
70歳以上	9	15	7	2	58	91
計	65	103	25	16	413	622



「その他」以外の利用者の数値でみると、53%([14+28]/80)が満足であると答えています。

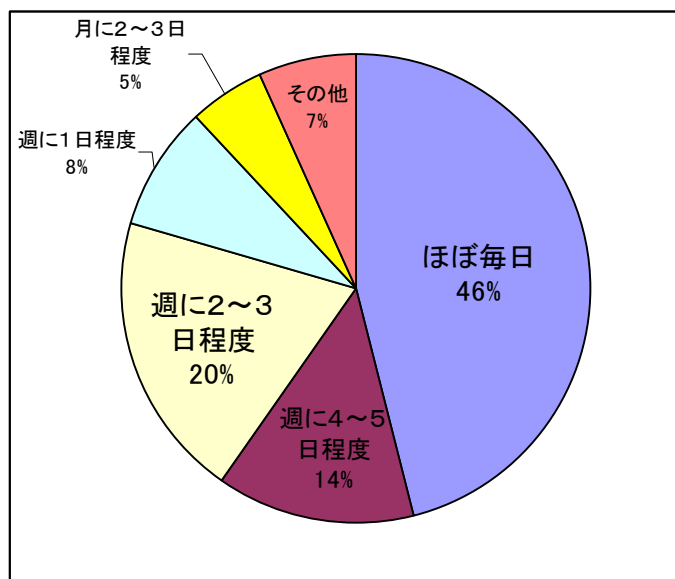
	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも言えない	計
月に2～3日程度	13	22	3	1	24	63
週に1日程度	1	4	1	0	2	8
週に2～3日程度	0	2	0	0	6	8
週に4～5日程度	0	0	0	0	1	1
ほぼ毎日	0	0	0	0	0	0
計	14	28	4	1	33	80



8 自家用車の利用について

8-1 利用している頻度を教えてください。

自家用車の有無の項目でクロス集計した結果です。「自家用車がある（本人が運転）」では、60%（403/667）が「ほぼ毎日」利用していると回答しています。一方、「自家用車がある（家族が運転）」では、「ほぼ毎日」より「週に2～3日程度」が上回っています。



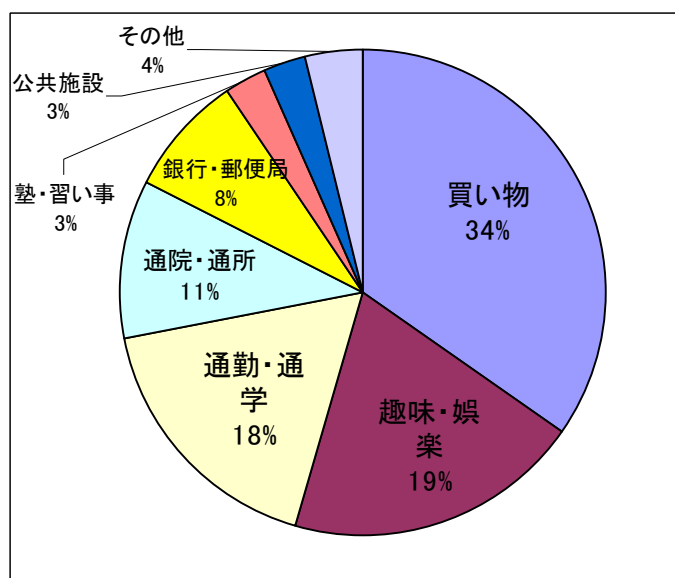
	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	その他	計
ある(本人が運転)	403	102	114	32	9	7	667
ある(家族が運転)	27	25	69	43	36	20	220
ない	1	0	2	4	5	35	47
計	431	127	185	79	50	62	934

8-2 利用する目的は何ですか。（多いものから3つまで）

全体では、多い順で「買い物」34%(723/2,084)、「趣味・娯楽」19%(409/2,084)、「通勤・通学」18%(365/2,084)となっています。

「自家用車がある（本人が運転）」では、多い順で「買い物」（33%(546/1,641)）、「通勤・通学」（20%(335/1,641)）、「趣味・娯楽」（20%(324/1,641)）となっています。

一方、「自家用車がある（家族が運転）」では、多い順で「買い物」（41%(168/414)）、「趣味・娯楽」（20%(82/414)）、「通院・通所」（15%(62/414)）となっています。



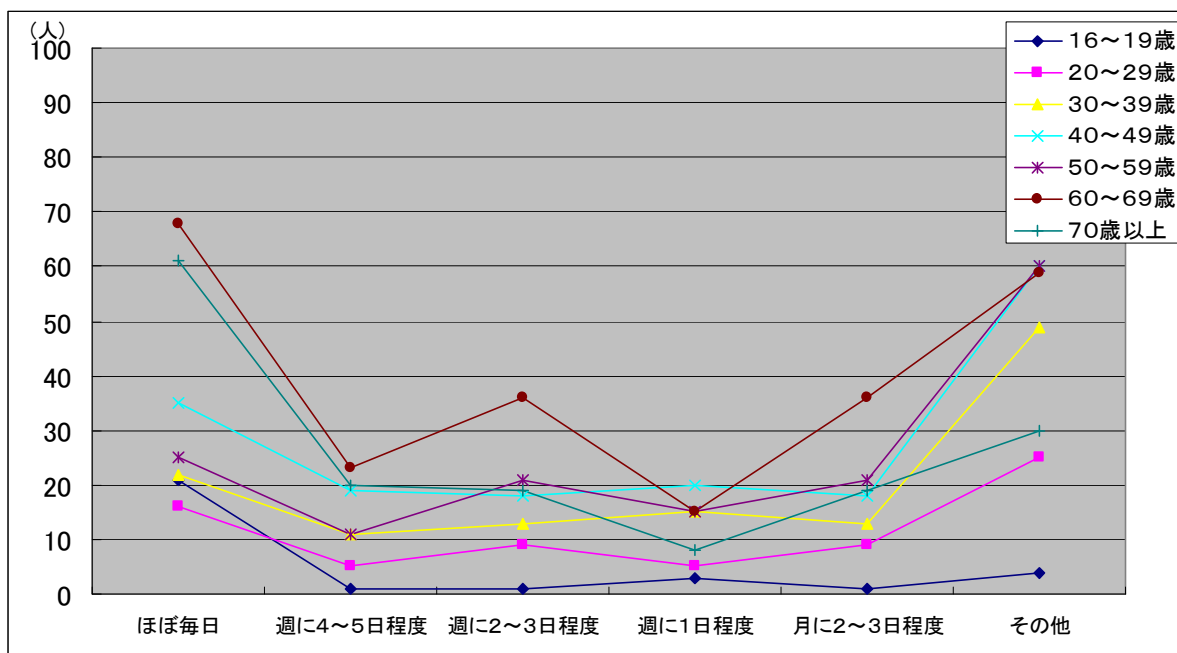
	買い物	趣味・娯楽	通勤・通学	通院・通所	銀行・郵便局	塾・習い事	公共施設	その他	計
ある(本人が運転)	546	324	335	157	130	52	47	50	1,641
ある(家族が運転)	168	82	28	62	35	7	9	23	414
ない	9	3	2	6	1	0	1	7	29
計	723	409	365	225	166	59	57	80	2,084

9 自転車の利用状況について

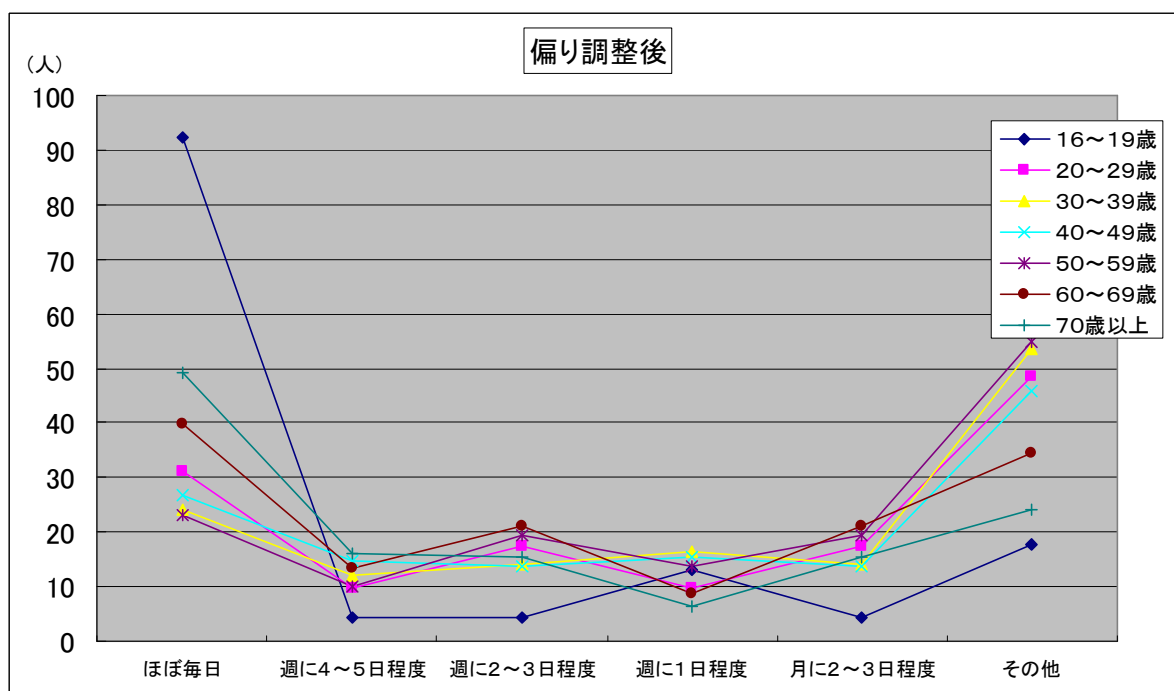
9-1 利用している頻度を教えてください。

「その他」以外では「ほぼ毎日」と回答している人が最も多く（26%(248/940)）、次いで、「月に2～3日程度」「週に2～3日程度」（両方とも12%(117/940)）、「週に4～5日程度」（10%(90/940)）となっています。

	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	その他	計
16～19歳	21	1	1	3	1	4	31
20～29歳	16	5	9	5	9	25	69
30～39歳	22	11	13	15	13	49	123
40～49歳	35	19	18	20	18	60	170
50～59歳	25	11	21	15	21	60	153
60～69歳	68	23	36	15	36	59	237
70歳以上	61	20	19	8	19	30	157
計	248	90	117	81	117	287	940



年齢別の回答をみると、「60～69歳」が最も多く、「16～19歳」が最も少なく、偏りを調整した場合は、次頁のとおりです。

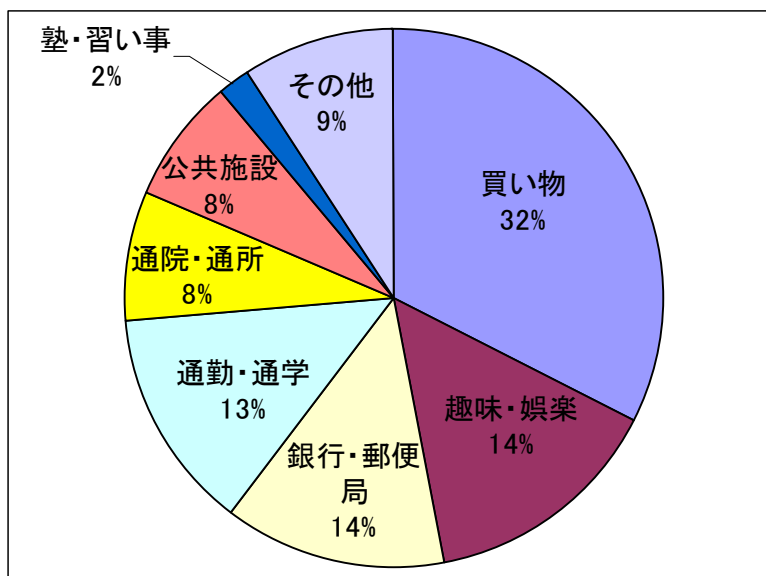


「16～19 歳」の自転車の利用は、実数ではサンプル数が少ないため目立ちませんでしたが、割合からすれば高い数値になることがわかります。

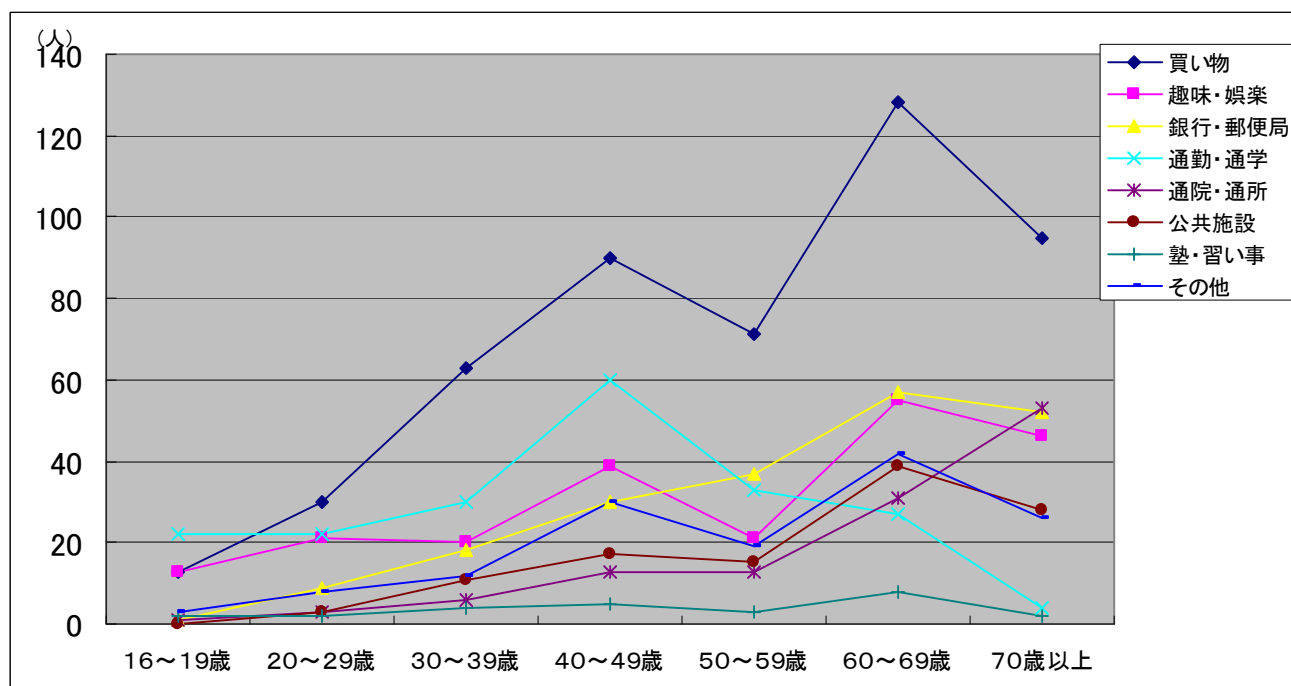
全体的に、自転車の利用は、各年齢層で同じような利用頻度の割合の傾向を示しているといえます。

9-2 利用する目的は何ですか。(多いものから3つまで)

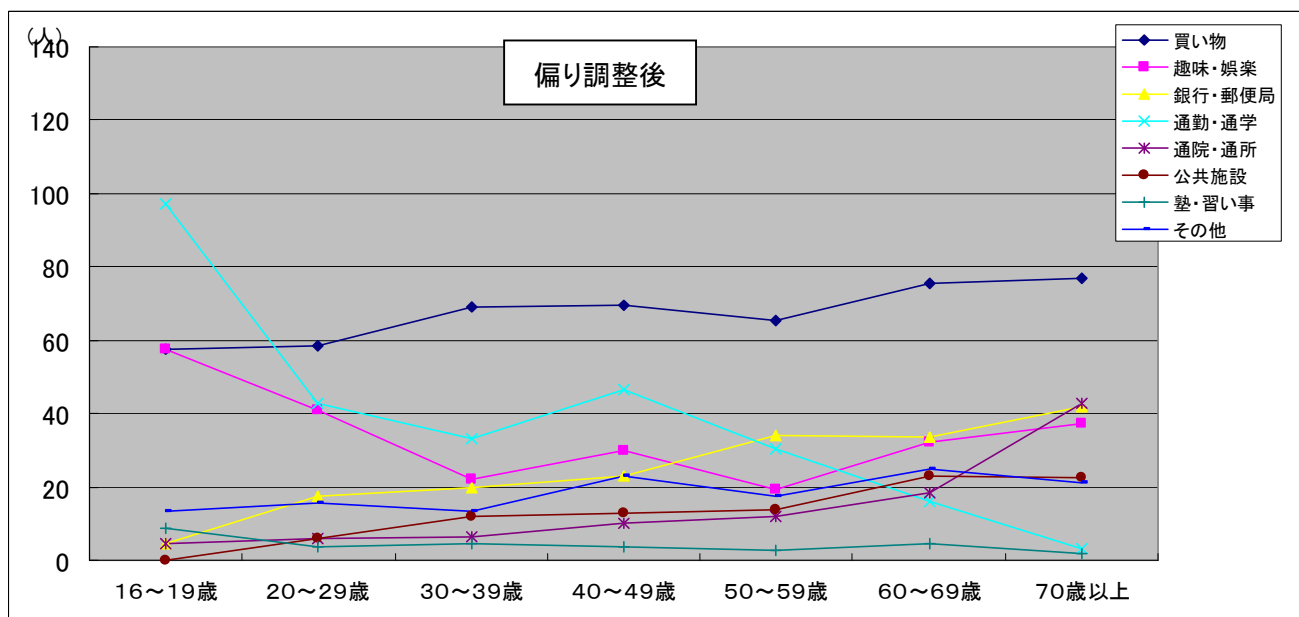
全体としては、多い順で、「買い物」(32%)、「趣味・娯楽」(14%)、「銀行・郵便局」(14%)、「通勤・通学」(13%)となっています。



	買い物	趣味・娯楽	銀行・郵便局	通勤・通学	通院・通所	公共施設	塾・習い事	その他	計
16～19歳	13	13	1	22	1	0	2	3	55
20～29歳	30	21	9	22	3	3	2	8	98
30～39歳	63	20	18	30	6	11	4	12	164
40～49歳	90	39	30	60	13	17	5	30	284
50～59歳	71	21	37	33	13	15	3	19	212
60～69歳	128	55	57	27	31	39	8	42	387
70歳以上	95	46	52	4	53	28	2	26	306
計	490	215	204	198	120	113	26	140	1,506



年齢別の折れ線グラフを偏り調整すると、次のようになります。

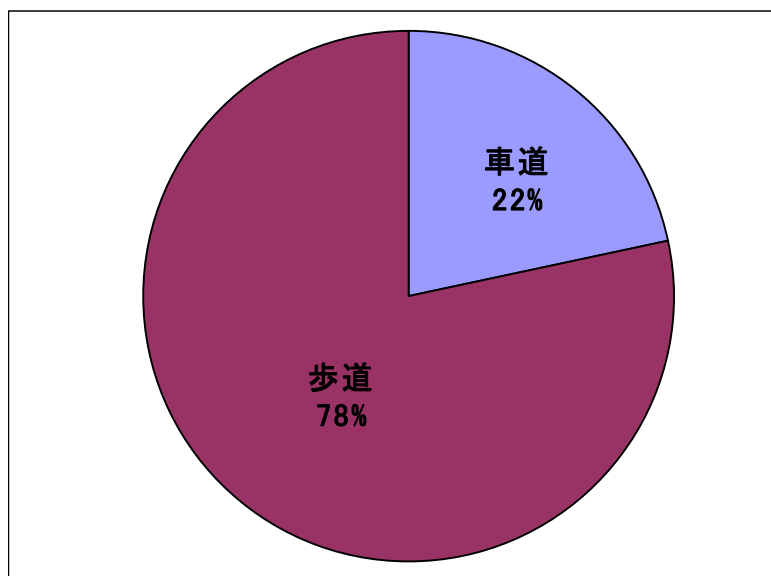


「買い物」の利用については、各年齢層による差がなくなっています。逆に、「通勤・通学」「趣味・娯楽」では、若年層の数値が高く示されています。

9-3 自転車に乗ったときは、主にどちらを走っていますか。

78%の人が歩道を走ると答えています。

道路の種類	回答数	割合
車道	172	22%
歩道	619	78%
計	791	100%

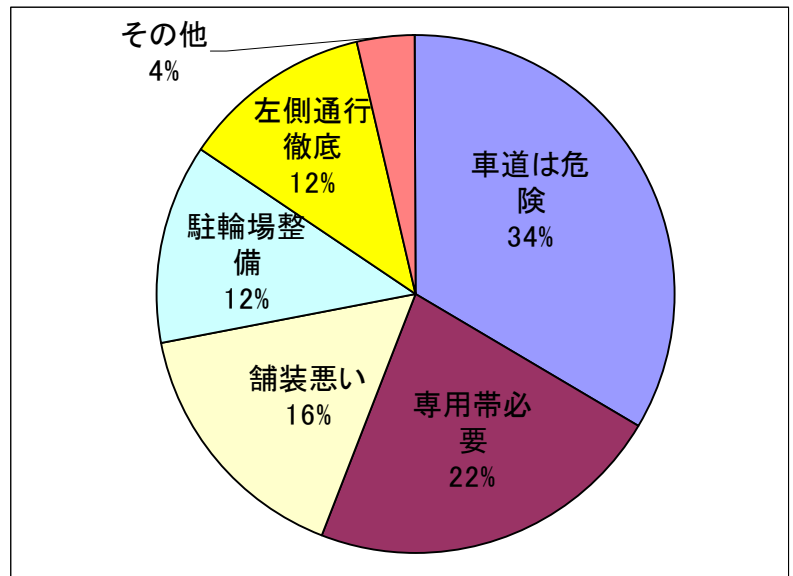


9-4 自転車で走る環境についてどう思いますか。(いくつでも)

回答の多い順で、「車道は危険」(34%)、「自転車専用帯が必要」(22%)、「歩道の舗装が悪い」(16%)となっています。

「その他」として、自転車のマナーが悪い、歩道が狭い、高齢者が危険などの意見がありました。

項目	回答数	割合
車道は危険	733	34%
専用帯必要	480	22%
舗装悪い	352	16%
駐輪場整備	271	12%
左側通行徹底	259	12%
その他	81	4%
計	2,176	100%



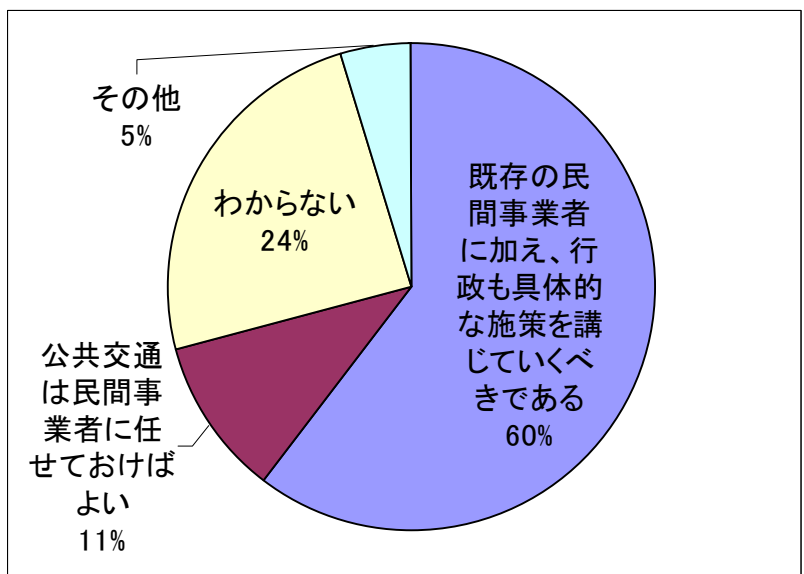
10 今後の交通施策について

10-1 交通至便のまちと評価されている現在、公共交通の分野には、岩倉市（行政）としてバスを走らせるなどの施策を講じていません。しかし、今後、高齢化がさらに進展することを踏まえ、どのように考えますか。

60%の人が「行政も具体的な施策を講じていくべき」だと答えています。

逆に、「民間事業者に任せておけばよい」と回答しているのは、11%となっています。

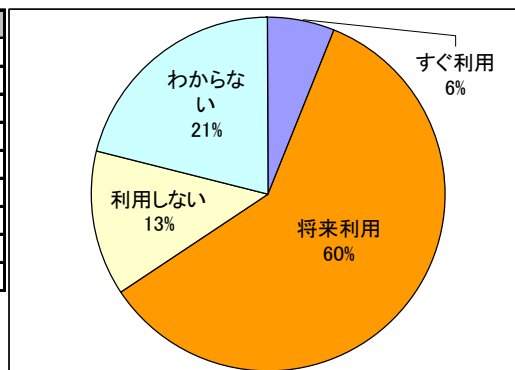
項目	回答数	割合
既存の民間事業者に加え、行政も具体的な施策を講じていくべきである	597	60%
公共交通は民間事業者に任せておけばよい	105	11%
わからない	242	24%
その他	46	5%
計	990	100%



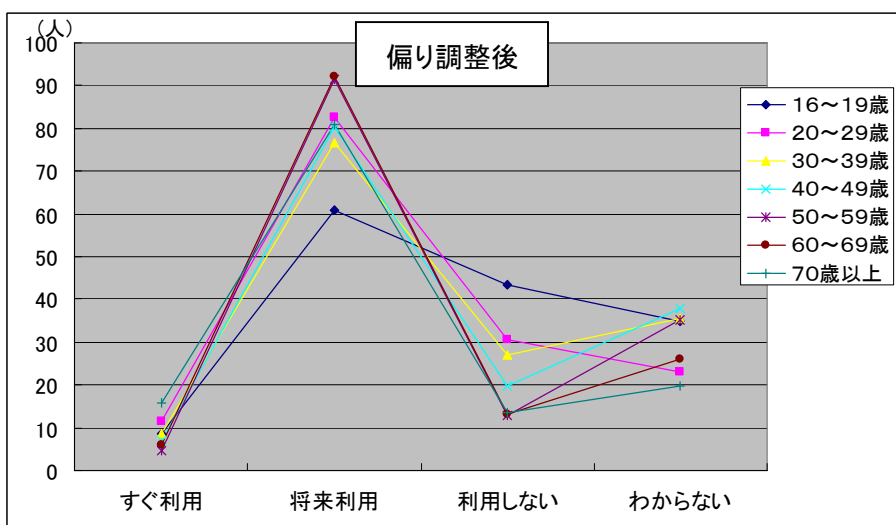
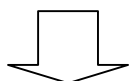
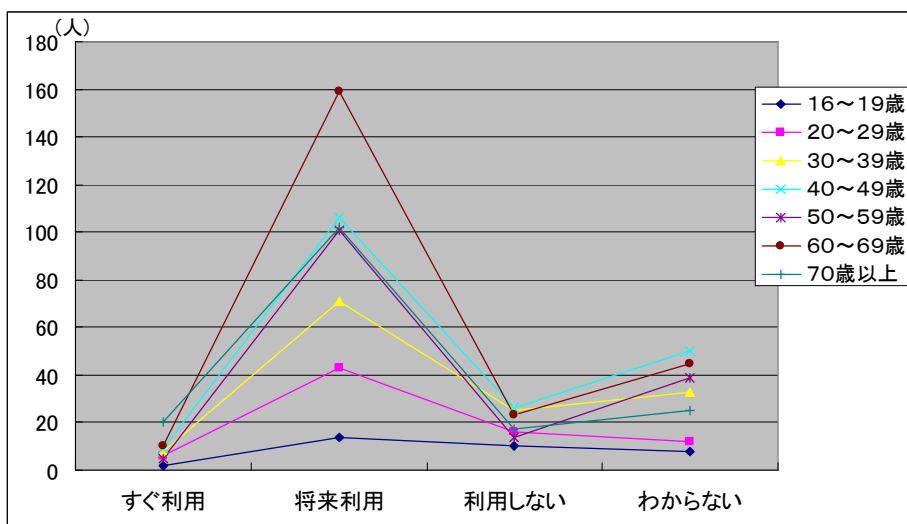
10-2 岐阜県美濃加茂市で、次のような公共交通の実証実験が始まっています。岩倉市に同じようなものがあつたとして、あなたは、どのように思いますか。

「すぐ利用」6%、「将来利用」60%であり、66%の人が利用したいと答えています。

	すぐ利用	将来利用	利用しない	わからない	計
16～19歳	2	14	10	8	34
20～29歳	6	43	16	12	77
30～39歳	8	71	25	33	137
40～49歳	9	106	26	50	191
50～59歳	5	101	14	39	159
60～69歳	10	159	23	45	237
70歳以上	20	102	17	25	164
計	60	596	131	212	999
割合	6%	60%	13%	21%	100%



この結果を偏り調整すると、各年齢層とも同じような傾向を示しています。



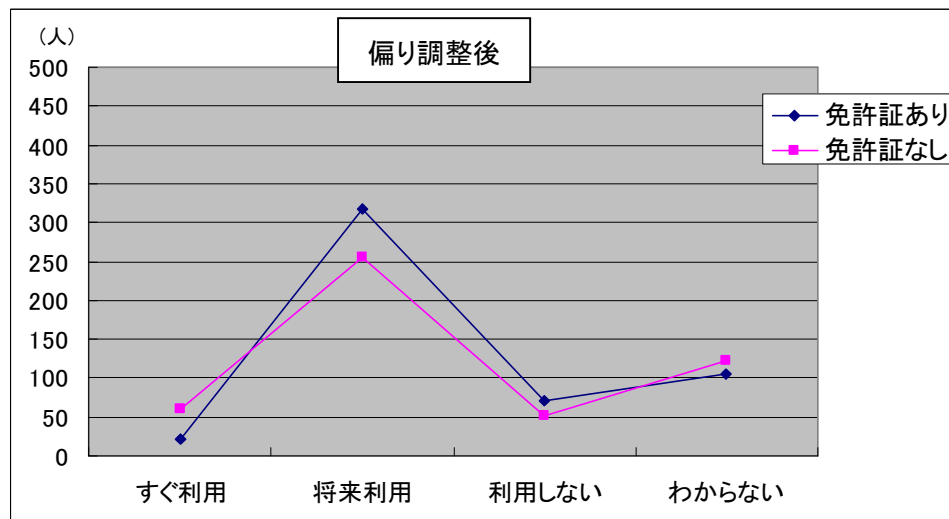
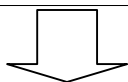
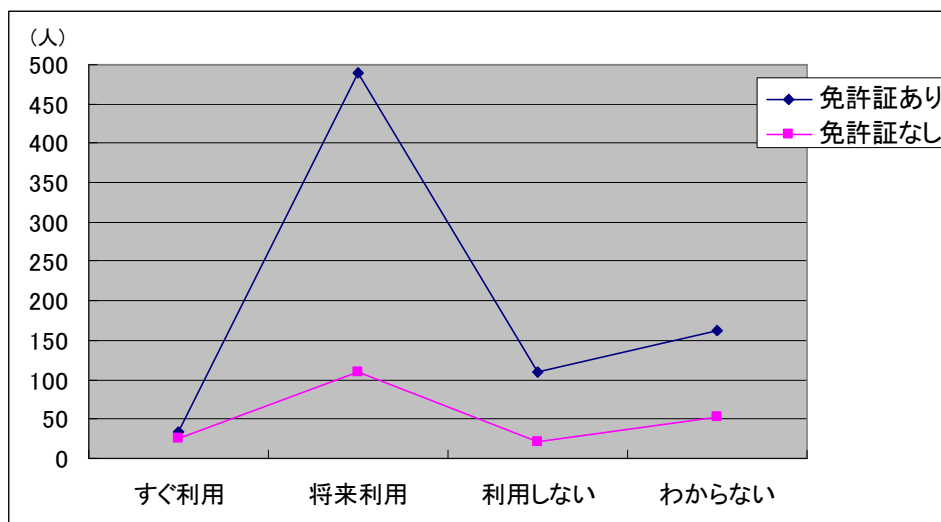
各年齢層ともに、高齢化が進展する近い将来には、身近な公共交通が必要だと感じているといえます。

次に、免許証の有無との関係を見てみます。

免許証を持っている人の回答の方が多いので、グラフにすると次のようになります。

	すぐ利用	将来利用	利用しない	わからない	計
免許証あり	34	490	110	162	796
免許証なし	26	109	22	52	209
計	60	599	132	214	1,005

この集計を偏り調整した場合、免許証のありなしによつての差はないことがわかります。



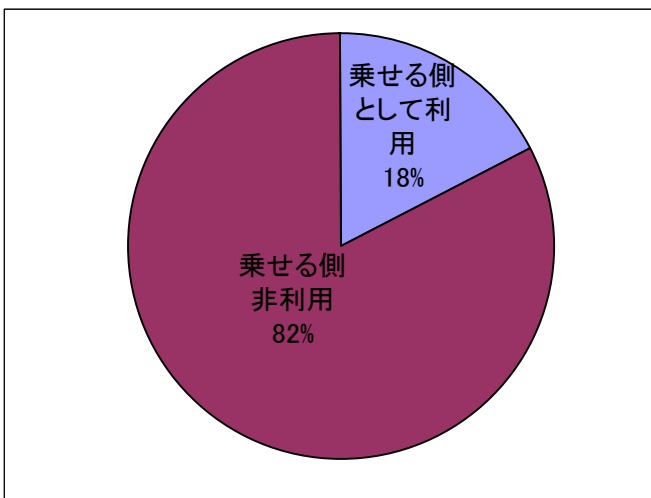
10-3 次のような制度を利用してみたいと思いますか。

病院やスーパーなどに行きたい人と自分の車に乗せてもよい人が登録し、送迎をした人にポイントを交付し地域の商品券などに交換できる制度。

(乗せる側)

乗せる側としては、82%が利用したくない（乗せたくない）と答えています。

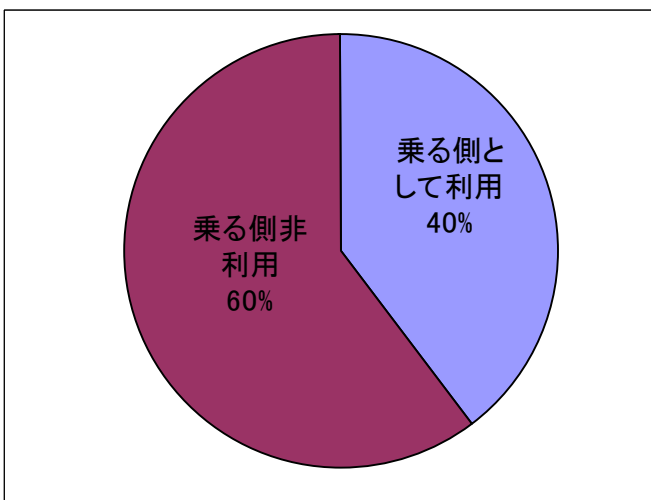
項目	回答数	割合
乗せる側として利用	120	18%
乗せる側非利用	565	82%
計	685	100%



(乗る側)

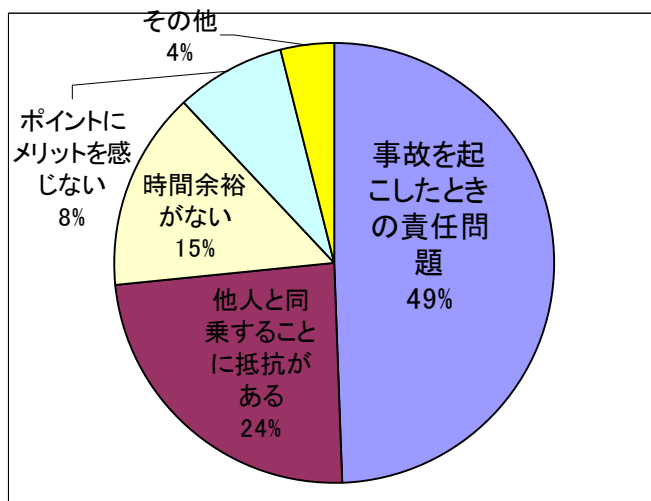
乗る側としては、60%が利用したくない（乗りたくない）と答えていますが、40%が利用したい（乗りたい）と答えています。

項目	回答数	割合
乗る側として利用	159	40%
乗る側非利用	240	60%
計	399	100%



「乗せる側として利用したくない」の理由は、「事故を起こしたときの責任問題」が半数を占めています。

理由	回答数	割合
事故を起こしたときの責任問題	506	49%
他人と同乗することに抵抗がある	244	24%
時間余裕がない	150	15%
ポイントにメリットを感じない	83	8%
その他	40	4%
計	1,023	100%



11 自由意見

<鉄道に関するもの>

名鉄電車は、運賃が少し高い気がするため、利用しにくい。地下鉄くらいだったら。
名鉄電車は、ある時期から車両数を減らしました。(8両→6両、4両→2両) そのため、朝夕の混雑は大変なものです。ぜひとも、改善を申し入れていただきたいと思います。
名鉄石仏駅の東に改札口をつくってほしい。あれば階段を使わなくてもいい。
名鉄や地下鉄のカード割引が殆どなくなってしまった。(マナカは便利だけど沢山乗らないとポイントがたまらない)ので外出する機会が何となく減った。もう少し昼間の時間帯に安く乗れるのを作って欲しい。
名鉄は高すぎる。たかが名古屋まで行くのに300円以上かかるなんて信じられない。
名鉄の運賃が高いです。
名鉄が独占企業だからか、電車の運賃が高すぎる。東京の私鉄や名古屋市営地下鉄と比べると、距離や乗車時間が同じ区間で、1.5～2倍は高く感じる。
名古屋市営地下鉄とし(岩倉)が連携して上小田井から岩倉まで、安い運賃で往復できるようなシステムがあるといいのですが。
北小北側の踏み切りの閉まっている時間が長すぎる。
踏み切りの整備はできないでしょうか？ せめて、わたちの補修など。
電車の利用に便利な為、石仏駅近くに家を購入したのですが、海外出張が多いので、名古屋方面に行く際、重たいスーツケースを持つての階段の上り下りは無理な為、せっかく駅近くなのにもかかわらず、いつも岩倉の駅まで送りをしなければいけないのがとても不満です。 石仏駅をもっと利用しやすくしてほしいです。高齢者にもあの階段はとても大変だと思います。
鉄道の事故時の、振替がない。名鉄しかないの、なんとかしてほしい。(4時間帰れないことがあった。でも、名鉄本線はJRの振替がある。)
鉄道(犬山線)の岐阜行きに比べ、本数が犬山行きは少ないので不便さを感じる。
大山寺駅を、今後も存続させて欲しい。
石仏駅東側に、早く改札を作ってください。朝、不便すぎます。犬山線で改札がない駅なんて他にないです。
石仏駅の事です。 線路を挟み西側、東側とがあります。東側からも乗車出来ればとも思いました。電車が来た時、遮断機をくぐり抜けようとする人、又、フェンスをよじ登る人を時々見ました。
石仏駅について。 無人駅のため、ゴミがよく落ちているので、こまめに清掃に来てほしい。ホームの幅が短いので急行などが通過する時に恐怖を感じる。幅を広くするか、通過速度を低くして欲しい。
石仏駅、東口に出入り口を一日も早く建設して下さい。 大至急(通勤・通学時間帯は大変です。)
上小田井で名鉄電車と地下鉄の接続が悪いと思います。
鉄道の(名鉄電車)高齢者の割引も考えてほしい。
犬山線、名鉄名古屋から犬山、回送電車が多い。平日、特急が少ないのになぜ特急が名古屋、犬山回送なの？ ミュースカイ遅すぎる！一部特別車急行を復活して欲しい。 駅をそのままにして欲しい。名鉄では駅がなくなっているところもあるので。
岩倉駅の踏切で渋滞することが多いので解消していただきたいです。 又同じ場所で徒歩、自転車での移動の時、危険を感じます。

岩倉市から東方面への交通網を整備していただきたく、例えば、春日井市へ行く場合には、公共交通機関で移動する場合、一度、名鉄で金山まで行き、中央線(JR)で高蔵寺等に行く方法しかない。車では、30分程度ですが、電車等を使用すると1時間弱かかります。何とか整備していただきたい。バスでは小牧までしか整備されていない様に思われます。
岩倉駅の中の、改札口からホームまで階段しかないのが不便です。 子供が自転車で行く岩倉駅を利用しています。お金がかからず、もっと整備してある自転車置き場にして欲しい。
岩倉駅の券売機の数を増やすことは不可能でしょうか。名鉄への要望となってしまいますが、数が少ないため、切符を購入したい人が数人いると時間がかかってしまいます。 公共交通機関の使用頻度を高めるならば、定期を所持していない人の利用も増えると思うので、もし、多くの人が公共交通機関を利用するようになったらスムーズに利用できるような対策をお願いしたいです。
岩倉駅と大山寺駅をよく利用します。自転車で行くので止めるのに苦労する時があります。無料の駐輪場があったらいいなと思います。
岩倉駅が便利なのでいいと思う。もう少し発展させてもいいと思う。
名鉄犬山線の高架により事故の防止、町の発展。
まず鉄道についてですが、ホーム(乗り込む際、降りる時)の安全性を考えればもっと幅を広くして欲しい。 またできれば駅の充実。
名鉄石仏駅の東側にも、改札口が欲しい。 名鉄石仏駅からの本数が増えたとよい。
石仏駅の東側に改札口を設置してください。便利になり助かる住民も多いと思います。
岩倉駅構内(改札口近く周辺等)にトイレを設置して欲しい。(遠すぎる。)
岩倉駅のバロー側のエレベーター横 階段上から雨が吹き込んでしまう事が多い。屋根のつけ方を考え直して欲しい。
名鉄犬山線、大山寺駅は今後も絶対必要です！(なくなると言う事を聞いた事があります。) (理由)個人的に人口5万人以上の市にする為には絶対必要です！ 普通以外に準急、急行が止まれば必ずもっと利用者(名鉄大山寺駅)が増えると思います。
石仏駅の東改札口に開設を。 急行を石仏駅も止めてほしい。
鉄道は、岩倉駅から電車の便は大変良く利用しています。反面、一宮、小牧への便は悪い為不便です。現在は名鉄バスか、もしくは電車で一度名古屋方面へ出てという方法しかない為、名鉄とも連絡をとって何とかして欲しい。石仏駅の駅としての便が悪い。特に改札の無い側が不便で、老人の方が歩道橋を渡っているのがかわいそう。一つ改札をつけるか、駅員を増員して設置するかして欲しい。
私は車通勤しておりますので、公共交通機関はほとんどと言っていいほど使用しておりませんが、家族は名鉄石仏駅を利用しており、以前と比べると、名古屋からの帰路の際、岩倉止まりの普通電車が多く、それと、急行で岩倉駅まで来ても、乗継が悪く、片寄った時間に本数が集っていて不便だと聞いております。
駅の構内が汚い。
名鉄電車は、犬山線の特急料金が必要、岐阜本線は不要としています。何か不満を感じます。同じようにして欲しいものです。
名鉄電車、中部空港行きミュースカイの本数がもう少し多いと良い。
名鉄石仏駅のホームは狭すぎる。名鉄と地元自治体と協議して早急に改善しないと死傷者が出る可能性はあると思います。
名鉄を毎日利用してます。 名古屋まで近くて便利だと思います。公共交通に関しての意見ではないですが、名鉄改札口の床のタイルが汚い。 雨が降ると水がたくさんたまる。 あと、名鉄のトイレも汚いですね。暗いし、古い。
名鉄の運行時間を夜もう少し遅くまで行って欲しい。

名鉄しかないので選べない。少ないと思う。
朝(7:50～8:20頃)の名鉄犬山線名古屋方面への通勤ラッシュが苦痛。 以前電車を待つ列にいつも後ろに並び、ぴったりくっついてくる男の人がいたので(車両を替えても)、女性専用車両があると助かると思っていました。
大山寺に住んでいますが、名鉄電車のダイヤの苦言をしたいのですが、岩倉駅に比べて非常に腹を立てています。 岩倉駅は特急、急行、準急、普通と便の数が多いのですが、大山寺の平日8時台に名古屋まで行きたくても、便が少ない。逆に祭日に便が多く少し変だと思います。どうか名鉄の方に8時台のダイヤを、改正前のようにしていただくように交渉していただけないでしょうか。
石仏駅東側に改札口を作って欲しい！ 朝の通学、通勤時目的の電車に乗る為に危険と思いながら無理に踏み切りを渡っている人を多く見かける。 また、ウチのおばあちゃんのように、杖や押し車が必要な人は近くに駅がありながら利用する事が出来ない。
石仏駅にも急行が止まって欲しい。 終点が岩倉駅(岩倉止まり)を止めて欲しい。 岩倉から石仏までが時間がかかることが多いので、とても不便に感じる。
週に2～3回は名鉄を使用していますが、階段の昇り降りが大変なので、石仏駅に東改札口があったらいつも思っています。
石仏駅の改札口を東側にも作って欲しい！ 遮断機でさえぎられ、改札を通り、また歩道橋で名古屋方面へのプラットフォームへ。この時間を考えると、家から石仏のほうが近いのに岩倉駅まで行く事になる。また、石仏駅が暗いので、(人もいない、店も無い、)子供たちの帰宅が遅くなると岩倉駅まで迎えに行く事になっている。柏森駅のようにあそこまできれいにしたいわけではない、たった1つでいいから、改札口を東側に是非つくっていただきたい。
名鉄車両が踏み切り通過の際の警笛が長すぎる(うるさい)。運転手によって差があるので統一してほしい。
岩倉駅北の踏み切りは、歩行者、自転車の立場から見るととても使いにくいと思った。
現在は日常生活の移動はほとんど自動車ですが、時々利用する名鉄電車は他市に比べてとても便利だと思います。
犬山周り岐阜行き本数を増やして欲しい。 各務原駅は犬山乗換えが面倒である。 地下鉄はやや高い。もう少し安く。
石仏駅のバリアフリー化を望む。
公共交通はあまり使う機会が無いのですが、名鉄しかないからなのか料金が他に比べて高いような気がする。
最終便が早い。もう少し遅くまで営業して欲しい。
運賃が上がる割には、本数や運行時間に変更されないのはおかしいと思う。 無人駅や小さい駅でも利用者が必ず居るので、準急、特急も止まるようにして欲しい。 本数も増やしてほしいです。1人100人でも乗る人は同じです。
1時間の本数を多くして欲しい。
岩倉市は特急が止まってくれるので、そこはすごく魅力的だと思います。
岩倉市は名鉄しかない為、他所に比べて料金がやや高いと感じる。 長い間特急料金を払ってきたが、犬山線は名古屋本線と比べ、やや車両が悪い(古い)のではないかな。 JRと比べ名鉄の列車が汚いと感じる。
マナカが利用できる改札が2箇所というのは少なすぎる。
名鉄石仏駅であるが駅東側のホーム(時間的制限があり利用頻度の高い名古屋方面のプラットフォーム)へ行くためには踏み切りを渡り、改札を通り、階段の昇り降りがあるという現状は、高齢者のみならず一般利用者にとっても非常に利便性の悪い事である。このような状況が長年に亘って放置されている現状に対し、不満である。

＜バスに関するもの＞

岩倉駅まで、路線バスを通してほしい。
路線バスのルートの見直しをお願いしたいです。 そうする事によって、送迎渋滞も、緩和されると思います。
母が障害者なので、病院などの送迎バスをもっと気軽に活用できるような配慮をして欲しい。
便利とはいえ、家庭環境、住んでいる場所、体調によっては、公共の交通機関だけでは無理があるのでは。今は、必要は感じないが高齢な方はすでに増えているのだから、市役所や保健センター、駅、図書館など、回るバス等考えては。ただでさえ、公共施設に駐車場が少ないので、自転車だけでは雨の日は不便。バスが回れば高齢者だけでなく子供も一般の人も助かる。
八剱町に住んでいますが、バスの便の少なさに利用出来ることが少ない。 65才を過ぎてパートとして働いていますが時間的に車を使うことの方が便利です。そろそろ車から自転車にと考えておりますので、バスはこれからもっと利用したいと思います。 大きめのスーパーの前で停止することは難しいですが、大日本塗料の前では不便です。 乗っている人は少ないように見受けます。もっと小型にして1回でも利用しやすくなるようにして欲しいです。お願いします。
八剱から小牧方面のバスの運行本数がとても少ないので不便です。
停留所(バス停)に雨よけの屋根等があればうれしいです。
朝のラッシュ時に公共バスが定刻通りに走れるよう交差点の右折ラインを整備して欲しい。(右折ラインが無いためバスが大きく遅れ、時刻の目途がたたない場合がある。)
小牧駅に行くバスの本数を増やしてもらいたい。
朝、パローの前にバスが停車しているが、主人を送って行く時、危ないのでやめてほしい。
小牧市で働いていますが、100円で公共バスに乗れます。病院、市役所等、どうしても行く所は全部停まってくれて、便利にみなさん乗ってますよ。 岩倉にも100円バスが必要です。他の市では、どこでも走ってるようです。岩倉団地のあたりは便利ですが、市内でもっと不便な所もありますよね。 自転車が車道を走るのは、本当にキケンですよ。やめて頂きたい。何回もあぶない思いをしました。それで、自転車と接触したり、ぶつかったりしても、車に責任があるので、車道を走るのはダメだと思う。 岩倉団地の外人さんのマナーの悪さをなんとかして欲しい。
市内から駅に行くバスがほしい。 各方面から駅に行くバスがほしい。
現在、自宅からの移動(外出)は、自転車を使っています。天候の悪いときや、今後、年を重ねた時のことを考えた場合、バス利用は道路事情からみて、我が家の周囲は道幅が狭く、バスの運行は不向きです。最寄りのバス停まで行くには、20分程歩く為、悪天候のとき、高齢者の身には無理に等しい。
岩倉市及び近辺の市は、名鉄バスしか走っていない為、運賃が高くて遠方まで出掛ける事がためらわれてしまう。市バスのような一律の運賃の公共交通機関があればありがたいと思う。
バスにあまり乗らないのでよく分からないが、バス停がもう少し増えるといいと思う。
岩倉駅から西春駅を通り上小田井駅へ通る名鉄バスか名古屋市の市バスを通してほしい。バスが名草線を通れば朝や夜は多くの人が乗るようになると思う。
バス停に自転車を停められるスペースがあればもっとバスを利用する。
バス停に雨や風をさえぎる屋根を設置して欲しい。
民間のバス会社なのでしょうがないが、料金が高い。一宮、小牧にバスを使ってまで行こうとは思わなくなる。

名鉄にはすごく満足していますが、名鉄バスの本数が少ない。特定の時間帯のがちょっと利用しづらいです。 それと、路線が限られているので、乗り継ぎが難しく、どうしても敬遠してしまいます。
岩倉駅から西側の方面へ行きたい時にバスがなにもないのが不便です。 小牧市のバスのように、いろんな方面、施設に行けるようなバスがあるといいと思います。
バス停が汚いからキレイにしたほうがいいと思う。
路線バスについて。 時々の利用ですが、三ツ渚中、小牧市役所前経由の便数が増えると有り難いですね。
路線バスについて。 岩倉駅～小牧駅までの増便を望みます。人口減少で利用者が少なくなった事があり、やむをえないと思いますが。
石仏付近に高速バスの停留所があると便利。
名鉄バスの運賃が高すぎてあまり出かけられない。
私は毎日のようにバスを利用しています。 台風、雪降り等バスが運行しているか？テレビ等のテロップで分かりづらい時がある。
高齢に伴い、医者通いが多くなりました。 岩倉駅から直接一宮市民病院前で下車出来ますことを切にお願いいたします。
尾張一宮発～岩倉行き 最終時間もう少し遅くまであってもいいと思います。 名鉄バスやや高い。
岩倉駅にはずれた家だと、路線バスは使いにくい。
バスの時間が少ない。
2年位前まで仕事に行っていたので、小牧までは本数がありますが、下末だったので1時間に1本位しかなく困りました。今はたまに一宮の方へ行く位ですのであまり利用しません。1ヶ月に1度位です。
江南厚生病院へ時々行きますが、電車とバスの乗り継ぎが非常に悪い為車を利用しています。
稲沢方面へ行くバスがあればいいと思います。
名鉄バス停でバスを待っている時、バスに通過され30分待たされバス通勤をやめたことがある。(一宮東バス停) バスの運転手の教育をしっかりと欲しい。
名鉄バス 団地の所が進まない。

<タクシーに関するもの>

名鉄タクシーなど運賃が高い。 特に関西方面から来た者としては、目が飛び出るほど高い(名鉄)と思う。 交通量を考えると、外出する日を減らす工夫ばかりしています。移動することを考えると、岩倉ではなく、名古屋市の交通の便の良いところに転居しても。(家賃とか、別の項目で高くなると思うが。)名古屋に出ることが多いので。
タクシー乗り場が各駅にあった方がいいと思います。 その理由は、もしアルコールを飲んでしまって、自分の車で運転が出来なくなるからです。

<自転車について>

岩倉駅には、無料の屋根付き駐輪場があるといいのに。屋根付きで、料金を支払う所があっても、台数が少なすぎ契約することが出来ません。皆さん、駅近くで探していると思います。私も一度、契約をしに行ったのですが、かなりの待ちでした。
自転車を使っの外出が多いのですが、駅の駐輪するところが少ない。 シルバーのお手伝いのおじさんが、親切な方もいれば、感じの悪いおじさんがいて、きちんと指示してくれない。

当市は、交通の至便の街であり、岩倉駅近くに住んでいる者としては、徒歩、自転車等で医院、スーパー等に行くことが可能です。市域も10平方キロ程度の小さな街であり、比較的遠隔となる地に居住の者について配慮することができる方法を模索していくのがいいのではないかと思います。
所得が減り、自転車、原付が増えます。駐輪場も多くあると良いですね。 自転車貸し出しなどは如何でしょうか？ 廃棄、処分ばかりで無く、再利用は難しいと思いますが。官民一体で岩倉市を良い街にしましょう。
自転車は、車道を走らないといけませんが、危険すぎて走れません。 歩道も、木の手入れが悪く、頭上が危険です。(枝が顔にあたる)
自転車の傘さし運転や携帯をしながらの運転などよく見かけます。特に自動車を運転しながら携帯を持って回って来た時、目の前を通過してひかれそうになった時がありました。 電話がかかってきたら止まって話してほしいと思います。携帯をしながらの運転はやめてもらいたいと思う。 お年寄りの方が自転車で片手に傘を持って走っていた時に横から来た自転車をよけようと思ったのかよろけて倒れたところを見ました。
自転車について、車を運転していて感じたことですが、巾の広い歩道があるにもかかわらず自転車は車道を走るべきという考え方の人がいるようで、車を運転していてとても腹が立ちます。法律で認められているからではなく、巾の広い歩道がある場合はそちらを通るように出来ないものでしょうか。 又、夜の無灯火も歩く人にはとても危険です。私は自動点灯の自転車しかうらない(作らない)ようにする法律が出来ることを切に願っています。
自転車が車道を走っているのは、本当に危ないです。フラついたりする事がすごく多いような気がします。ですので、車で横を通る時にヒヤッとした事もあります。 歩行者とのトラブルも多いですが、車道を走るという規則を作ると、絶対に自転車と車のトラブルが出ます。 自転車専用帯があれば良いなと思います。
高齢者の自転車利用について。(道路の側を走る。車道の横断の仕方など。) 交通規制の啓発をして欲しい。 自転車を車両とするなら、年齢制限も必要かと。
公共の駐輪場が少ないです。駅前のバロー横の駐輪場は高さの低い所はいいですが、高い所はかなりの力でもち上げてとめなければならず、お年寄りには無理です。結局とめやすいバローにとめることになりスーパーにも非常に迷惑をかけています。
五条川の地下道歩道を自転車に乗ったままベルをならして(どけとばかりに)走ってくるのすごく怖い思いをした事がありますので、看板が良く見えるように大きく目立つように工夫をお願い致します。 年配の人も多いです！！
駅前の駐輪場の確保をしてほしい。
駅周辺の自転車等の駐輪場の確保と利用者が利用しやすい環境作りをして欲しい。駐輪場があっても遠く利用しづらいものは、意味がない。現実的に使ってもらえるもので、安いものと考えて頂きたい。
いつも自転車で移動しています。健康にいいですし、買物、郵便局、銀行、趣味、娯楽にも使っています。家が駅から近いこともあり、名古屋へは、鉄道を使っています。 今は、健康で、元気ですので、特にこれといって不満はありません。
無料自転車置場が駅のすぐ近くに無いのが不便を感じる。
自転車を、より利用しやすい環境の設備を望む。 健康によい。環境によい。
車に乗っている側として、自転車に乗っている老人の方のマナーの悪さ、危なさが目立つ。

自転車は車道だと言われていますが、名草線は2車線で、大型トラックが2台並ぶと自転車を通るのが危ないので、歩道を利用できるようにして欲しい。
自転車を利用する場合、車歩道の区分が出来ない道もあり、危険はいつも同居している。 車歩道の区分があるのは、新しい道路と幹線道路に限られているが、最近カラー塗装によって区分帯が設けられている場所がある。これは安全通行に役立つ施策だと思う。(車を運転する側としても賛成できる。)
中学生の方に話していただきたいのですが、道路いっぱいに並んで自転車で走行します。 運転していて追い越す事が出来ない。知らぬ顔して走っています。一度ご注意下さい。
大山寺駅西側駐輪場において、歩道まではみ出して乱雑に駐輪しているので整理して欲しい。
「人は右、自転車は左。」のルールがないがしろにされている為、中高年含め教育の機会があればよいと思う。
名鉄岩倉駅付近に駐輪場を増やして欲しい。
自転車走行の際の道幅が狭いこと、道の悪さも気になります。 専用道路が欲しい。 車道を走るべきとは思いますが、車への恐怖で歩道を走らざるをえない。また、車を使用している時も危ない。
自転車は歩道を走るなどという法律がおかしい。(これは国に言うべき。) 自転車ユーザーのことを考えてとは思えない道の悪さ。(大山寺付近。) 道がデコボコで痛い。
自転車に乗る人達のマナーの教育&罰則の徹底を。 毎日車を運転してるが自転車のマナーの悪さに辟易する。 ぶつかった時は100%車が悪者。納得しかねる事故も多い。 ちなみに自身はゴールド免許ですが。
自転車で通るのに駅の西側は整備されていて走りやすいが、東側の古い町並みの方、特に(神明大一社、のぼりやさん付近)は道路も歩道も狭く、とても怖い。いつも自転車は降りて歩く。
自転車が車と同じ車道を走るのはよくないと思う。出来れば自転車専用道路があればいいと思う。 自転車に乗ってる人は“いつも車がよけてくれる”という甘い考えでいるのはいけないと事だと思う。 自動車には必ず“死角”がありすべてを見通せる訳ではない事、どのような角度が“死角”となりやすいか勉強してから乗るべきではないだろうか？ ましてや、強い雨の日に傘をさして自転車に乗る事がどれだけ危険な事かわからないまま、軽い気持ちで、しかも自分の方から車にぶつかっという車のせいにする大人。
最近では自転車同士の事故が多発しています。スピード、わき見運転(携帯etc)。 道路一杯に広がっている小学校帰りの子供達や、中学生達、運転している私たちにとって「ヒヤー」としたことが何度かあります。 ルールを守って、信号が青でも「自分の生命」を守って歩いて欲しいと思います。
小さい子供を乗せて自転車で市内を運転するのですが、道路と歩道の路肩(段差?)が少し高いと感じます。 自転車が車道を走るものだといわれていますが、とても危険で走れないので、歩道を走るしかありません。 歩道の路肩の段差で、荷物や子供が浮くくらい段差が高くなっている場所が多いです。 自転車のみならず、お年寄りや子供さんが歩く際、転んでしまったりしないか心配です。 コンクリート等で段差をなくしていただけないでしょうか？

＜道路に関するもの＞

車道、歩道がわからない。
道路がせまいため、皆さん、不便さを感じていると思います。
道幅が狭い事と、一方通行が多い為、目的地へ行くのに不便です。
通学路の安全確保(ガードレールの設置など)
整備に時間とお金がかかりますが、歩道を広く、自転車がすれ違える様にして欲しい。
ベビーカーをおしやすように歩道のガタガタがなくなると助かります。今、小さな子供も増えています。お年寄りにも子供にもバリアフリーな歩道は必要だと思います。
年をとっても自分の足で歩きたいです。
自転車で出掛ける事がありますが、歩道の舗装が悪いし、車道を自転車が走ると車が勢い良く走るの、キケンを感じる。歩道の側溝にふたをして歩道にしているので細くでこぼこで走りにくい。
私は、朝7時に仕事に行きます。ナフコ付近がすごく渋滞します。歩行者、自転車も交通マナーが悪く、中には信号無視をする人もいます。そういったことをするから事故が発生します。午後5時過ぎは、もっと渋滞します。歩行者や自転車は信号まで行かず、自動車の前を通ったりします。事故の発生を防ぐために交通のマナー講習があったらいいと思います。感謝します。
市内道路の整備。
一方通行が多すぎる。
岩倉の道路は舗装が必要です。
このようなアンケートをしてくださったことに感謝します。
自転車で走っていると道路が狭く、人と自転車と車がギリギリの間で走っているので、道路の整備をお願いしたいです。
岩倉～小牧間のバス通り(岩倉団地を横切る東西線)の道巾を広げ、歩道を広く、右折車線を設ける。
渋滞緩和し、通行しやすくして欲しい。
岩倉市内の歩道の舗装は本当にひどいです。
市役所、ユニーの近くはきれいに舗装してありますが、その他はひどく驚きました。
西春に行く事があり、名草線の歩道は西春町になったら、こんなに道が違うのかと思った程です。
朝タ一度、市役所の方、市内を歩いたり、自転車で見てみてください。
自転車をよく利用するので、駅周辺の自転車利用者へ安全な道路にしてほしいです。特に、高桑服装専門学校の前の道路が狭くて自転車や歩く人は車にひかれそうになります。舗道まで車をはみだしてくるので、車は一方通行にしてほしいです。
自転車と登下校のグリーンゾーンに関しては、もう少し充実させて欲しいと思っています。市としてだけで動くことが難しいと思いますが、未来の為に前向きな、お考えと行動を宜しくお願い致します。
街灯を整備・追灯して欲しい。人通りも少なく、暗い道が多い為。
岩倉市内の東西通行の道路完備。
岩倉市南部の五条川にかかる橋の早期実施。
バス通り(岩倉駅北の道)なのに、右折帯がないのは不便だと思うので、是非、整備してほしいです。
市役所前から東に向かう車が危険に感じられる。一方通行にして欲しい。(西行きのみ。)
岩倉駅前から岩倉団地の間(新矢戸橋東の信号まで)の朝の渋滞がひどい。小牧市と連携して信号のタイミングについてどうにかして欲しい。バスの定時運行のためにも重要！
名草線沿いの歩道は本当に危険なので、整備してください。お願いします。
最近、子供だけで自転車で遊びに出掛ける事が多くなったが、家の近くに横断歩道が少なく、危険である。車がたくさん通る道にはもっと信号付きの横断歩道を増やしてほしい。

自転車道で道を走る時、車道も、歩道も狭くて危ないです。 特に、バス通りを駅に向かう道は、朝、たくさん車や人が行きかうのに、狭くて危ない。 自転車で走っていて、人が来るのをよけようとして転んだことが、何度かある。 西側の道路は整備されている所が多いので、早く整備してほしい。
岩倉市は一方通行の標示が多く車での走行が危険である。(他市県)からの乗り入れ時、もう少し看板が見えるようにお願いします。
歩道の自転車と歩道の区別を明確に標示してない。 横断道路の歩行者の行動が遅い。早足で歩行に努める指導が必要である。
八剣町のコメダ珈琲店、ガスト、サークルK付近の八剣交差点は、北⇄南方向に向かう道路の右折信号の時間が短すぎる。朝、夕の小牧方面のバスの定刻運転に支障をきたす可能性もあります。 岩倉駅の東ロータリーから小牧方面に向かうとき、本町交差点から中本町交差点の間の信号のない三叉路は出にくいし、事故の可能性もありうる？
道路がデコボコのところがあって自転車が乗りにくい。
駅東のバス通り(中本から岩倉団地)の歩道は狭いところが多く駅に向かうほど人と自転車が多いので、何とかして欲しいです。 もう一本南の道を利用する方向で市の無料自転車置き場があれば、自転車の流れも変わるかも思ったりします。 先日初めてモゾまで自転車で行ってきたのですが、その道が車道と歩道の段差がなく、歩道の幅が広くとてもやさしく素晴らしいと思いました。 ピアゴ(岩倉店)からサークルKへ向かう道は段差があり、自転車はもちろん、ベビーカー、車椅子にとってつらいです。

＜デマンド交通に関するもの＞

年をとったら、いくら近くても利用できない。
これからますます高齢化社会になっていくと思うので、岩倉市もコミュニティバスの運行を検討した方がよいと思います。バスではなくてもワゴン車や乗り合いタクシー(江南市のような)でもよいと思います。
年を重ねてまいりますと1Kに満たない距離でも歩いていくことが出来なくなります。現在80才と85才の高齢で2人住まいですので、頼るものもなく、お蔭様で駅までの送り迎えはお互いに助け合っておりますが、車に乗れなくなりますのも、そう遠い日の事ではないと思います。病院、買物等も近くにお店もなく、先の事を考えると不安になります。例えば、近所に停留所があり30分に1本でも循環バスが走ってくれば助かります。市内循環一回200円迄位なら有難いと思います。
年があがるにつけ、出歩く事に不便を感じる時がいずれ来ると思っています。公共機関に出掛けるときなどに市内を巡回するバスが有れば良いのにと日々思っています。 実現出来れば、すぐにも、利用する方が有ると思います。
独居老人が通院するのに、毎日は大変です。(膝、腰が悪い)(自転車にも乗れない)手押し車で休み休み朝早く病院へ。岩倉市内巡回バス(小型、乗合タクシー)があると便利だと思う。 岩倉病院以外、市内の小さい医院、接骨院など、料金一律300円は大変よいと思います。(一回500円でもよい。) 30分毎の乗合タクシー。(ボランティアの方。)(交代制有。) 一宮市、千秋病院、通院の方(例、ねこの手)助け合い(チケット1回500円)予約制らしい。 岩倉も参考にしてください。岩倉市役所、ふれあいセンター等でチケットが買えるといい。
高齢者向きに、市内を走るバスを作ると(¥100)便利になり、利用客も増え、出歩くのが楽しくなるかと思います。交通事故も減るのでは。
電車、バスの路線が近くにない地区の交通手段。 年配者が外出しやすい公共交通の制度、利用方法。

町医者に通ってますが交通に困ってます。市のバスを走らせて欲しい。
問10-2について。 年齢的に自動車、自転車に乗るのを中止したいから、美濃加茂市のような取り組みには賛成です。
他地域の様にミニ路線バスの運用。 老人にやさしい町づくり。
清須市には、あしがるバスとかいうバスがあったように思う。100円か200円で利用できて、便利だと思う。大口町だったか、北名古屋市だったかにも、そういったバスがあったように思う。 また、病院などによく行く人には、タクシーの券がもらえる市があると聞いたことがある。 高齢者とか、身体の不自由な方にはありがたいのではないのでしょうか？(岩倉市もあるかもしれませんが…。)
是非に、巡回バスの運行をお願いします。
循環バスの運行があると便利だと思います。 名鉄バスは、以前は大変な混みようでしたが、小牧～上飯田～地下鉄平安通りが運行する様になり、今ではめっきり乗客が減っていると思います。(バスは赤字だと) 特に三ツ淵方面～小牧駅は赤字路線だと思います。たとえば、岩倉駅～藤島～大山寺～石仏～と小さな町なので時間もあまりかからなくて、とても良いと思います。
周辺の地域(北名古屋市、江南市、小牧市(?)など、小型バスが運行されている。病院、駅、スーパー等に行く小型バス運行ができると、望ましい。
収入に応じて金額を定めて一年間の定期券を作ることを望みます。
自助、共助、公助という社会福祉の在り方を国が主導しているが、憲法に照らしても、公助を充実させることこそが、今、求められていると思う。誰もがどこへも安心して出掛けられる環境作りを市として、バリアフリーの観点も忘れずに進めていって欲しい。
自らが運転でき、自家用車もある為、外出に困難を感じることはないが、高齢になった場合、自家用車の運転が危険な世代になった場合、ドア トゥ ドアの タクシーチケット配布がありがたいのではと考えていました。 路線バスの増設などで、税金が上がるのは困ります。 消費税の増税が決まるならば、市民税が下がってくれたら、ありがたいのにと考えていた矢先に届いたアンケートでした。
市役所～ピアゴ～駅～etc等の多くの方が利用する経路のミニバスを走らせたらいのではないのでしょうか？ また、車椅子の方も見かけるので、買い物等で利用出来るタクシーサービス(安く利用出来る)を考えてはどうでしょうか？
体育館や保健センター、市役所等を利用する時に高齢者や小さい子供がいても自分で車を運転できない人が利用できるものがあるとよいと思います。 小さい子供が2人いるので車ででかけることが多いですが、自転車には2人同時に乗せられませんし、雨の日に傘をさして歩くのも近くでなければ無理です。 市民体育祭など駐車場のないところへは巡回バスなどがあるといいですね。昨年、子供が出場したときは、1人を自転車に乗せて私が連れていきましたが、他の2人の子供はその間、留守番させました。
市内巡回バスがあると良い。体育館など足がないと遠いです。
市内の循環バスはあってもいいと思う。
市公共施設、病院(小牧市民病院)、岩倉病院、岩倉駅などを巡回するバスの必要を感じます。
小さな市であり、公共施設や店舗、医療機関も中心部に集まっているので、何らかの方策があっても良いと思う。(周辺部から中心部に向かってのバス等。) ただし、小さい市であるため、経営面から、どうかも思う。
市の財政に負担がないような公共交通があればやってほしい。

現市長の緊縮財政を応援しています。
今住んでる所は、駅まで徒歩10分程度なので、あまりバスやタクシーなどの不便を感じてはいませんが、将来年老いた時には、市バスのような一律料金で市内を回る公共交通を作って欲しいです。
今は自分で運転して市内のスーパーや病院、公共施設などへ行けますが、高齢になった時(あと数年)外出ができなくなりそうです。コミュニティバスなどの利用ができればよいと思います。是非行政も考えて欲しいものです。
今は、体が悪い所が無い。高齢者になるので、料金が300円であれ、運行はして欲しいです。二人暮らしでもう何もかも誰かに頼る時代が来るとは思っています。
今は、自転車、車にも乗れるのでいいが、高齢になって病院に行く時等、タクシーを利用しなければいけない時、病院の車の送迎があるといい。又、スーパー等も送迎サービスがあるといい。
今、住んでいる所は、買物や病院とも近くて便利な所に住んでいますが、岩倉はバスも来ない不便な所も多くあり、老人で頼れる人もないと、どこに行くにも大変だろうと思う事があります。老人社会の為、生活向上と安心して生活できる市をお願い致します。
高齢者の為、小牧市、江南市、一宮市のように岩倉市も(どこへ行っても100円)市民バスを走らせて欲しい。
高齢者、車の運転ができない人の移動として、費用が1回100円くらいとして行政(岩倉市)が走らせるなどの施策をして欲しい。
高齢者のために、市で病院、スーパー、公共施設に行くためのバスを走らせると良いと思います。
公共交通に関してではありませんが、私は歩けないため床屋に行きたい時がありますが、手足がかなわず出来ません。病院にも行くことが出来ませんでしたが、施設の送迎で通院だけは出来るようになりました。 病院の送迎で大変助けてもらっていてありがたいです。でも、床屋に行くことが出来ずに困っています。 そういったサービスを岩倉市で出来たらありがたいと思います。安い料金で出来たらありがたいと思います。
交通施策の件について。 江南が実施しているバス(乗り合い)が、あります。料金200円で運行していましたが、便利だと思いました。
現在はほとんど利用する事は有りませんが、今後、高齢者と呼ばれる様になった時or自分で運転できなくなった時は、利用数が増えてくると思います。 そうになったら今のままでは悲しい！何とか市民の足として自宅前までとは言わないが、近くで乗降出来る事が望ましいと考えます。
岩倉市も早く美濃加茂市のような公共交通(乗り合いバス)が実現しますことを希望します。よろしくお願いいたします。
岩倉市は便利と言われるけど、我が町は不便！！ まさしく車がなければどこへも行けないと感じています。車の運転は得意ではありませんが、やむをえずハンドルを握っている状態です。年を重ねて将来を思うと、とても不安です。この先いつまでも車の運転なんて。万一の事を考えると怖いです。 身近な所に公共交通機関があって利用しやすいと良いと思います。 市内のどの地域の人も便利な所と言えるような公共交通機関を導入してほしいです。
岩倉市は小さな都市で、岩倉駅、石仏、大山寺駅の近くの方はいいが、高齢となり、病院へ通院する際には、公共の乗り物では、遠くにある病院へは、ほとんど一日がかり。巡回バス、タクシー、又は、病院行きとかあるといいのだが、今は、全く機能していない。 名古屋に行くのは便利だがコストがかかる。小牧病院への名鉄バスもほとんど時間帯に無理があったり、厚生病院、江南市へもかなりの不便さを感じる。千秋病院へのバスも岩倉では巡回していない。
岩倉市は市域が狭いので、行政が走らせる巡回バスは必要がないと思う。空バスになる可能性があると思う。 行政が行う場合は予約して相乗りするタクシーでよいと思う。
岩倉市は狭いので、巡回バスなどの必要は感じませんが、高齢者、特にひとり暮らしの受診などは困っている人がいると思うので、何らかの対策をとる事は必要と思います。
岩倉市には、総合病院がなく、厚生病院には遠く、鉄道の便も悪く、今後、年老いたときに送迎バスなどがあれば良いかなと思う。
岩倉市としてバスを走らせる施策を実行して欲しい。

岩倉駅を利用して、名古屋に行く事がたまにあります。しかし、駅まで行こうと思うと、交通機関で使えるのはタクシーだけです。そう考えると、岩倉は、市内であっちからこっちへ行こうと思っても、とても不便です。 他の市の様に、循環するバスが、手頃な値段であるといいなと思います。 利用する頻度も関係していると思いますが、大きな病院、公共施設、スーパー、駅、etcを通る事はもちろん、住宅がある居住地域も通る形であれば、車の免許を持ってない人、小さな子供を連れている人、学生、お年寄り等、利用したいと思う人は多いと思います。
岩倉駅まで行けるバスがないのが不便。 電車を利用したくても子供を連れている場合や雨天の場合、とても不便で結局車になってしまう。
岩倉駅から各所への交通については、今のところ特に不便は感じていないが、自宅から駅や岩倉市内の各主要機関、施設(役所、病院、スーパー等)への移動については、車や自転車がなければ非常に不便だと思う。 市内を移動する際に安い金額で利用できるバスなどがあると外出の際に便利だと思う。
岩倉は、市の面積が小さいため、市役所、スーパー、駅など、とても近く便利でありがたいです。 しかし、高齢者の中にはコミュニティバスなど必要な方はいらっしゃると思います。検討することは大切だと思っています。
岩倉の行政として巡回バスなどの交通施策を講じることは今後の高齢化社会の対策として必要かとは思いますが、施策の見積もりを見誤って、利用頻度の少ない交通機関を立ち上げることは、昨今の厳しい経済状況の中、絶対に避けていただきたいと思っています。 市民の意見と市の考えを十分に議論し、最良の回答を得てからの施策としていただければ幸いです。
岩倉のような面積の狭い市は、公共交通を考えるよりも高齢になっても歩きやすい歩道を整備してほしいです。 歩くことで、車に頼らず、いつまでも健康でいられる身体を作っていきたいです。
今のところ自家用車を使用しているが、今後年をとるにつれ、車を運転出来なくなった時の事を考えると、歩いてすぐにバスに乗れるようになると、利用度も高くなると思う。
我が家は、夫婦二人の高齢者世帯です。現在は、通院や日常生活の買物等、外出に不便も苦労も感じていませんが、やがては、自家用車にも、自転車にも乗れないときが、来るでしょう。 そんな時に、自宅近辺を通る市当局なり民間の交通機関があれば、大いに利用したいと考えます。近所の車も自転車も乗れない高齢者は今でも不便を感じているようです。 大いに研究し、私(我が家)の身体が不自由になり外出が不便になる前に、市内交通が便利になる体制を整えていただきたいと思っています。よろしくお願いします。
一年前に骨折入院し、自転車も乗れなく杖、補歩器のみの歩きとなり、初めてさまざまな不便ともどかしさを感じています。 ぜひ、体の不自由な人や老人などを各自別の場所まで送迎できる計画を取り組んで欲しいと思います。
一宮市の運営と存じますが「千秋ふれあいバス」が①一宮駅行き、②千秋病院行きと、その復路を時々利用します。 時刻も正確で料金も一律200円と低いです。 ①②とも1日7便運行されています。一宮市の行政サービスの充実に驚くばかりです。 但しこの制度を利用できるのは、八劔、井上、石仏町くらいでしょう。何かヒントがある様に思いますが・・・
よい施設が作られて楽しい企画もされているのに、1人暮らしの人は利用することがなかなか無理なようです。 石仏駅までは歩いて、買物には行く事が出来るけど、さくらの家までは歩くことが出来ない。 近くの病院までは歩けるがさくらの家までは無理。自転車は乗れない。本人が危ないと思っている。 もし、巡回バスがあれば、月1回でも大きな風呂、介護体操などにも参加出来るのではと思っています。もう少し皆で利用できる方法を考えて下さい。
市内にバス停はあるが限られているので交通至便とは言えないと思います。高齢化に向けてきめ細かいサービスを希望します。
これからは高齢者が多くなり、又、1人で生活される方が増えると思う。 ぜひ、この機会に65才以上を対象として、アンケート、市民の声を聞きとり、岩倉市に巡回バスが運営出来ることを願います。

これからは高齢化社会になっていく、自分の身のまわり、あるいは自分自身のことを考える時。 身体の不自由な老夫婦の家庭が恐ろしい数で増加すると考えられる。そうなれば、老夫婦のみの家庭は、日常生活そのものが危うく思われる。 買い物、通院、公共施設への足の確保が困難になる。岩倉市は交通の便がよいと昔から言われてきたが、それは公共交通だけの話であり、老人家庭が日常生活をするためのきめ細かな足、例えば、市内主要箇所の巡回バス、又、NPOイキイキライフが行っている送迎サービスをもっと増やして欲しいと思います。
2時間に1回でも良いので、循環バスがあると嬉しいです。 朝 8時30分～ 午後1時～ 午後2時～
問10-2であげていた交通施策ですが、行くときはいいのですが、帰り(例えば、駅→自宅、病院→自宅)は、どうなるのですか。
当市は約11km²の市域に3つの鉄道駅を有し、周辺自治体と比較して交通の至便性は高いと考える。しかし、将来的な高齢化の進展に伴う交通施策については、行政のバックアップは必要であると考え。当市の鉄道駅は当市民以外(一宮市千秋地区、小牧市藤島地区、三ツ瀨地区、江南市曾本地区など)にも広く利用されているので、鉄道駅と市域郊外とを連絡するコミュニティバスなどの運行については、市単独の事業でなく周辺自治体との協同とするのがコスト面において有利ではないか？ コミュニティバスの運行を企画し、それを維持していくと考える。
行政として、バスを走らせる、という案は財源から見て疑問。タクシー活用やその他の案を検討しすすめるべきと思う。
市の面積が少ない故、コミュニティバスの必要はあまり感じない。(東町は比較的どこへでも行きやすいからではあるが。) 野寄、北島、八剣など中心部から離れた場所の住民の意見をよく聴いてみる必要があると思う。 バスは、小牧市民病院へは一時間に2本！ 小牧市役所経由は一時間に1本！(いくらなんでも少ないわ…といつも思う。) 理由あって、マイカーを手離したので、小牧方面は、バス頼み。 市中をぐるぐる回るバスより、小牧行きの交通手段を何とか考えて欲しい。 岩倉には、総合病院もない事だし、今後も建設は望めない。
岩倉市も、北名古屋市や小牧市のような市内の無料バスがあると利用したいと思います。子供やお年寄りの方には必要だと思います。
今後、交通弱者は増えると思います。 バンクらしいの小さいバスをたくさん走らせてもよいかもしれません。 料金が高いのは、辛いです。 路線バスやタクシーを走らせるのもよいのですが、高齢者や子連れ、障害者の人の乗降を手伝う人(介助人)など、ソフト面の人材も欲しいところ。運転手との二人組がベストかな。
公共施設、病院、大型スーパー等を回る循環バス(マイクロバスのようなもの)がほしい。
岩倉も、コミュニティバスを運行して欲しい。 路線バスを五条川小学校～スーパーヤマト間の道路間に走らせて欲しい。(コミュニティバスでもよい。) 早朝、深夜にも運行させて欲しい。鉄道の始発、終電に合わせてもらえるとありがたい。
住んでいる所は非常に不便であり、仕方なく自動車を使用していますが、高齢化の事を考えると不安です。 北名古屋市のように有料で循環バスを定刻に走らせたらいいのでは。希望です。 生涯学習センターへ車(自家用車)では行けないので、駅前になってから通うことが出来ず、残念です。
美濃加茂市のように岩倉市も実証実験してほしい。
自分で運転が出来るから公共交通は必要ない。 岩倉市は病院、市役所、郵便局、銀行、買い物(スーパー)が近くあり不便なことはないので、公共交通はほとんど必要ない。
今の行政は過剰サービスで、何処までやっても市民には当たり前になり、特定の便宜サービスを受ける人は相応の負担をするべきだ
高齢化社会に向け、公共交通機関では移動出来ない市内を巡回するバスなどを走らせて欲しい。

岩倉市での市営公共交通は、下記理由から不要と思う。 (1)平地で面積が狭く、人口も少ない。 (2)公共施設間の距離が比較的短い。 (3)公共交通は移動に際し、自由度が小さい。 (4)公共交通の運営には経費がかかり、費用対効果に疑問。
現状では、岩倉駅を中心とした道路では駅東側の地域は道路幅が狭く、公共交通機関を導入しての施策は無理があるように思える。
近隣の市町村には巡回バスというのがありますが、現在私は車に乗れますが、将来乗れなくなった時には近くの総合病院(何箇所か)へのその様なルートがあればと思っています。
岩倉市総合体育文化センターを含む市内のポイントを幾つか巡る市バスがあったら嬉しい。 毎年夏、センターで盆踊りを行っているが、中途半端に自宅から遠くて乗る気がせず、未だに訪れたことがない。 料金は名古屋バスと同程度までなら許容範囲。
岩倉市は面積が狭いので、行政がバスを走らせるコミュニティバスといったことは、ほとんど利用されないと思われる。
岩倉市は名鉄電車や名鉄バスがありますが、かんじんな市内の病院や公共施設には利用できません。 いま自転車に乗れますが、いつか乗れなくなります。 是非コミュニティバスを考えてください。
今日の国家財政状況から、利用頻度の低い市営バスは必要ない。ただし他市と比較して不公平感が残るので、その費用負担で割引バス、電車券を発行する。
公共交通は今のままでもさほど問題ないようにおもいます。 必要な人は駅近くやバス停近くに住むだろうから、市全てを網羅するバスを！など考えずとも良い気がします。
岩倉市のような小さな行政区域で、公共交通の運用に乗り出す事は、経済的に大きな負担増となるため無理。
今後の交通施策について。 この課題は行政として真剣に取り組んでいただきたいと思います。 将来年齢が進むにつれて、車の運転も無理になると思うし、外出するにも軽い負担ですむようにして欲しい。
老人や子供が気軽に利用できる巡回バスのようなものが有ると良いと思う。
老人としては、雨など降ったときなどバスがあると外出するとき便利だと思う。
木曽福島でコミュニティバスが走っています。 どこで手を上げてでも止まって乗れます。 バス停から家まではタクシー等使っているようです。 こじんまりしたバスが走るといいなと思います。
北名古屋市、小牧市のように100円の市内巡回バスを走らせると良い。 ルートは、公共施設、スーパー等を含み、外回り、内回りを設定すると老人の利用が増えると思う。
美濃加茂市のように、路線バスとタクシーの中間的な乗り物で、料金も一律300円くらいにすると無理なく利用できると思う。
年齢と共に遠くに行く事が出来なくなり、病院、スーパー、市役所などに足となる乗り物があれば。介護タクシー、地域バスのような小回りのきく交通システムの運用を望む。 又、他市の地域バスとの連携も取り入れたら、大きな病院に行きやすくなるので良いかとおもいます。
年をとって体が弱ってくると、買い物や病院に行くのはつらいと思う。 そういう事をサポートしてもらえるといいと思う。
小牧、春日井、北名古屋など近隣の市町村で市内の循環バスが走っているのに岩倉にはない。 マイクロ又は6～7人乗りの車でも良いから走らせるべきである。

特に岩倉にある唯一（今はゲオ流通もあるが）の企業石塚硝子へは、岩倉駅から徒歩で何分と言うのでは話にならないし、企業誘致など至難の業であろう。
将来車の運転が出来なくなった時、P5の10-3のように利用できたらと思います。
岩倉市内専用のバスがあると便利だと思う。 金額は100円くらいで行き先はスーパー、岩倉駅など高齢者、妊婦、子育て中のママには利用しやすい。
私自身は運転も出来、自動車に乗る事が出来ませんが、その様な移動手段が取れない方やお年寄りには、市内から駅への移動も大変だと思います。 私も今後年を取り、自動車、自転車を運転できなくなれば、小さなバス（名古屋市バスのような）運行があれば外出をあきらめず生活していく事が出来ると思います。タクシーは毎回使うにはお金の負担が大変です。 正直なところ、岩倉の魅力って何があるかわかりません。 電車に乗れば名駅まで15分ほどなのに、岩倉市に住んでいるメリットがあまり無いような。
私は今まで外出するのに困難を感じたことはありませんが、高齢者の方や障害を持った方などが気軽に外出できるように、行政でもバスや無料タクシーのようなものを整備出来たらいいのかなと思います。 特に夏は熱中症になってしまう方もいると思うので、夏や冬などの暑さや寒さの厳しい季節には必要だと思います。
市役所や駅方面へのコミュニティバスのようなものが、市内を巡回するようになるといい。
子供たちが自分たちで移動しやすくなることを考えると、行政のバスがあることが望ましいです。 高齢者や障害者など、人に頼らなくても外出する機会が増え、自立に大きな力となると思います。 行政のバスを考えてください。
今現在は、自分で車を運転し自由に外出する事が出来ませんが、将来、車の運転が不可能になった時のことを考える時色々な不安があります。 コミュニティバスや運転ボランティア等色々なアイデアがあると思いますので、行政側には知恵を出していただき、年齢を重ねても安心して生活できる町であって欲しいと思います。元気で生活できる間は人の役に立つことを少しでも出来たらいいな…と思っています。
高齢者の自転車通行にはヒヤリとすることが多くあります。 元気な高齢者も増え、習い事等で自転車を利用される方も多いますが、出来れば市内を運行するバスを市の方で出してもらいたいと思います。 元気に行動する80代の家族を持っているものとして強く望みます。
高齢化対策は絶対に必要と考えます。 （乗り合いバス、10-3のような乗り合い制度他）
公共サービスとして、公共交通を供するのであれば、永続できるように財政的に無理のないようにしていただきたい。 老人の無料バスなどはないほうがよい。
路線バスは今ほとんど利用してませんが、将来高齢になって家族も身近にいない場合には必要になると思います。 高齢者に優しい便利な岩倉市になる事を希望します。
現在は自転車ですべて用は足せておりますが近い将来自転車が怖くなったとき、美濃加茂市のような公共交通の方式を取り入れて頂きたいと思います。 昨年、郡上八幡を訪れた時、駅前にバス停があり、市役所、病院、スーパー、銀行、郵便局等ぐるぐる運行して目的地に着く、運賃はどこで降りても100円でした。急ぐ時は不便かもしれませんが、私はとても良いなと思いました。バスは小型でした。
岩倉市内を走るバスがあると便利。 歩くとちょっとある場所、でもタクシーを使うまでも…こんなときが良くあると周りの老人の方から話を伺いました。 是非岩倉市内を走る路線バスを走らせて欲しい。

岩倉市内を回るバスが欲しい。
岩倉市内の要所を廻るバスをエンドレスで動かし、高齢（65歳以上）100円でべんりに使いやすい巡回バスを、9:00～18:00の間で廻す。 ある程度の道は決定して、途中であれば手を上げたポストでどこでも止まってくれるスタイル。
岩倉市は電車、バス、タクシーが名古屋鉄道ですので、協力を得てコミュニティバスの運行を希望します。
岩倉市は小さな町なのであまり不便をしていません。 でも北島とか野寄は電車にも不便なのであったほうがいいと思います。 岐阜県美濃加茂市の様にやられたらどうでしょうか？ 無人で走っている車もバスもよく見かけますが、もったいないですね。
岩倉市は市域が狭いが、公共交通に片寄りがあり、将来車に乗れなくなったとき、高齢者は高いタクシーを利用する事になる。 市内を巡る小型のバス（マイクロバス）が頻繁に行き来していると足代わりになる。岩倉駅を基点にして蜂の巣状にルートがあれば、そこで乗りかえて他の行きたい所へも行けると思う。
岩倉市の最北端まで路線バスとタクシーの中間的なようなものを走らせて頂きたいと思います。
岩倉市の外環と内環（ルートはわかりませんが）をまわるバスがあるといい。
岩倉は、名古屋、小牧、一宮など他市への交通の便に比べ市内の交通の便がきわめて悪く、体の不自由な方や、老人に必要な日常の買い物、通院、保健センターや市役所などへの足がほとんどないのが課題だと思います。 コミュニティバスや乗り合いタクシー他、岩倉の土地にあった交通のあり方を見つけ出して欲しいと思います。
我が家には自家用車はありません。 天気の悪い日遠くまで出かけなければならない時、例えば乳がん健診で岩倉病院まで行かなければならない時、タクシーに代わるもう少し手軽に利用できるものがあればいいと思います。タクシーだと岩倉病院まで往復で $1590 \times 2 = ¥3180$ もかかるんです。
駅までの交通手段がない。 駅まで車で行くなら、現地まで直接行く。
一般的な「ふれあいバス」一律100円程度のバスを行えばいいと思う。
一宮市、北名古屋市のようにコミュニティバスが必要。
これからますます高齢化社会になります。 いつまで車の運転が出来るかもわかりません。 病院等、通院の手段として安価な巡回バスとか、タクシーの割引チケット等あったら将来いいと思います。
問10-2のような公共交通制度があればよいと思う。
できれば公共バスが出るとありがたい。 岩倉駅前の子供が曾野小学校と聞きましたが、距離がかなりあり、低学年の子にはきつように思います。 低学年用のマイクロバスでも利用できるよう配慮しても良いと思います。が…。
「美濃加茂方式」をさらに検討して、300円を200円位にするとより利用しやすくなると思います。
団地から井上耳鼻科や岩倉病院には、車、自転車、タクシーで行かないといけないなと思っています。 ふだんは、自転車で病院まで行くのですが、病気のときに自転車はとてつらいです。 老人になって、自転車にも乗れなくなった場合、もっともっと大変だなと思っています。 行政のバスもあっていいと思います。 小牧市と一緒に巡回バスを走らせて欲しいです。 老後、年金暮らしをしながらタクシーを利用するのも経済的に大変だなと思っています。
まずは民間（名鉄）との協議を優先して行い、安易な行政の参入は避けるべきだと思う。安易な行政の参入はかえって公益性を損ない税収の無駄遣いとなりかねない。

＜新制度に関するもの＞

問10-4について。 保障問題がきちんとしていれば、乗せる側として利用しても良いですが… 人を乗せるという事は責任を持って乗せないとお互いに安心できないと思います。
問10-3について。 どちらともいえない。
自分の車で送迎する制度に関しては、コミュニティ不足といわれる中でとても有効だと思う。
危ない人ではないか少し心配。ある程度特定の人物ならよいのでは。
問10-3について。 公共を前提とする。 事故の際の事も考慮。 スーパー、大型店、病院、公共施設に協力してもらう。 住民の出入りの多い岩倉市では都市型に考える方が合理的。
見知らない人同士を乗り合いにするのは危険だと思う。事件につながることも考えた方がいい。 そういうことを考えてしまうので、私個人的には、制度ができたとしても利用はしないと思う。
問10-3、車の同乗は財政面から見ても良い案だと思う。ただ、事故時の責任、他ルール作りが重要。

＜その他の意見＞

北島町方面の交通は不便。
北島町は、路線バスがないため、お年寄りの外出や子供の通学に不便である。
北島町には公共交通がない。ぜひ、バス停を作ってください。
実家が北島町にあり、出かける際は必ず自動車を利用していました。北島町に限らず近くの野寄町・川井町には沢山のお年寄りの方がいらっしゃいます。野寄・川井町はわかりませんが、北島町には、路線バスが通っていません。出かけたくても出かけられないお年寄りが沢山いると思います。買い物も、北島町に1軒あるコンビニを利用している姿をよく見かけていました。 北島町にもバスが停まれば近くの伝法寺のスーパーへも行けるとと思います。バス路線を北島町まで広げていただくよう前向きに検討していただきたいです。
民間でも公共でも良いので、カーシェアリングの制度があると良いと思う。
年金生活を送っている者として、電車、バス、タクシーの料金は高いと思う。
そもそも公共交通は運賃が高いため、仕方なく車を持たざるをえない。
独居する高齢者、障害者に対する施策が急務。 現在要介護認定者に対する外出支援。病院への送迎運転をNPO法人イキイキライフの会が一部対応しているが、充分とは云えず、官民一体となり交通弱者救済が必要。
訳の分からない質問もあったので、どうやって答えればいいのか戸惑った。その質問は、私たちの生活にどのように役に立つかわからなかったけど、アンケートしてくれて私たちの意見を聞いてくれることに感謝します。
雨の日などの外出の移動手段が大変である。天候のよくない日などの岩倉駅ロータリー付近は送迎の車の数がとても多く、渋滞してしまい、何とかして頂きたいです。
岩倉市は、市の面積として大変小さい市なので、公共交通は超短距離な物に対応すればよいのでは。(旅客用自転車とか。)エコな町のイメージにもつながる。
中央町に住んでいると、お買い物、市役所、駅も近い。病院も(岩倉病院)などもあるので、元気で歩くことのできるうちは、あまり不便を感じ

じないと思います。年齢が年齢なので、長生きして歩けないなどとなったら、公共交通のようなものがあったら便利かなと思いますが、出来る限り歩きたいです。
地域活動をさせて頂いていますが、岩倉市の場合は道路巾がどこも狭い所ばかりで、自転車も多いし、私みたいな老人が多いので、自分自身も気を付けて、運転してられる皆様も気を付けられて頂きたいと思います。 でも、岩倉は地方に出掛ける時も交通が良いので助かっています。
自分は、まだ50代で不便を感じないし、駅にも遠くないので実感としてわからない。 岩倉も広いので、年配の方や駅に遠い方がどう希望してみえるか、全くわからないので、何らかの形で、そういう方の声も聞いてみたい。
市外への交通の便は、非常によいと思われるが、市内に関しては、自分が高齢者だったら、と考えると悪いように感じられる。
公共交通に関しては恵まれた地域で、特に不便を感じたことがない。
現在の公共交通で満足。岩倉市は便利な所。
県営名古屋空港への直接アクセスがほしい。以前はあった様に思う。
岐阜県のような、範囲が広い町ではないので、小さな岩倉市の高齢化を考えた、よりよい交通網の整備を願います。
岩倉市はどこへ行くにも公共交通の便が良く住みやすい市だと思っております。
岩倉は鉄道やバスなど充実していて、とても便利なよい街だと思います。 電車の特急も止まるし、空港などへも早く行けるようになったし、ありがたいと思います。今後も、運賃や運行時刻など、更に利用者へ充実したものになるとよいと思います。
岩倉はとても便利だと思います。防犯の関係上、一方通行や道幅が狭いなど、窮屈な一面もありますが、生活安全上にはとてもありがたい事だと思っています。
岩倉は、名古屋方面や犬山方面へ行く場合は電車がありとても便利ですが、一宮や小牧方面は名鉄バスしかなく、料金も名古屋の市バスに比べ高く感じます。又、仕方ないかもしれませんが、朝は一宮駅方面にバスで通う場合、マイカーでいく場合にかかる時間の1.5～2倍かかります。料金や時間を考えると一宮や小牧方面は交通が便利とはあまり感じられません。電車を利用するのも効率が非常に悪いです。 名古屋方面だけでなく、小牧や一宮方面にも就職先や通学先として視野に入れたいところがあっても、交通の利便性を考えると躊躇してしまいます。
岩倉に住んでみて、買い物、病院等、近くて、とても便利なので高齢になってもそれほど不便ではないと思う。(不便な町も多いので) 小さい市で、駅まで徒歩で行けるし、バスも多く、タクシーもすぐに手配できるので、このまま公共交通が減らないで欲しいとは思う。
岩倉としての“うり”は名古屋まで、13分で行ける事です。娘の名古屋市内に住んでいる友達も、名古屋市内より便利だと驚いていたそうです。名古屋に行くのに便利だということは、遠くの学校にも通えるということです。 選択肢が増えるということはとてもいい事です。 是非、教育に力を入れ、通勤、通学に便利だということをアピールして若い人たちがたくさん住む市にしていきたいと思います。
バスや鉄道はほとんど利用しませんが、学校等の用事で出掛ける時に利用するくらいです。 運転手さんや車掌さんの中には、態度の良くない方も見えどうなのか？と思う所もあります。 お客様相手の仕事なので大変なことも沢山あると思いますが、もう少し親しみやすく声が掛けやすいような状況であって欲しいと願います。 たまに乗って嫌な思いはしたくありませんので！！
こんな、アンケートに経費を使わなくても、もっと、自治会や民生委員さんとかから情報をもらうよう動いた方がよいと思う。
これからの時代の流れとして、行政と一般住民と双方の働きが必要となってきます。 岩倉市の人口5万人程の10%～15%程度の住民の力を有償ボランティアとして動いてもらいたいと考えます。ボランティア保険をつけて、有意義に自分の時間の何%かを役立てて生活したい方々の為にも、よいシステムが生まれることを願います。 民間のうもれている力をかりて行政も、もっとスムーズに負担を少なくして。

岩倉市役所を起点とする主な公共施設・史跡への巡回ルートバスの定期運行。 主な公共施設・史跡での駐車場のスペース増設。 よろしくお願いいたします。
子育てタクシーというのがありますが、岩倉では導入する事業者はありますか？
各施設、駐輪場の設備をするべき。 岩倉駅西口と東口の往来をもっと楽にできる様にしてほしい。 駅の階段にエスカレータの設備を望む。 駅北の踏み切りを何とかしてほしいのと、もっと整備をするべき→キケン 駅から一宮方面のバスの通る道の整備(西市付近)→歩道が狭い 西市の五差路を何とかしてほしい。歩道がキケン 市内の実態をよく見て下さい。
後の高齢社会に望ましい交通システム。 (1)自転車(3輪も含む)または動力付小型車輛(1～2人乗りで電動も含む)が望ましい。運転免許の特例が必要かも。 (2)(1)の車輛について、レンタルシステムを構築する。 (3)自家保有を希望する。
現在主婦をしてるため、あまり公共交通機関は利用しません。 働いている時中本町から岩倉駅へ行く道を自転車で行っていましたが、道路が整備されてなく転倒しそうになり、危険を感じたためバス通勤に切り替えました。バスはバスで到着時間より早くに行ってしまったたりされて不便でした。
タクシーを交通弱者の人が使いやすい制度にしたほうが効率的。 無料のタクシー券を、例えば月に2枚渡すのなら半額になる補助券を4枚渡したほうが経費としては同じだが、利用する側にも喜ばれるのではないと思うので、一度実験的にやってみてどのくらい利用されるか、またどのように評価されるのか試行してみたらどうか。
岩倉市は公共交通機関でのアクセスも良く、十分に充実している。 ただ、年配の方の医療機関(江南厚生、小牧市民)などの交通手段は大変だと思う。高齢化社会の現状をかんがみ、岩倉市での医療機関の充実を図ることで、高齢者の交通手段への不安も軽減できるのではないのでしょうか。
イベント毎にシャトルバスを運行する。 大病院、警察、登記、税務、年金、保健所、ハローワーク、百貨店(モール)等はすべて市外ばかりである。 名鉄(電車、バス)は料金は高すぎるので、軽減して利用できるパスを検討してみてもは。 福祉、介護制度の中で、低料金タクシー券の充実を図る。(結果として公共負担を少なく出来る。
こういったアンケートはとても有意義だと思います。 普段は忙しくておりますので、なかなか行政の事についての意見を述べる機会がありません。 企画された職員の方、ありがとうございます。 対象も16歳以上ということで選挙権がなくても意見を表明できる年齢の人まで広げたことはとても良いと思います。
ミニタクシー的サービスを行うNPO等の活用を広めると小回りがきいて有効。(岩倉市はNPOとかボランティアに消極的すぎる) 特に交通手段は線と面を考える必要があり、小さいエリアで考えると稼働率が悪くない。
透析を受ける為に週3回通院しています。(自家用車で本人) 積雪があった時に、タクシーを呼びたいのですが、なかなか呼べません。 勝手かもしれませんが、事情を説明して優先的にまわしてもらえないかと頼んだのですが、受付の方にとても感じ悪く断られました。甘えていたと言わんばかりの言い方で悲しくなりました。遊びに行くわけではない
不便を感じたことが無い。

八剱を通るバスは駅にしか行かないので、岩倉団地の方にもいけると良いと思っています。 病院に行くのにタクシーを使用するので、タクシー券があると良いと思います。私は岐阜から来たのですがこんな淋しい町はない。 駅に友達が来て食事する所もなくてこまる。77歳ともなると…困ることばかりで、どうして家まで作って岩倉に来たのか困っています。岐阜は美しい町でほんとうに楽しかったのに。
買い物は、公共交通を使うより、むしろトラックなどに乗せて売りに来て欲しい。 子供が小さい家や一人住まいの老人宅にはとてもそのほうがうれしい。 昔、“とうふ”などを売りに来たように…。
大学生にも助成金をお願いします。
川井町の場合タクシー以外は駅が遠い為利用するのは無理と思います。
石仏町は名鉄電車のみ。駅舎が古いのとホームの階段が不便。大山寺駅は発展されたが、石仏駅は不便さいっぱい。路線バスは無理。市内の狭さや一方通行の為。
自家用車で自由に行動できる今は、あまり公共交通について考えた事はありません。 高齢になって運転が出来なくなったとき困らないように、行政の対策を検討してもらいたいです。
私自身は、公共交通はほとんど利用しませんが、家族が通勤で名鉄電車を利用し、駅までの送迎を毎日行っています。 ロータリーでの駐車が困難なときが多いので、もう少し駐停車スペースが広がるとありがたいです。
市の財政から民間活用等を考えても良いが、補助金等の出費が必要になる可能性もあり不要。 OAの進化、民間のシルバー市場の開拓能力を信じましょう。 交通災害共済は良いと思います。なお、この交通災害共済の保証だけでなく、事故の原因、対策にも活用して欲しい。
今年に入って病気で体を悪くしましたが、自分のことが出来るようになったため、家族の手助けもあり、公共交通にはまだ不満はありませんけれど、もう少し年をとった時にどうなるのかな？
今現在ではわからない。不自由になってみないとわからない。
今の所は通院、買い物には自力で行く事が可能ですが、高齢になると共に難しくなるのではないかと不安になります。 何か良い方法はないかと考えております。
高齢者や、病気で長時間外出出来ない人は、身近に手伝ってくれる人(車の運転付き添い)がいないと本当に苦労があると思う。 自分は車があり何も不便は無いが、将来を思うと考えていかないといけないう。高齢者の車の運転や、自動車の運転は危険だと思う。 ベビーカーに対しても市内の道はどこも段差があり、車の移動を選んでしまうな…と思う。
現在不自由していませんので意見はありません。
救急車についてですが、救急車もタクシーなみに料金をとってもいいから乗せてもらいたいです。 夜間に具合が悪くなったときなど、どうしようもないです。 何もタクシー代わりなどとは思っていません。 救急車が頼りなのです。ちなみに私は今まで一度も利用した事はありません。
岩倉市は中心が鉄道であり、自家用車の町。
岩倉市の南側(曾野、大山寺、稲荷)付近をもっと開発してほしい。公園など。
岩倉市の現状を「交通至便のまち」と評価していることからアンケート自体が不要。交通手段ならば何の対策も要しません。税の無駄遣いになりかねません。 岩倉市は市域が狭い事から、交通上の施策は必要ないものと思われます。 町の活性化、町の整備…他にやるべき事があります。 都市計画はどうなっているのでしょうか。
家族が近くに住んでいて自分が運転出来なくなっても、生活が出来ていくので安心していられます。

以前は一宮市に住んでいたので、名鉄、JRが安くよく利用できました。 岩倉は狭い中で、名鉄が主ですからやむを得ませんが、税金面も非常に高いのでいずれは他に転居を考えています。
どの交通機関を利用するにしても、老若男女問わずもう少しマナーを身につけるべき。 自転車や歩行者が悪くても、車のほうが責任が重いのはあまり納得がいかない。小さな子供をもってる人が、もっと活用できるものがある とよい。
あまり不満は無い。
ゲオの前の通りの大きな木が通りにくいと思う。 一方通行を逆走する車をたまに見る(いわくら幼稚園付近) 老人が我が物顔で道路をたらたら歩くのが嫌。 子供は守るけどお年寄りを守ろうという標語がどうかと思う。長く生きてるんだから良く考えて欲しい。 市役所の北の道が交通量が多くて危ない。その道から東へ踏み切りを渡ろうとする車がまた危ないので、迂回出来るようにして欲しい。
4km四方では使用しない。
名鉄は便利であるが、不便になったときに手段がない。 せめて上小田井からの手段があるだけでもリスクヘッジが出来ると思う。 また、他地域への移動手段(一宮、小牧、名古屋、犬山)は充実しているが、地域内(岩倉市内)の手段は充実しておらず、結局自動車を使う事になる。
最近では、自動車を頻繁に利用する為、公共交通の利用は減りました。 若い方は使っても電車ぐらいだと思う。 高齢者に合わせた公共交通が必要だと思う。 若い人達はそんなに高い意識をもてない気がする。
岩倉市は、名鉄バス等の公共交通を利用して、名古屋をはじめとする周辺市町へ行くのに至便である事で評価されているものとする。 だからと言って、病院やスーパーへ行くのに至便であると評価には結びつかない。 当内容のアンケートを取るなら、本当に必要としているあるいは、今後必要となるかもしれないと考えている高齢者、またその家族を対象 に実施すべきである。
駅周辺の喫煙→非常に迷惑なので、禁煙にして欲しい。 岩倉駅の階段の電灯→冬の7時点灯は暗くて危険。(7時前の利用時) 岩倉駅のハト対策→気になる。徹底した対策をして欲しい。(フンだけでなく病気など)
街路樹が多すぎるところがあり、邪魔なときあり。(スーパーカネスエの前の南北の道など) 家の角など、カベや樹木で見通しが悪いところは小さくていいのでミラーを付けて欲しいです。
岩倉は交通の便も良く、駅東の整備もされ、広く使いやすく、又五条川や桜と自然も美しく本当に住みやすい市だと思います。 たくさんの駐輪場があるにもかかわらずいつもいっぱいです。 放置自転車が多いのでは？ 余分な自転車を撤去しないと止めるスペースはありません。よろしくお願いします。

岩倉市公共交通実態調査

これからの交通まちづくりのために あなたの声を聞かせてください！

《アンケート調査ご協力をお願い》

市民の皆さまには日頃から岩倉市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

岩倉市は、古くから交通の要衝として発展し、公共交通については鉄道が3駅、バス路線が5路線あるなど、交通至便のまちです。しかし、今後の超高齢社会の到来や地球温暖化問題への対応、まちの賑わいづくりという観点から、本市の総合的な交通対策のあり方を検討していくため、市民の皆さまの鉄道やバス、タクシーなどの公共交通の利用状況や公共交通に対する考え方等を把握することを目的に調査を実施することしました。

この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成24年6月 岩倉市長 片岡 恵一

《ご記入に当たってのお願い》

○アンケートについて

- ・この調査の対象は、岩倉市にお住まいの16歳以上の方2,000人を無作為に抽出してお願いしています。なお、抽出データは平成24年6月22日現在のものですので、この日以降、異動があった方に送付された場合はご容赦ください。
- ・調査結果は、すべての方の回答を一括で統計的に処理し、**個人の回答内容が明らかになることはありません。**
- ・このアンケートは、**バス会社及び鉄道会社とは一切関係はございません。**
- ・アンケートの集計結果は、後日広報等でお知らせします。

○記入に当たってのお願い

- ・回答は、選択項目の中から**当てはまる項目の口に✓をつけてください。**
- ・このアンケートはできるだけ宛名のご本人がお答えください。事情によって、ご本人が回答できない場合は、ご家族の方でお答えください。
- ・ご記入されたアンケート用紙は、無記名のまま同封した返信用封筒（切手不要）にて、投函してください。

○ アンケートについてのご質問やお問い合わせは、下記までお願いします。

**7月31日（火）
までにご回答を
お願いします。**

岩倉市総務部企画財政課（担当：堀（巖）・近藤・加藤）

電話 0587-38-5805（直通）

FAX 0587-66-6100

E-mail kikakuzaisei@city.iwakura.aichi.jp

1 あなた自身のことについて

1 性別			
☐ 男性		☐ 女性	
2 年齢			
☐ 16～19歳	☐ 20～29歳	☐ 30～39歳	☐ 40～49歳
☐ 50～59歳	☐ 60～69歳	☐ 70歳以上	
3 住所			
岩倉市（ ）町			
4 職業			
☐ 会社員（契約・派遣含む）	☐ 公務員	☐ 自営業	
☐ パート・アルバイト	☐ 学生	☐ 主婦・主夫	
☐ 無職	☐ その他		
5 勤務地			
☐ 市内（ ）町	☐ 市外（ ）市・町・村		
6 運転免許証の有無			
☐ 自動車	☐ 自動二輪	☐ 原付自動車	☐ なし
7 自家用車の有無			
☐ ある（本人が運転）	☐ ある（家族が運転）	☐ ない	

2 あなたが外出するときの状況について

1 主にどのような目的で外出しますか。【✓は多いものから3つまで】			
☐ 通勤・通学	☐ 通院・通所	☐ 買い物	
☐ 銀行・郵便局	☐ 公共施設（市役所など）	☐ 塾・習い事	
☐ 趣味・娯楽	☐ その他（ ）		
2 外出する頻度はどれくらいですか。			
☐ 週6～7日	☐ 週3～5日	☐ 週1～2日	☐ 月に数日
☐ 半年に数日	☐ 年に数日	☐ なし	
3 自宅を出発する時間帯はどこが多いですか。			
☐ 午前6時～9時	☐ 午前9時～正午	☐ 正午～午後3時	
☐ 午後3時～6時	☐ 午後6時～9時	☐ 午後9時以降	
4 自宅に帰宅する時間帯はどこが多いですか。			
☐ 午前6時～9時	☐ 午前9時～正午	☐ 正午～午後3時	
☐ 午後3時～6時	☐ 午後6時～9時	☐ 午後9時以降	
5 外出について			
☐ 外出に困難を感じない	☐ 杖などを使用して外出している		
☐ 外出に介助を必要とする	☐ 外出は困難な状況である		

5 路線バスの利用状況について

1 岩倉市内の路線バスを日常的に利用していますか。		
☐ 利用している	☐ 利用していない	

1で「利用している」とお答えになった方のみお答えください。

2 主に利用している路線について教えてください。		
☐ 尾張一宮駅前行き ☐ 小牧駅行き（小木・桜井経由） ☐ 小牧駅行き（小木・小牧市民病院前経由） ☐ 小牧駅行き（三ツ渚中・小牧市役所前経由） ☐ 東海ゴム前行き（小木・桜井経由）		

6 路線バスの満足度について

1 便数		
☐ 満足	☐ やや満足	☐ どちらとも言えない
☐ やや不満	☐ 不満	
2 運行時間帯		
☐ 満足	☐ やや満足	☐ どちらとも言えない
☐ やや不満	☐ 不満	
3 運行ルート（行き先や経路）		
☐ 満足	☐ やや満足	☐ どちらとも言えない
☐ やや不満	☐ 不満	
4 最寄りのバス停までの距離		
☐ 満足	☐ やや満足	☐ どちらとも言えない
☐ やや不満	☐ 不満	
5 運賃		
☐ 満足	☐ やや満足	☐ どちらとも言えない
☐ やや不満	☐ 不満	
6 バスの乗り継ぎ		
☐ 満足	☐ やや満足	☐ どちらとも言えない
☐ やや不満	☐ 不満	
7 移動にかかる時間		
☐ 満足	☐ やや満足	☐ どちらとも言えない
☐ やや不満	☐ 不満	

7 タクシーの利用状況について

1 利用している頻度を教えてください。		
☐ ほぼ毎日	☐ 週に4～5日程度	☐ 週に2～3日程度
☐ 週に1日程度	☐ 月に2～3日程度	☐ その他（ ）
2 利用する目的は何ですか。【✓は多いものから3つまで】		
☐ 通勤・通学	☐ 通院・通所	☐ 買い物
☐ 銀行・郵便局	☐ 公共施設（市役所など）	☐ 塾・習い事
☐ 趣味・娯楽	☐ その他（ ）	
3 運賃		
☐ 満足	☐ やや満足	☐ どちらとも言えない
☐ やや不満	☐ 不満	
4 移動にかかる時間		
☐ 満足	☐ やや満足	☐ どちらとも言えない
☐ やや不満	☐ 不満	

8 自家用車の利用について

1 利用している頻度を教えてください。		
☐ ほぼ毎日	☐ 週に4～5日程度	☐ 週に2～3日程度
☐ 週に1日程度	☐ 月に2～3日程度	☐ その他（ ）
2 利用する目的は何ですか。【✓は多いものから3つまで】		
☐ 通勤・通学	☐ 通院・通所	☐ 買い物
☐ 銀行・郵便局	☐ 公共施設（市役所など）	☐ 塾・習い事
☐ 趣味・娯楽	☐ その他（ ）	

9 自転車の利用状況について

1 利用している頻度を教えてください。		
☐ ほぼ毎日	☐ 週に4～5日程度	☐ 週に2～3日程度
☐ 週に1日程度	☐ 月に2～3日程度	
☐ その他（ ）		
2 利用する目的は何ですか。【✓は多いものから3つまで】		
☐ 通勤・通学	☐ 通院・通所	☐ 買い物
☐ 銀行・郵便局	☐ 公共施設（市役所など）	☐ 塾・習い事
☐ 趣味・娯楽	☐ その他（ ）	
3 自転車に乗ったときは、主にどちらを走っていますか。		
☐ 車道	☐ 歩道	

4 自転車でする環境についてどう思いますか。【✓はいくつでも】		
☐ 車道は危険	☐ 歩道の舗装が悪い	☐ 自転車専用帯が必要
☐ 左側通行を徹底させるべき	☐ 駐輪場の整備が必要	
☐ その他（ ）		

10 今後の交通施策について

1 交通至便のまちと評価されている現在、公共交通の分野には、岩倉市（行政）としてバスを走らせるなどの施策を講じていません。 しかし、今後、高齢化がさらに進展することを踏まえ、どのように考えますか。
☐ 既存の民間事業者に加え、行政も具体的な施策を講じていくべきである ☐ 公共交通は民間事業者に任せておけばよい ☐ わからない ☐ その他（ ）
2 岐阜県美濃加茂市で、次のような公共交通の実証実験が始まっています。岩倉市に同じようなものがあつたとして、あなたは、どのように思いますか。 (1) 路線バスとタクシーの中間的のような位置づけで、料金は一律300円です。 (2) 乗りたい便の30分前までに予約の電話をします（前日からの予約も可）。 (3) 自宅に近い、あらかじめ決めてある乗り場で、車両に乗ります。 (4) 車両は乗り合いが基本で、同じような時間帯で目的地へ行きたい人を途中で乗せながら運行します。
☐ すぐに、利用したい ☐ 今は利用しないが、将来は利用したい ☐ 利用することはない ☐ わからない
3 次のような制度を利用してみたいと思いませんか。 ・病院やスーパーなどに行きたい人と自分の車に乗せてもよい人が登録し、送迎をした人にポイントを交付し地域の商品券などに交換できる制度。
☐ 乗せる側として利用したい ☐ 乗る側として利用したい ☐ 乗せる側として利用したくない ☐ 乗る側として利用したくない

3で「乗せる側として利用したくない」とお答えになつた方のみお答えください。

4 その理由は次のどれですか。【✓はいくつでも】
☐ 送迎する時間的余裕がない ☐ 他人と同乗することに抵抗がある ☐ 事故を起こしたときの責任問題 ☐ ポイントにメリットを感じない ☐ その他（ ）

1.1 自由意見（公共交通に関してのご意見、ご要望をお聞かせください。）

調査へのご協力
ありがとうございました。
結果については、市の広報
等で公表していきま～す。



岩倉市のPR大使い～わくん